

魚沼市行政評価 施策評価 実施結果報告書

令和 6 年度実施施策

【第二次魚沼市総合計画 後期基本計画 主要施策を構成する施策】

令 和 7 年 9 月



魚 沼 市

— 目 次 —

I 施策評価の実施にあたって

1 はじめに		1
2 施策評価の概要		2
3 施策評価の方法		6
4 一次評価及び二次評価の結果		7

II 評価結果総括

1 評価結果の概要		1 3
2 行政評価における今後の取組		1 5
3 評価結果の活用方法		1 5

I 施策評価の実施にあたって

1 はじめに

行政評価制度は、行政コストの削減、職員の意識改革、成果重視の行政サービスの確立など、地方行政改革を推進するための有効な手法であり、限られた行政経営資源の中にあって、的確な配分を行いながら、行政が行っている様々な活動が市民の役に立っているかを絶えず点検し改善を図っていく仕組みです。

本市においては、評価作業を通じて従来までの事業プロセスや実行方法を見直すことにより、職員一人ひとりが自己の担当業務への意識を高め、その結果として全庁的な行財政改革や市民サービスの向上につなげていくことを目的として行政評価を実施しています。

本市におけるこれまでの行政評価の取組としては、平成 18 年度に事務事業を評価対象として試行的に実施し、その後、職員研修や先進地事例等の調査研究を経て、平成 21 年度に総合計画前期基本計画第 2 期実施計画に登載している事業のうち 55 事業を対象として本格導入しました。2 年目の平成 22 年度においても同様に 55 事業を対象として行政評価を実施し、平成 23 年度からは、総合計画後期基本計画第 1 期実施計画に登載している事業全てを対象として実施してきました。

平成 28 年度から第二次総合計画がスタートしたことを契機として、これまでの事務事業評価よりも一階層上の施策評価を事務事業評価に加え実施することとし、併せて、透明性及び客観性を確保することを目的として、平成 29 年度からは総合計画審議会による外部評価も実施しています。※

本報告書は、令和 6 年度に実施した 62 施策の一次評価から二次評価までの結果についてとりまとめたものです。

※令和 6 年度実施事業については、評価を実施する令和 7 年度に総合計画審議会より第三次魚沼市総合計画の審議を行っていただいているため、外部評価は未実施。

2 施策評価の概要

第二次魚沼市総合計画後期基本計画における政策を構成する 62 施策を対象としています。

分 野	基本目標	政 策	施 策	別冊 ページ
【第1節】 生活基盤	安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり	安心で便利な生活基盤の整備	道路網の整備	1
			道路機能の維持向上	4
			ライフラインの維持向上	7
		快適な暮らしを支える生活環境の整備	公共交通の持続可能な地域交通網の推進	10
			情報通信基盤の整備と活用	13
			住環境の整備	16
		暮らしを守る防災体制の整備	自助・共助・公助の仕組みの充実	19
			自助・共助を支える支援体制の強化	22
			防災基盤の強化	25
【第2節】 環境衛生・自然	豊かな自然と人が共生するまちづくり	豊かな自然の保全と育成	豊かな自然と美しい景観の保全	28
			森林と里山の再生	31
			野生鳥獣との共生	34
		自然の恵みを活かす仕組みづくりの推進	自然環境を活用した地域づくりの推進	37
			森林資源の利活用の推進	40
		自然に親しみ、学び、誇りを持てるふるさとの創造	環境教育と環境学習の推進	43
			市民協働による環境保全活動の推進	46
		循環型社会環境の整備	ごみの減量化とリサイクルの推進	49
			地球温暖化対策の推進	52
			公害の抑制と生活環境の保全	55

分 野	基本目標	政 策	施 策	別冊 ページ
【第3節】 健康・福祉	生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	心身ともに健康で笑顔あふれる暮らしの創造	健康づくりの推進	58
			疾病予防と重症化防止対策の推進	61
		安心して産み育てる喜びを感じることができる社会の構築	子育て支援	64
			子育て環境の充実	68
		市民が安心して暮らせる仕組みの構築	すべての市民が自立できる環境の構築	71
			安心して暮らせる公共空間の整備	74
		高齢者が安心して生き生きと暮らせる仕組みの構築	暮らしの支援体制の推進	77
			高齢者の社会参加の推進	80
		誰もが健康管理ができる安心で身近な地域医療の充実	健康管理システムの充実	83
			医療資源の育成	86
【第4節】 産業	豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり	地域資源の活用による産業の振興	新たな特産品づくり、ブランド化の推進	89
			新製品開発や新技術の確立に向けた取組の支援	92
		魅力ある農林業の振興	力強い農業経営の構築と地域農業の活性化	95
			森林・里山を活用した地域の活性化	98
		商工観光業の競争力強化	競争力強化に向けた商工業者への支援	101
			地域資源を最大限に活かした観光の振興	104
		雇用機会の拡充と地域の担い手の確保	起業の促進	107
			定住人口確保のための取組の強化	110
			戦略的な人財確保・企業誘致の推進	113

分 野	基本目標	政 策	施 策	別冊 ページ
【第5節】 教育・文化	私たちが育む学 びのまちづくり	生涯学び続ける仕組みの 充実	誰でも、いつでも学べ、学習成果を生 かす仕組みの充実	116
			生涯学習推進体制の充実	119
			効率的・効果的な施設運営	122
		乳幼児期の教育の充実	明るくのびのびとした子育て	125
			乳幼児教育の仕組みづくり	128
			子育て環境の整備	131
		市民が参加する学校づく りの推進	自然や文化を活用し生きる力を育む教 育の推進	134
			市民が参加し世代を越えて交流する 地域に開かれた学校づくり	137
			安全・安心な学校施設の整備	140
		潤いのある地域文化や芸 術の振興と創造	芸術・文化活動の促進	143
			地域文化の振興と発信	146
			文化財の保護と活用	149
		楽しく質の高いスポーツ・ レクリエーションの振興	誰でも楽しく健康づくりができる活動の 推進	152
			スポーツ活動推進のための体制強化	155
			スポーツにおける広域連携の推進	158
【第6節】 市民協働・自治 体運営	市民の想いを活 かした未来へつ なぐまちづくり	市民参画と行政との協働 の推進	まちづくりへの市民参画の推進	161
			協働体制の充実	164
		市民参画による地域づくり の推進	支え合う地域づくりの支援	167
			地域づくりの活性化	170
			地域づくりに向けた移住・定住の促進	173
		市民に信頼される開かれ た行政運営	効率的で効果的な行政運営	176
			わかりやすい行政情報の発信と職員 の能力向上	179
		選択と集中による財政運 営	行政改革の継続とデジタル化の推進	182
			健全な財政運営	185

■評価のサイクル

事前評価は、予算編成に先立つ令和5年度9月から10月にかけて計画策定と同時に、事後評価は、一次評価及び二次評価について、事業が完了した後の令和7年5月から8月にかけて実施しました。

以下に示すスケジュール表のとおり、事前評価から事後評価までの1つの評価サイクルが完結するまでにおよそ24か月を要することとなります。

■令和6年度実施施策の評価スケジュール

【令和5年度】

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
担当課業		事前評価実施			予算編成			
行政評価会議						事前評価結果報告		

【令和6年度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
担当課業	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施	事業実施
行政評価会議												

【令和7年度】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
担当課業		一次評価実施				
行政評価会議			二次評価実施	結果報告書作成	庁議報告	公表

3 施策評価の方法

■一次評価及び二次評価の方法（内部評価）

施策評価では、施策担当部署において、施策を構成する事業の事業費、取組内容や評価、成果指標の達成状況、施策目的に向かってどのような成果があったのかなど、各施策に対する前年度の状況について記載しました。

施策に対する評価については、一次評価（施策担当部署評価）及び二次評価（行政評価会議^{*1}評価）とともに、「施策成果の達成度」「貢献度」の2つの観点から「観点評価」を行った後、それらを含めた「総合評価」を行いました。また、「課題」及び「今後の方向性」では記述式で評価を行いました。

◆評価項目と評価の内容

評価項目	評 価 内 容
観点評価	施策評価では、施策を構成する事務事業の達成状況や貢献度などを見ながら、「施策成果の達成度」「貢献度」の2つの観点から各施策の評価を4段階で行いました。 【観点評価】 ア「施策成果の達成度」の観点 施策及び成果指標について、どの程度達成できたかという観点から評価を行いました。 イ「貢献度」の観点 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当か、当該施策の成果が「施策目的」に明確に貢献しているかという観点から評価を行いました。 【評価基準】 高 い・・・十分な施策の展開が図られた やや高い・・・おおむね施策の展開が図られた やや低い・・・あまり施策の展開が図られなかった 低 い・・・まったく施策の展開が図られなかった
総合評価	設定した成果指標を達成できるかを念頭に置きながら、総合評価について、最も適当であると判断するものを、次の3段階から選択しました。 現状維持・・・細かな見直しを行いながら引き続き取組を進める 拡 充・・・新たな事務事業の追加や予算等の投入などを行う 改善・見直し・・・施策目的達成のために事務事業の見直し、改善を行う
課 題	施策目的の達成に向けて現在発生している問題を整理し、それを解決するためにすべきことを記述しました。
今後の方向性	今後の当該施策実施の方向性について記述しました。

^{*1} 行政評価会議・・・行政評価会議規程（平成21年訓令第5号）に基づく会議。総務政策部長が主宰し、市の行政評価の推進を図ることを目的とする。会議は、総務政策部長、市民福祉部長、産業経済部長及び教育委員会事務局長で構成する。

4 一次評価及び二次評価の結果

【第1節 生活基盤】

施策名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
道路網の整備	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
道路機能の維持向上	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
ライフラインの維持向上	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
公共交通の持続可能な地域交通網の推進	一次評価	高い	高い	拡充
	二次評価	〃	〃	〃
情報通信基盤の整備と活用	一次評価	やや低い	やや高い	改善・見直し
	二次評価	〃	〃	〃
住環境の整備	一次評価	高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
自助・共助・公助の仕組みの充実	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
自助・共助を支える支援体制の強化	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
防災基盤の強化	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃

【第2節 環境衛生・自然】

施策名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
豊かな自然と美しい景観の保全	一次評価	高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
森林と里山の再生	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
野生鳥獣との共生	一次評価	高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
自然環境を活用した地域づくりの推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
森林資源の利活用の推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
環境教育と環境学習の推進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
市民協働による環境保全活動の推進	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
ごみの減量化とリサイクルの推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
地球温暖化対策の推進	一次評価	やや高い	やや高い	拡充
	二次評価	〃	〃	〃
公害の抑制と生活環境の保全	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃

【第3節 健康・福祉】

施策名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
健康づくりの推進	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
疾病予防と重症化防止対策の推進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
子育て支援	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
子育て環境の充実	一次評価	高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
すべての市民が自立できる環境の構築	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
安心して暮らせる公共空間の整備	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
暮らしの支援体制の推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
高齢者の社会参加の推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
健康管理システムの充実	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
医療資源の育成	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃

【第4節 産業】

施策名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
新たな特産品づくり、ブランド化の推進	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
新製品開発や新技術の確立に向けた取組の支援	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	やや低い	〃	〃
力強い農業経営の構築と地域農業の活性化	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
森林・里山を活用した地域の活性化	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
競争力強化に向けた商工業者への支援	一次評価	やや低い	やや高い	拡充
	二次評価	〃	〃	〃
地域資源を最大限に活かした観光の振興	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
起業の促進	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	やや高い	〃	〃
定住人口確保のための取組の強化	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	やや高い	〃	〃
戦略的な人財確保・企業誘致の推進	一次評価	高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃

【第5節 教育・文化】

施 策 名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
誰でも、いつでも学べ、学習成果を生かす仕組みの充実	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	改善・見直し
生涯学習推進体制の充実	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	改善・見直し
効率的・効果的な施設運営	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	拡充
明るくのびのびとした子育て	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
乳幼児教育の仕組みづくり	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
子育て環境の整備	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進	一次評価	やや低い	やや高い	改善・見直し
	二次評価	〃	〃	〃
市民が参加し世代を越えて交流する地域に開かれた学校づくり	一次評価	高い	高い	現状維持
	二次評価	やや高い	〃	〃
安全・安心な学校施設の整備	一次評価	やや高い	高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
芸術・文化活動の促進	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
地域文化の振興と発信	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
文化財の保護と活用	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
誰でも楽しく健康づくりができる活動の推進	一次評価	高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
スポーツ活動推進のための体制強化	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
スポーツにおける広域連携の推進	一次評価	やや低い	やや低い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃

【第6節 市民協働・自治体運営】

施 策 名	評価	ア 達成度	イ 貢献度	総合評価
まちづくりへの市民参画の推進	一次評価	やや低い	やや低い	改善・見直し
	二次評価	〃	〃	〃
協働体制の充実	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
支え合う地域づくりの支援	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
地域づくりの活性化	一次評価	やや低い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
地域づくりに向けた移住・定住の促進	一次評価	やや低い	やや高い	改善・見直し
	二次評価	〃	〃	〃
効率的で効果的な行政運営	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
わかりやすい行政情報の発信と職員の能力向上	一次評価	やや高い	高い	改善・見直し
	二次評価	〃	〃	〃
行政改革の継続とデジタル化の推進	一次評価	やや高い	やや高い	現状維持
	二次評価	〃	〃	〃
健全な財政運営	一次評価	高い	高い	現状継続
	二次評価	〃	〃	〃

Ⅱ 評価結果総括

1 評価結果の概要

(1) 施策に対する総合評価結果

評価区分	一次評価（担当部署）		二次評価（行政評価会議）	
	施策数	割合（％）	施策数	割合（％）
現状維持	54	87.1％	51	82.3％
拡 充	3	4.8％	4	6.5％
改善・見直し	5	8.1％	7	11.3％
（ 合 計 ）	62	100.0％	62	100.0％

施策に対する総合評価結果について、一次評価では62施策中、「現状維持」が54施策で全体の87.1％を占め、「拡充」が3施策、「改善・見直し」が5施策という結果に対し、二次評価では「現状維持」の割合が82.3％となり、「拡充」が1施策、「改善・見直し」が3施策増加する結果となりました。

(2) 二次評価による総合評価の変更

評価変更の内容	施 策 名	担当課	関係課
現状維持 → 改善・見直し	誰でも、いつでも学べ、学習成果を生かす仕組みの充実	生涯学習課	—
現状維持 → 改善・見直し	生涯学習推進体制の充実	生涯学習課	—
現状維持 → 拡充	効率的・効果的な施設運営	生涯学習課	—

行政評価会議による二次評価では、より行政の透明性を高め、効率的で効果的な施策の推進や改善を促すことを意識して評価を行った結果、2つの施策が「現状維持」から「改善・見直し」へ、1つの施策が「現状維持」から「拡充」へ変更になりました。

(3) 施策に対する評価結果（達成度）

評価区分	一次評価（担当部署）		二次評価（行政評価会議）	
	施策数	割合（％）	施策数	割合（％）
高　　い	13	21.0％	10	16.1％
やや高い	33	53.2％	35	56.5％
やや低い	16	25.8％	17	27.4％
低　　い	0	0.0％	0	0.0％
（　合　計　）	62	100.0％	62	100.0％

施策成果の達成度について、一次評価及び二次評価ともに「高い」「やや高い」が全体の約7割以上を占める結果となりました。

達成度が低くなる傾向は見られたものの、おおむね順調に進捗していると考えます。

(4) 施策に対する評価結果（貢献度）

評価区分	一次評価（担当部署）		二次評価（行政評価会議）	
	施策数	割合（％）	施策数	割合（％）
高　　い	14	22.6％	14	22.6％
やや高い	46	74.2％	46	74.2％
やや低い	2	3.2％	2	3.2％
低　　い	0	0.0％	0	0.0％
（　合　計　）	62	100.0％	62	100.0％

貢献度について、一次評価及び二次評価ともに「高い」「やや高い」が全体の9割以上を占める結果となりました。

(5) 課題・今後の方向性

各施策の一次評価、二次評価において、令和8年度実施の施策に向けた検討や改善等の考え方が示されており、現在実施している施策の経過と合わせ、令和8年度事業に反映させることとします。

2 行政評価における今後の取組

行政評価制度は、行政運営・行政経営の仕組みの一つとして重要な役割を担っています。

今後は、効率的・効果的な施策の推進と改善を図っていくとともに、評価結果を公表し、情報を公開することとします。

(1) 令和7年度実施施策の事後評価に向けて

① 改善の取組

今回の評価結果を担当部署に報告し、施策及び施策を構成する事務事業の改善に取り組みます。

② 評価結果の公表

評価結果については、市議会へ報告し、市のホームページ等により公表します。

(2) 令和8年度の実施計画に向けて

施策を構成する事業の追加と削除の検討

今後も効率的、効果的な施策の推進を図るため、今後実施する実施計画のローリング作業において、事務事業の追加や関係性の薄い事業の削除を検討します。

3 評価結果の活用方法

行政評価の結果は、事業担当課において事業実施手法の見直しや改善、目標管理のツールとして活用するとともに、総合計画実施計画の中の進行管理把握のための資料や予算編成資料として活用します。

また、行政評価結果を報告書として取りまとめ、市議会への情報提供、市のホームページへの掲載を行います。

魚沼市行政評価

施策評価 実施結果報告書

(令和6年度実施事業)

発 行／魚沼市

〒946-8601 新潟県魚沼市小出島 910 番地
TEL 025-792-1000(大代表) FAX 025-792-9500

編 集／魚沼市行政評価会議

事務局／総務政策部 企画政策課 企画調整係

[URL] <https://www.city.uonuma.lg.jp/>

[e-mail] kikaku@city.uonuma.lg.jp



Uonuma City
Niigata

令和6年度実施 施策評価結果シート

－ 別 冊 －

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 S	9 産業と都市基盤の 振興をつくる	11 住み続けられる まちづくりを
-----------------------	----------------------	----------------------

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当課	部課名	産業経済部 建設課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり	担当課長名		
主要施策	1項 安心で便利な生活基盤の整備	関係課	都市整備課	
施策名	1号 道路網の整備			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域発展や産業の振興を図るため、道路利用者の安全・安心を確保し、かつ利便性の高い道路交通ネットワークの強化に努めるとともに、災害時の孤立や交通の途絶を解消するため、雪や災害に強い道路交通ネットワークの形成を効果的にすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
314		市道整備事業		216,231	193,247	332,633	301,256	402,567		やや高い	B
		8 2 2	建設課								
		事業の 取組内容	幹線道路の整備及び利便性の高い交通ネットワーク強化、道路機能の向上促進等を行う。								
329		都市計画策定事業		0	5,687	7,819	5,832	7,400		やや高い	B
		8 4 1	都市整備課								
		事業の 取組内容	都市計画マスタープランの更新に向け基礎調査等を行う。								
331		都市再生整備計画事業		2,665	15	3,468	4,507	91,081		やや高い	A
		8 4 1	都市整備課								
		事業の 取組内容	立地適正化計画に掲げるコンパクトなまちづくりの推進を目指し、都市機能誘導区域に定めた小出市街地等のまちづくりの検討を行う。								
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	道路の整備延長 県・市管理道路のR3～R7 の累計	4,017 (H28～R1累 計)	目標値	1,500	3,000	4,500	6,000	7,500	7,500	m
			実績値	2,607	4,244	5,584	7,155			
			達成率	173.8%	141.4%	124.1%	119.3%	%		
2	道路整備に対する満足度 総合計画市民アンケート より（R5に実施）	59.6 (R1調査)	目標値	—	—	65	—	—	65	%
			実績値	—	—	70.9	—	—		
			達成率	%	%	109.1%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
314	工事実施路線数（単年度） 実施路線／実施予定路線		目標値	11	21	29	36	43		
			実績値	9	19	27	33			
314	測量設計実施路線数（単年度） 実施路線／実施予定路線		目標値	9	17	20	33	34		
			実績値	8	14	18	22			
329	立地適正化計画改定の進捗率 累計事業費／全体事業費		目標値	－	50	100				
			実績値	－	50	100				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

市道整備事業の実施により、和田原1号線、魚沼田中停車場1号線など地域住民の暮らしの基礎である生活道路を整備することで冬期間の機械除雪が円滑に行われ、また緊急車両の円滑な移動が確保され、安全で快適な暮らしに貢献できました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	道路の整備延長の目標値6,000mに対し、R6実績では7,155mと達成率が119.3%となりましたが、一部路線において予定通り完了できなかった路線があることから「やや高い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	コンパクトなまちづくりの推進を図るため、道路整備は交通ネットワークの強化において重要であることから「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し		
課題及び今後の方向性		安全で快適な生活基盤整備と共に、都市機能を集約したコンパクトなまちづくりを推進する道路整備を進めていく必要があります。 地域要望を把握し、国・県道路事業、市の公共施設整備や大規模開発など、周辺環境の変化にも対応しながら施策目的の達成に向けて、効果的な道路交通網整備を進めます。				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点		評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し		
課題及び今後の方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D S 関 連	9 足跡と後継事業の 基盤をつくらう	11 生活圏が広がる まちづくりを
------	----	----	--------	-----------------------	-----------------------	----------------------

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当 課	部課名	産業経済部 建設課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり	担当課長名		
主要施策	1項 安心で便利な生活基盤の整備	関係 課		
施策名	2号 道路機能の維持向上			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域の実情に即した道路の機能向上、高齢者や障害のある人が安全に移動できる生活道路を整備するため、ユニバーサルデザイン化を促進します。
施設の状況や維持管理コストを踏まえたうえで、長寿命化を図りながら効率的な維持管理・更新をすすめます。また、冬期間の安全・安心な道路交通を確保するため、効率的な除雪体制の確立及び消融雪施設の整備や除雪計画に基づいた円滑な道路除雪に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
315	○	消融雪施設整備事業		161,001	204,284	236,719	310,129	325,000		高い	A
		8 2 2	建設課								
		事業の 取組内容		消融雪施設の新設・更新を行う。							
316	○	橋梁等長寿命化事業		109,105	62,445	46,966	162,453	434,060		高い	A
		8 2 2	建設課								
		事業の 取組内容		計画的に橋梁の点検を行い、適切な時期に補修工事を実施する。							
318	○	道路機械除雪事業		1,706,336	1,641,666	1,095,766	1,495,923	1,155,382		高い	A
		8 2 3	建設課								
		事業の 取組内容		主要市道について機械除雪を行って冬期道路交通の確保を図る。							
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	歩道整備延長	3,384 (H28～R1 累計)	目標値	600	1,200	1,800	2,400	3,000	3,000	m
	県・市管理の整備延長		実績値	288	680	834	988			
			達成率	48.0%	56.6%	46.3%	36.3%	%		
2	バリアフリー化に対する満足度	41.0 (R1調査)	目標値	—	—	50	—	—	50	%
	総合計画市民アンケートより（R5に実施）		実績値	—	—	59.7	—	—		
			達成率	%	%	119.4%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
315	消雪施設（井戸）更新 実施数量/計画数量	2	目標値	2	1	2	2	2	8	施設
			実績値	2	1	4	7			
315	消雪施設（消雪パイプ）更新 実施数量/計画数量	950	目標値	1,500	1,400	1,500	1,500	1,500	9,500	m
			実績値	2,432	3,326	1,855	1,903			
316	橋梁補修工事	3	目標値	1	0	3	2	2	8	橋
			実績値	2	2	1	13			
316	橋梁点検	127	目標値	139	122	47	98	124	530	橋
			実績値	140	135	48	21			
318	除雪機械の購入 購入数量/計画数量	3	目標値	4	3	3	3	3	16	台
			実績値	4	3	3	3			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

総合計画市民アンケート（R5に実施）
道路除雪や消雪パイプの維持
満足している・やや満足しているの割合 61.4%

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

老朽化等より市道消融雪機能が不全となった散送水管の更新（延長1.9km）、消雪用井戸（7か所）の整備工事を行い、消融雪機能を回復したほか定期点検での判定が悪く老朽化が進行した橋梁の補修工事（13橋）を行い、施設の長寿命化を図りました。これらの施策によって市民が安全に道路を通行できるようになりました。
また、除雪機械の更新や機械の定期整備を適時に行い、常に安全な作業ができる体制を整えることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		冬期間の降雪量が年により変動しており、大雪時の交通確保を行うため除雪体制の維持が重要な課題となっております。 現在のところ除雪機械のオペレーターは各地区除雪企業体等の努力により確保できておりますが、今後担い手の確保に対応する施策を推進する必要があります。 消融雪施設は整備後の経年により機能不全となる施設が増えており、順次、更新工事等を行っているものの地域要望に全て答えることが難しい現状です。 市民生活に密接に関わるものであることから、緊急度や受益者数等を踏まえた中で、計画的な更新を進めていきます。 歩道については、通学路等を重点的に整備し、歩行者の安全を確保する必要があります。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度		・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		人口減少やコンパクトシティを意識した道路機能の維持向上を検討すること。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D 関 G 連 S	
------	----	----	--------	----------------------	--

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価担当課	部課名	ガス水道局 施設課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり	担当課長名		
主要施策	1項 安心で便利な生活基盤の整備	関係課		
施策名	3号 ライフラインの維持向上			

2. 施策目的（目指すすがた）

ガス・上下水道は、人口減少に伴う料金収入の減少、施設の老朽化に伴う更新投資の増大などにより、経営環境が厳しくなることを踏まえ、施設の統廃合による効率化を図り、将来を見据えた持続可能な事業運営に努めます。

また、快適な生活環境を維持するために、自然災害に対して強い管路等の耐震化をすすめ、安全・安心な供給体制の維持向上を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
水道 2		水道管耐震化対策事業		200, 851	163, 517	234, 342	219, 200	263, 900		高い	B
	1	1 3	施設課								
		事業の 取組内容	水道の安定供給を図るため、水道管の耐震化をすすめる。								
下水 4		穴沢・横根地区農業集落排水施設統合事業		25, 158	76, 386	212, 920	19, 176	59, 620		やや高い	A
	1	1 2, 4	施設課								
		事業の 取組内容	快適生活環境の継続と農村環境の保全及び経費節減を図るため、処理施設の統合、処理場の設備更新を実施します。								
下水 5		下水道処理区域流域下水道統合事業		0	15, 400	137, 662	233, 086	381, 334		やや高い	C
	1	1 2	施設課								
		事業の 取組内容	持続可能な下水道事業を目指し、単独特環公共下水道及び農業集落排水施設を魚野川流域下水道（堀之内処理区）へ接続します。								
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値		R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明			実績	実績	実績	実績	実績		
1	下水道施設の統合	18	目標値	18	18	18	17	17	17	か所
	現状18か所の施設を統合 し17か所にする		実績値	18	18	18	17			
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	%		
2	水道管の耐震化率	13.2 (R1末)	目標値	14.2	14.6	15.1	15.5	16.0	16.0	%
			実績値	14.3	14.6	15.0	15.3			
			達成率	100.7%	100.0%	99.3%	98.7%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

水道管耐震化対策事業は、耐震性に優れた配水用ポリエチレン管等の布設工事を実施（2,019m）し、水道管耐震化率の目標値をおおむね達成することができました。

穴沢・横根地区農業集落排水施設統合事業は処理施設の統合が完了し、維持管理費の軽減を図ることができました。下水道処理区域流域下水道統合事業は、事業の完了後に効果が現れる事業です。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由		
施策成果の達成度	・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	水道管の耐震化率は、成果指標をおおむね達成することができました。下水道施設の統合は、繰越もありましたが国の補正予算を活用し発注を前倒しで実施し、事業は着実に進捗しているため「やや高い」と評価しました。		
貢献度	・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	水道管耐震化対策事業は、水道管の耐震化率を向上させたことにより供給体制が維持向上しました。下水道統合事業は、効率的・持続可能な下水道の事業運営に貢献する事業であるため「やや高い」と評価しました。		
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課題及び今後の方向性	水道管の耐震化（老朽管の入替）を進めて、漏水による急な断水等で市民に不便をかけることがないようにしていくことが課題です。また、下水道の統廃合を進めることで維持管理を削減し、市民の負担を軽減させていくことも課題の一つです。 今後の方向性としては、安全・安心な供給体制の維持向上を図るため、水道管の布設替えを行い、耐震化を進めます。また、将来を見据えた持続可能な事業運営を行うため、施設の統廃合に向けた事業を実施し、下水道事業の効率化を図ります。				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 関 連	1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を 5 ジェンダー平等を推進しよう 9 産業・雇用・経済の持続可能な発展を 10 人や国の不平等をなくそう 11 持続可能な住環境を 17 パートナリシップで目標を達成しよう
----------------------------	--

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価担当課	部課名	市民福祉部 生活環境課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着もてるまちづくり	担当課長名		
主要施策	2項 快適な暮らしを支える生活環境の整備	関係課	地域創生課	北部事務所
施策名	1号 公共交通の持続可能な地域交通網の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

コンパクトなまちづくりを推進する魚沼市立地適正化計画と整合を図りつつ、基幹的な公共交通軸である乗合バスと、拠点と周辺生活圏を連絡する乗合タクシー及びコミュニティバスの運行支援等によって地域交通網を維持し、高齢者をはじめとした日常生活に必要な移動手段の確保を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
39	○	公共交通総合連携事業		114, 124	115, 054	116, 953	167, 389	178, 838		高い	A
		2 1 6	生活環境課								
		事業の 取組内容		路線バス及び乗合タクシー運行事業者へ補助金を交付する。							
65	○	地域との「絆」推進事業 (入広瀬地域コミバス分)		4, 566	4, 737	4, 850	4, 355	6, 000		高い	B
		2 1 9	地域創生課 北部事務所								
		事業の 取組内容		集落支援員を設置し地域の維持活性化対策の促進を図るとともに、地域が取り組む共助事業等への支援を行う。							
67		交通安全対策事業		15, 349	18, 142	19, 510	18, 263	21, 871		やや高い	A
		2 1 10	生活環境課								
		事業の 取組内容		交通事故防止啓発・広報活動等の交通安全教育、交通安全施設の維持管理、防犯灯設置や修繕の支援を実施する。							
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	住民1人あたりの 乗合タクシー等利用回数 乗合タクシー等利用者数 /住民基本台帳人口(3月末)	0.81 (R1実績)	目標値	0.85	0.88	0.91	0.94	0.97	%
			実績値	0.79	0.78	0.76	0.98		
			達成率	92.9%	88.6%	83.5%	104.3%	%	
2	(上記1参考) 乗合タクシー利用者数		目標値	—	—	—	—	—	人／年
			実績値	26,949	26,093	24,980	31,488		
			達成率	%	%	%	%	%	
3	(上記1参考) 住民基本台帳人口(3月末)		目標値	—	—	—	—	—	人
			実績値	34,125	33,438	32,876	32,234		
			達成率	%	%	%	%	%	
4			目標値						
			実績値						
			達成率	%	%	%	%	%	

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
67	交通事故件数 (※少ないほど良い)	33	目標値	46	42	38	34	30	30	件
			実績値	40	38	32	30			
67	交通死亡事故件数 (※少ないほど良い)	1	目標値	0	0	0	0	0	0	件
			実績値	1	4	2	0			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

- ・運転免許証自主返納者を対象に、タクシーや路線バス等で利用できる共通回数券を交付することにより、運転に不安がある方の自主返納を促し、特に高齢者等に起因する交通事故の未然防止を図るとともに、公共交通機関の利用を促進しています。＜令和6年度交付申請者：175人（前年度206人）＞
- ・令和6年9月30日 路線バス「小出～浦佐線」運行終了
- ・令和7年1月31日 「小出まちなか循環線」運行終了
- ・令和7年2月 3日 「のるーと魚沼」実証運行開始

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

魚沼市地域公共交通計画に基づき、路線バスや乗合タクシー、コミュニティバスの運行など公共交通体系の確保・維持を図ることで、市内全域で公共交通空白地が解消されています。これにより、高齢者を中心とした通院や買い物など、交通弱者の移動手段を確保し、地域での生活を下支えすることができました。

さらに実証運行が開始された「のるーと魚沼」を含む乗合タクシーでは、昨年度実績を上回り、地域住民の利便性の向上及び利用者拡大に寄与しました。

また、魚沼市交通安全協会や小出警察署など、関係機関と連携した、交通安全運動や交通安全教室等の活動が実を結び、交通事故件数は前年より減少、交通死亡事故件数は0件となり、市民の安心な暮らしを下支えすることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	高い	「のるーと魚沼」を含む乗合タクシーの利便性の向上及び利用者拡大により、成果指標の目標値を上回りました。鉄道及び路線バスを幹線、各地域の乗合タクシーやコミュニティバスを支線と位置付け、事業者に対し運行支援を行うことで地域交通網を維持し、高齢者等の日常生活に必要な移動手段を確保することができました。 その他成果指標である交通事故件数、死亡事故件数の目標値を達成することができました。交通死亡事故件数0件は、昭和29年の統計開始以降初めてとなりました。小出警察署や魚沼市交通安全協会等の関係機関と連携を図り、様々な活動に取り組むことが事故件数の減少につながっています。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	高い	都市拠点と地域拠点間の公共交通軸を担う「路線バス」と、拠点と周辺的生活圏を連絡する「乗合タクシー」や「コミュニティバス」に対して市が運行支援を行うことで、地域間交通ネットワークを確保・維持することができました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	○
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		人口減少や少子高齢化、高まる移動ニーズの多様化に加え、社会問題となっているバス等運転手不足への対応は喫緊の課題といえます。 関係者の「共創」により、地域の交通資源を有効かつ効果的に活用することで、更なる利便性及び市民満足度の向上を図りながら、持続可能な地域交通網の再構築に努めるとともに、事業者の運転士確保に対して補助する仕組みづくりが必要です。 また、高齢者に関係する交通事故発生の割合が高い傾向が続いているため、高齢者への交通安全教育の強化や、運転に不安を感じる高齢者等への運転免許証自主返納の促進及び公共交通利用促進等を継続的に取り組んでいく必要があります。 ※共創：市民、交通事業者、自治体、その他関係者が連携・協働すること					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由		
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	○
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。				改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G S	9 産業と観光地域の 基盤をつくらう	10 人やモノの公平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを
------------------	--------------------------	-------------------------	-------------------------

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当課	部課名	総務政策部 企画政策課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり	担当課長名		
主要施策	2項 快適な暮らしを支える生活環境の整備	関係課		
施策名	2号 情報通信基盤の整備と活用			

2. 施策目的（目指すすがた）

情報通信基盤においては、市内どこでも情報が早く的確に伝わることをめざすとともに、地域に密着した情報を発信できる環境整備及び公共施設や商業施設、観光施設等への公衆無線LANの設置をすすめ、また、情報通信技術を積極的に活用することで関係人口を増やし、利便性の高い地域の実現を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
57		ICT推進事業		423	200	990	1,535	850		やや高い	C
		2 1 7	企画政策課								
		事業の 取組内容	市民や来訪者の利便性を向上させるため、公共無線LAN環境整備の支援を行うほか、デジタルに不慣れな方に向けてのスマートフォン教室を開催する。								
526		総合行政システム等管理事業		194,472	210,620	186,476	203,029	390,484		やや高い	B
		2 1 7	企画政策課								
		事業の 取組内容	公共施設において公衆無線LANを設置し、地域に密着した情報を発信できる環境を整備する。								
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	コミュニティFM放送聴取 可能世帯の割合	目標値		100	100	100	100	100	100	%
		実績値		98	100	100	100			
		達成率	(R1実績)	81.4%	100.0%	100.0%	100.0%	%		
2	メール配信登録者数	目標値		9,000	10,500	12,000	13,500	15,000	15,000 (H28～R7 累計)	人
		実績値	(H28～R1 累計)	9,480	9,505	9,706	-	-		
		達成率		105.3%	90.5%	80.9%	%	%		
3	公衆無線LAN設置支援件数	目標値		3	6	9	12	15	15 (R3～R7 累計)	件
		実績値	—	2	3	4	5			
		達成率		66.7%	50.0%	44.4%	41.7%	%		
4		目標値								
		実績値								
		達成率		%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
57	行政手続のオンライン化	16	目標値	21	28	35	42	52	52	種類
			実績値	16	19	20	23		(R3～R7 累計)	
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

公共施設の予約状況については、システムに接続することによって、スマートフォン等で24時間どこからでも確認できるようになったため、市民の利便性が向上しました。

また、スマートフォン教室については、受講者がデジタル機器を使用できるようになるとともに、市全体で、デジタル機器の普及が進むことによって、デジタルを活用した地域社会の構築に寄与しています。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由		
施策成果の達成度	・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや低い	市の公式LINEを導入し、市民が情報を得る手段が拡大しましたが、指標の達成率が低いため、「やや低い」としました。		
貢献度	・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	公共施設予約システムの導入やスマートフォン教室の開催などにより、市民の利便性は向上しているため、「やや高い」としました。		
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	○	
課題及び今後の方向性	公共施設を利用する方の利便性向上のための無線LAN設置については継続しますが、公衆無線LAN設置支援事業補助金については、年間申請件数が1、2件と少ないため、制度廃止を検討します。 また、コロナ禍以降においては、各種手続におけるデジタル化が急速に進んでいることにあわせ、行政手続のデジタル化を加速するとともに、デジタル機器操作が不安な方への操作支援についても継続を検討します。				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや低い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	○	
課題及び今後の方向性		一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 結	1 貧困をなくそう 人々の暮らしを豊かにする	3 すべての人に健康と福祉を 心と体の健康を促す	5 ジェンダー平等を 実現しよう 男女の平等を推進する	9 産業と資源循環の 創発を促そう 持続可能な産業を創出する	11 住み続けられる まちづくりを 持続可能な都市を創出する	17 パートナリシップで 目標を達成しよう パートナーシップで目標を達成しよう
-----------------------	---------------------------	-----------------------------	-----------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	---

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価担当課	部課名	産業経済部 都市整備課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり	担当課長名		
主要施策	2項 快適な暮らしを支える生活環境の整備	関係課	地域創生課	
施策名	3号 住環境の整備			

2. 施策目的（目指すすがた）

屋根雪除雪の安全対策や一般住宅の克雪化、耐震化などをすすめるほか、法令に基づき空き家対策として所有者等に解体・撤去を含めた適正な管理を促すとともに、空き家バンクなどを通じて有効活用を図ります。

また、公営住宅については、計画的な改修による長寿命化を図るとともに、民間活力も視野に入れながら利便性の高い市街地周辺に住民ニーズに対応した再編整備をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
45	○	移住定住促進事業									
		2 1 6 地域創生課		1,588	6,079	16,196	23,298	22,711		やや高い	C
		事業の取組内容	移住者が新規住宅取得した場合、家賃補助等を行う。								
341		公営住宅等大規模改修事業									
		8 5 1 都市整備課		10,175	385	82,149	—	—			
		事業の取組内容	老朽化が進む公営住宅の計画的な大規模改修を実施する。								
342		公営住宅整備事業									
		8 5 1 都市整備課		6,733	14,383	3,783	75,792	131,883		やや高い	A
		事業の取組内容	建物が老朽化した住宅団地を集約し、住宅の建替えを行う。								
343		克雪すまいづくり支援事業									
		8 5 2 都市整備課		8,805	3,419	5,217	4,828	6,000		やや高い	A
		事業の取組内容	克雪住宅の整備を行う者に対し、費用の一部を補助する。								
344		住宅耐震化等支援事業									
		8 5 2 都市整備課		100	0	810	1,440	4,139		やや高い	B
		事業の取組内容	木造住宅の耐震診断・改修等を支援し、地震に強いまちづくりを推進する。								
345		屋根雪除雪安全対策事業									
		8 5 2 都市整備課		2,312	5,484	2,671	2,244	3,500		やや高い	B
		事業の取組内容	屋根の雪下ろし作業用の命綱を固定するための金具の取付等の費用を助成する。								
346	○	住宅リフォーム支援事業									
		8 5 2 都市整備課		62,958	68,080	61,471	52,433	60,229		やや高い	A
		事業の取組内容	個人住宅等の質の向上を図り、かつ空き家の有効活用により移住定住を促進する。								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	克雪住宅支援件数	—	目標値	40	80	120	160	200	200 (R3～R7 累計)	件
	克雪すまいづくり支援件数＋ 屋根雪除雪安全対策支援件数		実績値	58	142	200	258			
			達成率	145.0%	177.5%	166.7%	161.3%	%		

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
2	空き家バンクの登録件数 令和3年から令和7年の累 計	21 (H28～R1 累計)	目標値	24	28	32	36	40	40 (R3～R7 累計)	件
			実績値	25	32	44	60			
			達成率	104.1%	114.2%	137.5%	166.7%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
45	お試し住宅利用日数	0	目標値	100	150	200	200	200	200	日
			実績値	0	3	38	188			
45	ふるさと応援住民登録 (累計)	353	目標値	420	490	560	630	700	700	人
			実績値	595	839	975	1,088			
45	移住・定住者の数	286	目標値	270	280	290	295	300	300	人
			実績値	221	201	281	194			
341	公営住宅改修工事設計実 施数	0	目標値	0	0	1	3	4	4	棟
			実績値	0	0	0	3			
341	公営住宅改修工事実施棟 数	1	目標値	1	0	2	0	3	3	棟
			実績値	1	0	2	0			
342	公営住宅解体数		目標値	3	6	0	2	2	2	棟
			実績値	3	6	0	2			
343	克雪すまいづくり支援事 業 申請件数	9	目標値	40	27	17	17	17	17	件
			実績値	21	10	14	17			
344	耐震診断 申請件数	0	目標値	3	1	1	1	1	1	件
			実績値	0	0	1	4			
344	アスベスト除去 申請件 数	0	目標値	1	1	1	1	1	1	件
			実績値	0	0	0	0			
344	ブロック塀安全対策 申請件 数	0	目標値	10	1	1	1	1	1	件
			実績値	1	0	0	0			
345	屋根雪除雪安全対策 申 請件数	19	目標値	60	60	70	70	70	70	件
			実績値	37	74	44	41			
345	屋根雪除雪による死傷者 数	7	目標値	7	7	7	7	7	7	人
			実績値	7	5	5	10			
346	住宅リフォーム申請件数 (通常・世帯要件分)	401	目標値	397	458	470	320	320	320	件
			実績値	456	492	423	346			
346	住宅リフォーム申請件数 (空き家対策分)	3	目標値	3	4	5	5	5	5	件
			実績値	8	6	9	9			
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

空き家バンク登録件数（令和6年度：16件）
 空き家バンク成約件数（令和6年度：10件うち5件が市外からの移住者）
 特定空家等の除却1件（今泉地内）

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

各種住宅支援施策の実施により、克雪化・屋根雪処理の安全対策・耐震化や快適な住まいづくりなど安全で安心な住環境の整備が図られたほか、定住促進事業補助金及び空き家バンク登録制度の運用により、移住者の住まい確保と空き家の有効活用を進めることができました。

公営住宅については、改修工事の実施による長寿命化を図るとともに、老朽化した住宅から市街地周辺の公営住宅への住替えを進め、退去が完了した住宅を解体するなどして公営住宅再編及び管理戸数の適正化を推進しました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

1. 施策に対する評価（成果・活動の評価）（長評価）						
評価項目		評価の観点		評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	高い	克雪住宅支援件数及び空き家バンクの登録件数が目標を上回り、住環境の整備及び空き家活用につながっていることから「高い」と評価しました。
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	住宅リフォーム支援事業を始めとした個人住宅への支援制度は、住環境の質の向上、空き家の活用など快適な暮らしを支える住まいづくりに貢献していることから「やや高い」と評価しました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。				改善・見直し	
課題及び今後の方向性		個人住宅への支援制度は、安全で快適な住まいづくりに向け、引き続き事業周知により活用を図るとともに、物価上昇に伴う補助率や補助上限の見直しのほか、カーボン・ニュートラル、省エネ化等に向けた制度設計についても検討する必要があります。空き家の利活用促進は、移住者の住まい確保と管理不良空き家の減少につながることから、更に情報発信に力を入れるとともに、子育て世代、二地域居住など様々なニーズに対応した支援制度の検討が必要です。 公営住宅については、老朽化が進行していることから、令和5年度に策定した公営住宅等再編整備計画により着実に改修と市街地周辺の公営住宅への住替えに取り組んでいきます。				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由		
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。				改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G 連 s	11 防災関係 まちづくり	17 パートナシップで 目標を達成しよう
------	----	----	--------	-----------------------	------------------	-------------------------

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当 課	部課名	総務政策部 防災安全課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり	担当課長名		
主要施策	3項 暮らしを守る防災体制の整備	関係 課	消防本部 総務課	
施策名	1号 自助・共助・公助の仕組みの充実			

2. 施策目的（目指すすがた）

家庭・学校・職場などで自らがその生命や財産を守り（自助）、地域や企業が助け合い（共助）、市・消防本部・消防団・警察などによる応急・復旧対策活動（公助）の役割を明確にし、連携の仕組みを充実して災害対応を円滑にします。

なお、消防団は、公助と共助の両方の側面があり、指揮統制で活躍する実働部隊であると同時に、公助と共助や自助との「つなぎ役」、住民に対する「情報伝達者」であることから、役割の明確化を図ります。

加えて、災害発生時に備えて適切な公的備蓄と感染症等を考慮した避難所運営を行うとともに、災害時の食料・物資の供給、避難所利用などに関する協定の締結を行い、緊急時の体制を整備します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
355	○	消防団管理運営事業		64,924	61,201	75,154	72,646	77,939		やや高い	B
		9 1 2	消防本部								
		事業の 取組内容		報酬、費用弁償、車両・施設等の維持管理費、負担金など							
359	○	防災対策事業		22,286	31,740	17,138	10,600	20,033		やや高い	B
		9 1 4	防災安全課								
		事業の 取組内容		防災対策全般（防災企画、災害対応、自主防災組織、防災訓練等）を実施する							
		9 1 1									
		事業の 取組内容									
		9 1 1									
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	自主防災組織の加入率	94 (R1実績)	目標値	96	97	98	99	100	100	%
			実績値	96	96	96	96			
			達成率	100.0%	98.9%	98.0%	97.0%	%		
2	防災連携協定の締結数	37 (R1末)	目標値	40	42	45	48	50	50	団体
			実績値	43	43	43	46			
			達成率	107.5%	102.3%	95.6%	95.8%	%		
3	消防団協力事業所の数	13 (R1末)	目標値	15	16	16	17	18	18	団体
			実績値	15	15	15	16			
			達成率	100.0%	93.7%	93.7%	94.1%	%		
4	消防団員数 人口比率2.5%が目標値	879 (2.48%) (R1末)	目標値	853	840	827	814	800	800 (2.50%以上)	人
			実績値	829	812	773	734			
			達成率	97.1%	96.6%	93.4%	90.1%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
	自主防災組織数	参考	目標値							
			実績値	145	145	145	145			
	防災士数	参考	目標値							
			実績値	149	158	164	175			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

自主防災組織の加入率、防災連携協定の締結数、消防団協力事業所数については、目標値を下回りましたが、新たに1事業所が加入し、目標値に近づきました。自主防災組織の地域防災活動に対する活動支援を通して、防災士の登録数を増やすことができました。また、防災連携協定団体、消防団協力事業所に対しては、平時から連絡調整等により顔が見える関係づくりに努め、災害時の協力体制の強化につなげることができました。

また、消防団についても、装備品の計画的な整備を進めるとともに、機能別消防団員制度を導入し、減少傾向にある消防団員を確保する体制を整え、防災体制の充実強化につなげることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	自主防災組織の防災意識向上や協定団体等との関係強化、消防団の装備品整備により防災体制の強化につながっているため「やや高い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	自助・共助の充実を図っていくためには、自主防災組織や消防団の組織力強化や関係機関との連携強化は必要であることから、「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		発災時にそれぞれの自主防災組織がどのように行動するのか、具体的な話し合いが進んでいない地域があるため、そうした地域を一つでも少なくしていくことが課題となっています。今後、個別避難計画をいかした要支援者の支援や避難所の見直し等、地域課題の解決に向け、住民が互いに話し合い、最終的に地域みんなで地区避難計画ができるような場づくりを、これまで以上に積極的に取組を進めていきます。 また、消防団員が減少傾向にあり、次世代の担い手の確保、少数で対応できる体制の強化等が課題となっています。消防団員の確保については、その活動が地域から称賛され頼りにされるような活躍の場を増やし、よりやりがいのある活動に変えることで、次の世代の担い手の確保につなげて行きます。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点		評 価	評 価 の 理 由		
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。		
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。		
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価のとおり。					

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G S	11 住生活づくりを まちづくりを	17 パートナリングで 目標を達成しよう
------	----	----	--------	------------------	----------------------	-------------------------

1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価 担当 課	部課名	総務政策部 防災安全課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着のもてるまちづくり	担当課長名		
主要施策	3項 暮らしを守る防災体制の整備	関係 課	地域創生課	
施策名	2号 自助・共助を支える支援体制の強化			

2. 施策目的（目指すすがた）

家庭・学校・職場などでの災害への備え、危険箇所、避難場所や経路などの情報を提供するとともに、自らを守る防災意識の向上や防災教育の充実を図ります。
また、自主防災会や防災士の育成・支援及び連携体制の整備をすすめ、地域防災力の底上げを図るとともに、避難行動要支援者名簿や災害情報の共有を図るなど、地域や職場を守る災害対応を支援します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目 担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
358		防災対策事業	1,720	16,438	10,243	9,100	8,103		やや高い	B
		9 1 4 地域創生課								
		事業の 取組内容	空家の所有者等に対する管理不全の解消に向けた働きかけや空家の有効活用を支援する							
359	○	防災対策事業	22,286	31,740	17,138	10,600	20,033		やや高い	B
		9 1 4 防災安全課								
		事業の 取組内容	防災対策全般（防災企画、災害対応、自主防災組織、防災訓練等）を実施する							
		事業の 取組内容								
		事業の 取組内容								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	防災士の市内登録地区数	80 (R1末)	目標値	88	90	95	100	105	105	地区
			実績値	88	91	92	93			
			達成率	100.0%	101.1%	96.8%	93.0%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
359	個別避難計画作成件数	参考	目標値							件
			実績値		3	13	1,844			
359	地区防災計画作成数	参考	目標値							地区
			実績値		1	2	1			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

地域に出向き地区避難計画作成の必要性を伝えてきた活動が自治会等において自主的な防災学習会の実施に結びつくなど、自主防災組織等における防災意識は着実に醸成しつつあります。

これにより、令和6年度は、堀之内地域の1地区で地区避難計画が作成されたほか、堀之内地区で1地区、小出地域で2地区、広神地域で1地区、守門地域で2地区の計6地区において地区避難計画の作成が着手されました。

また、市内防災士の育成により、11名の防災士が新たに誕生するとともに、防災士の市内登録地区数も1地区増えました。防災のリーダー役である防災士が増えたことで、地域の防災力強化につなげることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由		
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い		
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い		
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し		
課題及び今後の方向性	地域防災力の向上を図るうえで、防災教育などを通じて市民の防災に対する意識付けを進めることが重要となることから、引き続き、うおぬま防災ネットワークや防災士等の協力を得ながら、共助による防災意識の醸成を図っていきます。 市内での防災士登録数が増えつつありますが、地域での具体的な取組につなげられていないため、防災士のスキルアップ事業や交流事業を継続して実施し、防災士同士の連携が図れる体制づくりを進めていきます。 自主防災組織の活性化について、今後、要支援者の支援方法や避難所の見直し等の検討をきっかけに、住民相互に話し合いながら、地域の全体で地区避難計画を策定できるような場づくりに取り組んでいきます。				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

施策に対する評価（得意計画・得意計画・得意計画）							
評価項目		評価の観点		評価	評価の理由		
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課題及び今後の方向性		一次評価のとおり。					

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------



1. 基本情報

施策分野	生活基盤	評価担当課	部課名	総務政策部 防災安全課
基本目標	1節 安心な暮らし 愛着もてるまちづくり	担当課長名		
主要施策	3項 暮らしを守る防災体制の整備	関係課	建設課	消防本部 総務課
施策名	3号 防災基盤の強化			

2. 施策目的（目指すすがた）

市の防災体制の充実を図るとともに消防団は教育訓練、処遇等の改善を図りながら団員確保に努め、救済活動を効率的で効果的に行うために関係機関との協力関係を強化します。
また、災害・防災情報の確実な伝達を図るため、防災行政無線等の充実を図るとともに、国県と連携し、自然災害の減災対策のための施設整備を促進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
325	○	内水対策事業		307,605	547,399	340,936	354,897	1,393,646		高い	B
		8 3 1	建設課								
		事業の 取組内容		四日町・袖八川地区の内水対策として、排水機場新設及び排水ポンプ増設を行う。							
355	○	消防団管理運営事業		64,924	61,201	75,154	72,646	77,939		やや高い	B
		9 1 2	消防本部								
		事業の 取組内容		報酬、費用弁償、車両・施設等の維持管理費、負担金など							
356	○	消防団施設整備事業		34,404	29,629	24,520	26,533	31,830		高い	B
		9 1 2	消防本部								
		事業の 取組内容		小型動力ポンプ、積載車、消防器具庫等を整備する。							
362	○	防災行政無線等整備事業		59,087	33,770	70,600	73,150	79,398		高い	A
		9 1 4	防災安全課								
		事業の 取組内容		同報系防災行政無線屋外子局増設工事の実施及び防災情報伝達設備等更新計画の策定を行う。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	消防団員数 人口比率2.5%が目標値	879 (2.48%) (R1末)	目標値	853	840	827	814	800	800 (2.50%以上)	人
			実績値	829	812	773	734			
			達成率	97.1%	96.6%	93.4%	90.1%	%		
2	小型動力消防ポンプ付積載車更新 20年以上経過したものの中から総合的に判断する		目標値	3	3	3	4	1	18	台
			実績値	3	3	3	3			
			達成率	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%	%		
3	屋外子局等数 難聴取地区の縮減を図る	115	目標値	125	130	135	140	140	140	箇所
			実績値	125	129	129	129			
			達成率	100.0%	99.2%	95.5%	92.1%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
325	魚沼市四日町地区及び袖 八川流域浸水対策協議会	1	目標値	1	2	3	4	5	5	回
			実績値	1	1	1	1			
355	消防団協力事業所	15	目標値	15	16	16	17	18	18	団体
			実績値	15	15	15	16			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

防災行政無線屋外子局等数について、R 5 年度に実施した難聴取地区等の調査の結果、更新時にスピーカの機能向上を図ることで整備数を増やす必要がないことが判明したため、R 5 年度以降は新規設置は行わず、1 2 9 基を維持管理していくこととしています。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

消防団の資機材について、適正配置の観点から車両の更新計画を見直した中で、適正に更新整備することができ、地域防災力の充実強化につながりました。

また、内水対策として四日町排水ポンプ場工事を昨年度から継続して行い、おおむね予定どおりに進捗しており、防災対策の整備につながっています。

防災行政無線等の整備については、計画どおり屋外拡声子局を更新することができ、確実な情報伝達につながっています。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	消防団の施設及び装備の充実、情報伝達設備の拡充、内水対策整備とも計画どおり進捗し、地域防災基盤の強化につながっていることから「やや高い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	市の防災体制の充実を図っていくうえで、消防団の装備等や各種設備等の整備などハード面での対策は優先的に取り組んでいく必要がある事業であり、貢献度は「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		消防団員の減少による地域への資機材の適正配置と、施設と組織のバランスを図った運用が課題です。 同報系防災行政無線設備について、令和5年度からは、音達エリアの拡大のため毎年10基程度を計画的に更新することとしておりますが、更新費用が高額なため、安価に維持管理が行える新たな情報伝達方式についても検討を進めていきます。 地域の実情や要望に合わせた消防団の再編成を進めるとともに、防災体制の強化を図るため、引き続き施設、設備等の整備を進めていきます。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点		評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し		
課題及び今後の方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 s	2 気候を ゼロに	6 安全な水とトイレ を世界中に	13 気候変動に 具体的な対策を	15 陸の豊かさも 守ろう	17 パートナースHIPで 目標を達成しよう
-----------------------	--------------	---------------------	---------------------	------------------	---------------------------

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当課	部課名	市民福祉部 生活環境課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり	担当課長名		
主要施策	1項 豊かな自然の保全と育成	関係課	農政課	
施策名	1号 豊かな自然と美しい景観の保全			

2. 施策目的（目指すすがた）

やすらぎと潤いを与えてくれる貴重な自然環境を次代へつなぐため、環境意識の啓発を図り、市民一人ひとりの環境保全に対する意識を高めるとともに、市民や関係団体と協働して、貴重・希少な動植物の保護に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
215	○	自然環境保全事業		4,331	4,676	6,006	4,103	5,992		高い	B
		4 1 4	生活環境課								
		事業の 取組内容		市内の自然環境調査を実施する。							
253		環境保全型農業直接支払交付金事業		2,415	3,010	3,361	4,335	3,820		やや高い	A
		6 1 3	農政課								
		事業の 取組内容		環境保全に資する農業の取組を行う者に対し交付金を支出する。							
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	自然環境保全地域の指定数	3 (R1末)	目標値	5	5	5	5	5	5	箇所
			実績値	5	6	7	7			
			達成率	100.0%	120.0%	140.0%	140.0%	%		
2	豊かな自然の保全と育成の満足度 総合計画市民アンケートより（R5に実施）	39.3 (R1調査)	目標値	—	—	50	—	—	50	%
			実績値	—	—	65.3	—	—		
			達成率	%	%	130.6%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
215	自然環境活動団体数	13 (R1末)	目標値	14	18	19	20	20	20	団体
			実績値	16	19	19	19			
215	生物多様性調査 植物調査確認種数	961	目標値	970	985	1,000	1,010	1,020	1,020	種
			実績値	1,027	1,077	1,097	1,105			
253	環境保全に資する農業取 組面積	5,687	目標値	6,000	6,000	7,700	7,700	7,700	7,700	a
			実績値	5,687	7,041	8,297	8,944			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標「自然環境活動団体数」については、過去の実績値に集計誤りがあったため、遡及して訂正しています。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

自然保護協力員の活動により、保全地区の状況を把握し、規制行為を未然に防止することができました。

自然環境保全調査により、魚沼市の豊かな自然をデータ化することで改めて確認するとともに、記録として残すことができました。また、調査の成果をセミナーで報告することで市民に還元し、自然環境保全の機運を高めることができました。

標本づくり教室及び標本展により、魚沼市の将来を担う次世代に自然環境保全の重要性を啓発することができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	
貢献度		・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課題及び今後の方向性		生物多様性調査は継続的な実施が必要である一方、携わる方々の高齢化等により人材の育成と発掘が課題となっています。 保全地域・保護動植物を指定した地区の保全維持管理をどのように図っていくか、継続的な保全体制づくりが課題です。 引き続き、市、地元NPO法人、市民ボランティアと協働で自然環境保全調査等を進めていくとともに、次世代の人材や団体を育成していく必要があります。また、調査成果を効果的に活用し、環境保全啓発や環境教育の取組へつなげていくこととします。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

施策に対する評価（一次評価）					
評価項目	評価の観点	評価	評価の理由		
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。	
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課題及び今後の方向性	一次評価に加え、人材の育成と発掘の具体的な取組について検討すること。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 系	4 質の高い教育を みんなに	6 安全な水とトイレ を世界中に	13 気候変動に 具体的な対策を	15 陸の豊かさも 守ろう
-----------------------	-------------------	---------------------	---------------------	------------------

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当課	部課名	産業経済部 農林整備課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり	担当課長名		
主要施策	1項 豊かな自然の保全と育成	関係課		
施策名	2号 森林と里山の再生			

2. 施策目的（目指すすがた）

森林や里山の持つさまざまな機能を活かすための啓発活動、森林体験学習などの推進を図り、市民一人ひとりの森林保全に対する意識を高めます。
また、森林が循環する「植える・育てる・活用する」の推進を図り、森林の有する多面的機能を保持する健全な森林づくりをすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価 貢献度	達成度
		予算科目 担当課	決算	決算	決算	決算	予算			
268		林業振興事業	545	551	1,811	1,660	2,727		やや高い	B
		6 2 2 農林整備課								
		事業の 取組内容	森林保全の意識を醸成するとともに、林業振興に資する事業を実施する。							
270	○	森林整備事業	17,828	9,845	40,550	95,999	136,479		やや高い	B
		6 2 2 農林整備課								
		事業の 取組内容	市行造林事業、森林整備推進事業等の実施により、森林・里山の健全化及び林業の活性化を図る。							
271	○	里山整備事業	22,081	21,579	—	—	—			
		6 2 2 農林整備課								
		事業の 取組内容	里山の整備及び木材搬出に係る補助を行う。							
274	○	森林体験・環境学習事業	321	675	—	—	—			
		6 2 2 農林整備課								
		事業の 取組内容	森林を活用した体験メニューやインストラクターの充実を図る。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	森林整備面積	723 (H16～R1 累計)	目標値	800	840	880	920	960	960 (H16～R7 累計)	ha
			実績値	789	810	832	861			
			達成率	98.6%	96.4%	94.5%	93.5%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
268	市民向け森林整備啓発研修の年間回数	0	目標値	2	2	2	2	2	2	回/年
			実績値	0	0	2	3			
268	「魚沼森林塾」参加者数	11	目標値	15	15	15	15	15	15	人/年
			実績値	7	12	7	8			
268	新規インストラクター数	9	目標値	10	10	10	10	10	10	人/年
			実績値	4	5	8	11			
270	市有林森林整備面積	14	目標値	10	10	10	10	10	10	ha/年
			実績値	12	8	11	20			
270	私有林森林整備面積	19	目標値	10	10	10	10	10	10	ha/年
			実績値	21	12	7	7			
270	未整備私有林整備面積	0	目標値	5	5	5	5	5	5	ha/年
			実績値	0	2	5	2			
270	里山整備面積	39	目標値	50	50	50	50	50	50	ha/年
			実績値	41	52	54	53			
270	森林資源活用量	2,389	目標値	3,110	3,280	3,450	3,630	3,800	3,800	t/年
			実績値	2,645	1,139	986	2,120			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和5年度から森林体験・環境学習事業は林業振興事業に、里山整備事業は森林整備事業に統合しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

市民向け森林整備啓発研修やうおぬま森の学校事業を実施することにより、市民が森林の持つ機能や森林循環サイクルの重要性について理解を深めることができました。森林インストラクター養成講座では、市内関連団体の指導者等が研鑽を重ねるとともに、森林体験や環境学習を指導するための人材を育成しました。

里山整備事業では、新たな団体が事業に取り組み、市民の森林保全意識の高まりが着実に進んでいます。また、市有林は間伐を実施し、私有林は事業体等と連携した間伐等を進めることができ、水源かん養や土砂災害防止など多面的な機能を保持する健全な森林づくりを進めました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	成果指標の達成状況はやや下回るものの、森林整備面積は目標に向かって進展していることから「やや高い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	市民の森林保全への関心が徐々に現れ、里山の整備促進につながり、健全な森林づくりに貢献していることから「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		市民一人ひとりの森林保全に対する意識を高めるには、森林・里山に触れる機会を継続し、意識を啓発していく必要があります。また、森林の有する多面的機能を維持し、緑豊かな森林づくりを進めるには、市有林及び私有林の森林整備を促進する必要があります。 市民の森林保全に対する意識を高めるため、森林体験や環境学習など啓発活動の充実を図ります。また、森林環境譲与税を活用し、計画的かつ効率的な間伐等の森林整備を行い、森林の再生を図ります。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点		評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し		
課 題 及び 今後の 方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G 連 系	4 質の高い教育を みんなに	6 安全な水とトイレを 世界中に	13 気候変動に 具体的な対策を	15 陸の豊かさも 守ろう
------	----	----	--------	-----------------------	-------------------	---------------------	---------------------	------------------

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当課	部課名	産業経済部 農林整備課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり	担当課長名		
主要施策	1項 豊かな自然の保全と育成	関係課	生活環境課	
施策名	3号 野生鳥獣との共生			

2. 施策目的（目指すすがた）

野生鳥獣による人身及び農作物への被害を防止するため、森林や里山の整備をすすめます。
また、市民に野生鳥獣に関する正確な情報を伝え、被害防止の啓発を図るとともに関係機関と連携を行い、出没・生息状況の把握に努め、人身及び農作物への被害を防止し、多様な動植物との共生を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
215	○	自然環境保全事業		4,331	4,676	6,006	4,103	5,992		高い	B
		4 1 4	生活環境課								
		事業の 取組内容		市内の自然環境調査を実施する。							
270	○	森林整備事業		17,828	9,845	40,550	95,999	136,479		やや高い	B
		6 2 2	農林整備課								
		事業の 取組内容		市行造林事業、森林整備推進事業等の実施により、森林・里山の健全化及び林業の活性化を図る。							
271	○	里山整備事業		22,081	21,579	－	－	－			
		6 2 2	農林整備課								
		事業の 取組内容		里山の整備及び木材搬出に係る補助を行う。							
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	自然環境活動団体数 環境保全活動を行う市内 団体数	13	目標値	14	15	15	15	15	15	団体
			実績値	16	19	19	19			
			達成率	114.2%	126.6%	126.6%	126.6%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
270	里山整備面積	39	目標値	50	50	50	50	50	50	ha/年
			実績値	41	52	54	53			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和5年度から里山整備事業は森林整備事業に統合しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

生物多様性セミナーを開催し、鳥獣も含めた環境保全に関する啓発を行い、多様な動植物との共生に資することができました。
電気柵の設置のほか、里山の整備を進めることで、農作物への被害軽減を図ることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		自然活動環境団体が地域の自然を自ら継続的に保全するため、後継者の確保が課題です。また、野生鳥獣による被害を防止するため、里山整備の促進とともに、捕獲を含めた対策を検討する必要があります。 市民に対して鳥獣を含めた環境保全に関する啓発を行い、多様な動植物との共生を進めていきます。また、野生鳥獣による被害を防止するため、電気柵の設置など対策を強化するとともに、市内全域に向けた里山整備事業の活用促進を図ります。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点		評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い 高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し		
課 題 及び 今後の 方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 結	4 質の高い教育を みんなに	6 安全な水とトイレ を世界中に	13 気候変動に 具体的な対策を	15 陸の豊かさも やろう
-----------------------	-------------------	---------------------	---------------------	------------------

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当課	部課名	産業経済部 観光課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり	担当課長名		
主要施策	2項 自然の恵みを活かす仕組みづくりの推進	関係課	地域創生課	北部事務所
施策名	1号 自然環境を活用した地域づくりの推進		農林整備課	生涯学習課

2. 施策目的（目指すすがた）

四季折々の美しく豊かな自然を活かした地域の魅力を発信し、四季を通じた体験型観光や友好都市等との交流事業の取組を進めることにより、自然の魅力を伝え、魚沼市から行く尾瀬や雪国体験など、自然の恵みを活かした観光誘客に取り組み、市民や関係団体と協働で地域の活性化を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価 貢献度	達成度
		予算科目	決算	決算	決算	決算	予算			
		担当課								
34	○	地域交流推進事業	492	1,140	2,049	6,045	5,987		やや高い	B
		2 1 6 地域創生課 北部事務所								
	事業の 取組内容	友好自治体や、魚沼特使、在京郷人会等各団体との交流を行う。								
42	○	田舎暮らし体験事業	9	68	—	—	—			
		2 1 6 北部事務所								
	事業の 取組内容	田舎暮らしの疑似体験の場、また移住定住を検討する際の素材提供を行う。 ※R5より「No.45移住定住促進事業」へ移行								
282		峠のふるさと広場施設運営事業	5,102	4,875	5,191	6,597	27,996		やや高い	A
		6 2 4 農林整備課								
	事業の 取組内容	峠のふるさと広場の施設運営と、施設を活用した自然体験イベント等を実施する。								
301	○	誘客宣伝事業	93,733	125,952	65,834	83,806	77,695		やや高い	B
		7 1 3 観光課								
	事業の 取組内容	魚沼市観光協会と連携し、本市の観光資源を活用した誘客宣伝活動を行う。								
302	○	体験型観光推進事業	20,522	21,501	17,955	17,992	18,563		やや高い	B
		7 1 3 観光課								
	事業の 取組内容	魚沼の自然や農林業を活用した体験型観光の誘客を図る。								
457		エコ・ミュージアム教育旅行受入事業	0	0	0	—	—			
		10 4 5 生涯学習課								
	事業の 取組内容	首都圏からの学校団体による教育旅行の受入や保育園児やシルバー世代等の幅広い年齢層へのプログラム展開により、地域の活性化を図る。								
45		移住定住促進事業	1,588	6,079	16,196	23,298	22,711		やや高い	C
		10 4 5 地域創生課・北部事務所								
	事業の 取組内容	移住・定住促進のため、定住促進事業補助制度の実施、お試し住宅を整備し運営します。								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	魚沼自然教室の参加者数	9,388 (R1実績)	目標値 9,800 実績値 7,092 達成率 72.4%	10,100 12,218 119.6%	10,400 9,076 87.3%	10,800 8,852 82.0%	11,000 %	11,000	人／年

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
2	ふるさと広場利用者数	2,980 (R1実績)	目標値	3,140	3,230	3,320	3,410	3,500	3,500	人／年
			実績値	2,990	3,616	5,108	4,406			
			達成率	95.2%	111.9%	153.8%	129.2%	%		
3	観光客の入込数	1,654,763 (R1実績)	目標値	1,650,000	1,675,000	1,700,000	1,725,000	1,750,000	1,750,000	人／年
			実績値	1,174,284	1,551,384	1,690,518	1,620,546			
			達成率	71.2%	92.6%	99.4%	93.9%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
34	交流回数	0	目標値	20	20	19	19	19	19	回
			実績値	0	19	20	14			
34	郷人会交流会への参加者数	0	目標値	290	280	210	210	210	210	人
			実績値	0	0	135	182			
301	年間宿泊客数	82	目標値	145	158	172	185	198	198	千人
			実績値	108	176	176	183			
302	体験型観光の受入延べ人泊数	0	目標値	24,800	25,400	26,000	26,600	27,200	27,200	人泊数
			実績値	9,671	26,963	20,210	19,811			
457	事業参加者数	471	目標値	2,400	2,400	2,400	-	-	-	人
			実績値	759	1,146	359				
457	うち県内団体人数	287	目標値	1200	1200	1200	-	-	-	人
			実績値	610	1,043	105				
457	うち県外団体人数	184	目標値	1,200	1,200	1,200	-	-	-	人
			実績値	149	103	198				
45	お試し住宅利用日数	0	目標値	100	150	200	200	200	200	日
			実績値	0	3	38				
45	ふるさと応援住民登録数	353	目標値	420	490	560	630	700	700	人
			実績値	595	839	975				
45	移住・定住者の数	286	目標値	270	280	290	295	300	300	人
			実績値	221	201	281				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

首都圏の友好都市などの多くの小中学生に対し、四季に応じた様々な自然体験プログラムを通じ、本市の自然や暮らしの魅力に触れる機会を提供することができました。

また、提供する体験プログラムの多くには様々な市民や団体が指導者やガイドとして関わっており、交流のなかで本市への関心を深化させるとともに指導者等のやりがいにもつながるなど協働による誘客促進に寄与しました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	首都圏からの体験型観光の推進や自然をいかした拠点施設での体験イベント等の実施により、施策目標達成に向けて進展が見られました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	本市で観光誘客に取り入れているグリーンツーリズムやアグリツーリズムといった自然体験型観光は、国県ともに重点として推進しており、施策を構成する各事業の実施は、施策目標の達成につながります。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		自然環境を活用した新たな体験メニューの開発や既存メニューの磨き上げにより、来訪者の拡大や満足度向上を目指します。 併せて、友好都市などの小中学生の再来訪促進への取組を強化し、ひいては関係人口の拡大により地域活性化につなげ、ヒト・モノ・カネの循環を生む仕組みづくりを進めます。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の 方向性		一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G s	8 働きがいも 経済成長も	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
------------------	---------------------	-----------------------------

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当課	部課名	産業経済部 農林整備課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり	担当課長名		
主要施策	2項 自然の恵みを活かす仕組みづくりの推進	関係課		
施策名	2号 森林資源の利活用の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

森林や里山づくりにより産出されるさまざまな森林資源の地産地消を促進するとともに、地域の活性化をめざして、木質バイオマスエネルギーの有効活用と新たな利活用の取組をすすめる、森林資源の利活用を促進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価		
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度	
276	○	魚沼市産材活用促進事業		15,240	16,055	12,908	9,945	12,116		やや高い	B	
		6	2									2
		事業の 取組内容		地元産材を利用した新たな商品開発及び販路拡大、木材の需要拡大を図る。								
		事業の 取組内容										
		事業の 取組内容										
		事業の 取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	森林資源の利用量	2,761 (R1実績)	目標値	3,110	3,280	3,450	3,630	3,800	3,800	t ／ 年
			実績値	2,645	1,139	986	2,120			
			達成率	85.0%	34.7%	28.5%	58.4%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
276	地元産木材使用量	268	目標値	320	320	320	320	320	320	㎡3/年
			実績値	168	152	130	126			
276	市産材活用製品開発総数		目標値			21	30	40	40	個
			実績値			18	25			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和5年度より、事務事業に関する活動指標及び成果指標に「市産材活用製品開発総数」を追加しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

魚沼市産材の家づくり事業補助金では8棟126㎡の利用があり森林資源の利活用を推進したほか、市産材を活用した木製什器5件を製作して市内公共施設に配置し、森林資源の地産地消を促進しました。
また、魚沼市産材活用製品制作事業補助金では、市産材の木製品7製品を開発・制作して、森林資源の新たな利活用と林業の活性化につなげました。
森林整備や里山整備から産出された木材は、市内を中心に炭材や土木用材、木質バイオマスに活用されました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	森林資源の利用量は目標値に届かないものの、市有林及び私有林の利用間伐が進捗して、令和5年度数値より大きく回復したことから「やや高い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	市産材の家づくり事業や木製什器・玩具の製作などにより、森林資源の地産地消と利活用が図られ、市産材活用製品開発数も順調に増えていることから「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		市産材を活用した家づくり事業や木製什器等の市内公共施設導入、さらに市産材を活用した新たな木製品の開発により一定の成果はあるものの、地域林業の活性化を図るためには、木工事業者の販路開拓をサポートし、木製品の生産や販売量を拡大していく必要があります。また、市有林や私有林の森林整備の推進により、森林資源の拡大を図って行く必要があります。 今後も利用間伐等の森林整備を推進し、森林資源利用量の拡大に取り組むとともに、市産材の地産地消と利活用を促進し、川上から川下まで流通の円滑化を図ります。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の 方向性		一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G S	4 質の高い教育をみんなに	6 安全な水とトイレを世界中に	8 働きがいも経済成長も	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	15 陸の豊かさも守ろう
------------------	---------------	-----------------	--------------	---------------	-----------------	--------------

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価担当課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり	担当課長名		
主要施策	3項 自然に親しみ、学び、誇りを持てるふるさとの創造	関係課	生活環境課	農林整備課
施策名	1号 環境教育と環境学習の推進		学校教育課	生涯学習課

2. 施策目的（目指すすがた）

市民が自然に触れ合い、ふるさとの価値や良さを知り、環境を大切にする心を育むために、豊かな自然やさまざまな地域資源を活用した環境教育を推進します。
また、わかりやすく参加しやすい学習機会を提供し、市民一人ひとりの環境意識の高揚を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名	R3	R4	R5	R6	R7	事業費累計	担当課評価	
		予算科目	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
215	○	自然環境保全事業							高い	B
		4 1 4 生活環境課	4,331	4,676	6,006	4,103	5,992			
		事業の取組内容	市内の自然環境調査を実施する。							
274	○	森林体験・環境学習事業	321	675	—	—	—			
		6 2 2 農林整備課								
		事業の取組内容	森林を活用した体験メニューやインストラクターの充実を図る。 ※令和5年度から「林業振興事業」に統合したため評価なし							
268	○	林業振興事業	545	551	1,811	1,660	2,727		やや高い	B
		6 2 2 農林整備課								
		事業の取組内容	森林保全の意識を醸成するとともに林業振興に資する事業を実施する。 ※令和5年度から「森林体験・環境学習事業」を統合							
377	○	自然環境学習推進事業							高い	A
		10 1 3 学校教育課	2,774	4,441	5,478	6,118	6,663			
		事業の取組内容	小学校5年生を対象に、尾瀬での自然環境学習を行う。							
456		エコ・ミュージアム運営事業	6,047	5,993	6,804	7,514	8,341		やや高い	C
		10 4 5 生涯学習課								
		事業の取組内容	県立浅草山麓エコ・ミュージアムの管理運営を行う。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	環境学習講座等の参加者数	2,609 (R1実績)	目標値	2,300	2,600	2,800	3,000	3,000	3,000	人／年
			実績値	1,071	1,556	890	852			
			達成率	46.5%	59.8%	30.7%	28.4%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
215	自然環境保全地域の指定 数	3 (R1末)	目標値 実績値	6 5	7 6	7 7	7 7	7	7	箇所
215	自然環境活動団体数	13 (R1末)	目標値 実績値	14 16	18 19	19 19	20 19	20	20	団体
215	生物多様性調査 植物調査確認種数	961	目標値 実績値	970 1,027	985 1,077	1,000 1,097	1,010 1,105	1,020	1,020	種
268	市民向け森林整備啓発研 修の年間回数	0	目標値 実績値	2 0	2 0	2 2	2 3	2	2	回／年
268	森林体験等参加者数	11	目標値 実績値	15 7	15 12	15 7	15 8	15	15	人／年
268	インストラクター数	9	目標値 実績値	10 4	10 5	10 8	10 11	10	10	人／年
377	事業が施策の実現に貢献して いると答えた教員の割合	97	目標値 実績値	90 100	90 96	90 96	90 100	90	90	%
377	参加児童の身近な環境に対す る興味・関心が高まったと答 えた教員の割合	100	目標値 実績値	90 100	90 87	90 96	90 92	90	90	%
377	環境を守るために進んで行動 したいと答えた児童の割合	99	目標値 実績値	90 96	90 96	90 95	90 89	90	90	%
456	一般入園者数	7,377	目標値 実績値	11,600 9,333	11,600 8,382	11,600 6,514	11,600 6,938	11,600	11,600	人／年
456	主催事業参加者数	1,758	目標値 実績値	2,000 2,276	2,000 2,923	2,000 2,149	2,200 4,287	2,400	2,400	人／年
456	環境学習担い手養成講座	471	目標値 実績値	2,400 749	2,400 1,146	2,400 359	2,400 392	2,400	2,400	人／年
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

自然環境学習等を通じて、多くの市民から魚沼市の特色ある自然環境に興味を持っていただくことができました。また、環境学習においては、市民ボランティアが活動で得た知識をネイチャーガイドなど指導者として地域に還元することで、市民の環境学習に貢献しています。

小中学生においては、自然観察、尾瀬学習を通じて森林保全や環境保全に対する意識を高めるとともに、魚沼市という自然豊かな地域を学ぶことで郷土愛の醸成にも寄与することができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由		
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	ふるさとの魅力や価値について学び、環境を大切にする心を育むという観点からみると、各課が連携する中で講習会や体験講座など多様な学習機会が提供され、幅広い年齢層へ環境学習の機会を提供することができましたが、参加者数は少なかったので「やや低い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	自然にふれあい、ふるさとの魅力を感じる場の提供を行い、郷土愛の醸成や環境保全に対する意識向上に貢献しています。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。				改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		環境教育及び環境学習を推進するため、新規インストラクターや若い世代の人財確保と養成が課題となっています。また、浅草山麓エコ・ミュージアムでは、自然体験学習の指導者が不在となったことからシーズンを通して学校団体が減り、入館者数の減少傾向が続いています。 今後は、各地区公民館における環境学習講座を始め、全市民を対象とした生物多様性セミナーの開催や、市内小学校5年生が体験する尾瀬学習、森林整備や森林保全に関する講習会を開催し、エコ・ミュージアムでの自然教育など、市民の皆さんへの様々な学習機会の提供を進めながら、各環境学習講座の担い手となる指導者育成に取り組めます。				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由		
施策成果の達成度		・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。	
貢献度		・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。				改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 系	6 安全な水とトイレ の健全な拡大	11 気候変動に 適応する	12 つくばる資源 の循環	13 気候変動に 関係する産業の 持続可能な開発	14 海の豊かさ を増やす	15 陸の豊かさを 守る
-----------------------	----------------------	------------------	------------------	--------------------------------	------------------	-----------------

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当課	部課名	市民福祉部 生活環境課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり	担当課長名		
主要施策	3項 自然に親しみ、学び、誇りを持てるふるさとの創造	関係課		
施策名	2号 市民協働による環境保全活動の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

市民や関係団体の環境保全活動の活性化と拡大を図るため、環境に関するさまざまな情報を提供するなど啓発活動を行うとともに、その担い手となる人財や団体などの育成をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
214		環境衛生管理事業		3,308	3,965	3,480	6,253	13,684		やや高い	B
		4	1								
		事業の 取組内容		環境美化運動、環境啓発事業、花いっぱい運動等を実施する。							
215	○	自然環境保全事業		4,331	4,676	6,006	4,103	5,992		高い	B
		4	1								
		事業の 取組内容		市内の自然環境調査を実施する。							
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	自然環境活動団体数 環境保全活動を行う市内 団体数	13 (R1末)	目標値	14	15	15	15	15	15	団体
			実績値	16	19	19	19			
			達成率	114.3%	126.7%	126.7%	126.7%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
214	環境審議会回数	3	目標値	4	4	4	4	4	4	回/年
			実績値	3	4	4	4			
214	環境美化運動の参加者数	8,223	目標値	8,200	8,300	8,300	8,350	8,400	8,400	人/年
			実績値	9,763	8,867	8,116	8,933			
214	環境啓発イベント参加者数	210	目標値	1,000	1,000	5,000	5,000	5,000	5,000	人
			実績値	940	5,000	4,800	3,307			
214	花いっぱい運動参加団体数	70	目標値	70	70	70	70	70	70	団体
			実績値	71	73	73	70			
214	花いっぱい運動植栽活動参加者数	1,065	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	人
			実績値	1,191	1,216	1,052	995			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標「自然環境活動団体数」については、過去の実績値に集計誤りがあったため、遡及して訂正しています。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

市民から協力をいただき、春秋の環境美化運動、花いっぱい運動等の環境保全事業を継続して実施しています。また、毎年10月に開催している環境フェアにおいては、環境保全啓発を実施し、多くの市民に興味関心をもっていただいています。

生物多様性調査においては、調査活動に市民ボランティアから参加していただいております。3月には調査結果を報告する市民公開セミナーを開催し、市民の環境保全への理解を深めることができました。

これらの市民と協働した活動が将来の環境保全活動の担い手の育成につながっています。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課題及び今後の方向性		地域の自然を保全するために現在活動している団体の高齢化問題への対策と、新たな人材の育成と支援をしていく必要があります。 効果的な環境政策を進めるため市民との協働を継続する必要があります。さらに、市民協働の自然環境保全調査及び環境保全活動を推進していきます。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由		
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。				改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価に加え、人材の育成と支援について具体的な取組について検討すること。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	14 海の豊かさを守ろう
------------------	------------------	----------------	--------------

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価担当課	部課名	市民福祉部 生活環境課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり	担当課長名		
主要施策	4項 循環型社会環境の整備	関係課	農政課	
施策名	1号 ごみの減量化とリサイクルの推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

家庭や事業所からのごみの発生や排出を抑制し、限りある資源を有効に活用するため、ごみの分別と3Rの啓発活動を積極的にすすめ、引き続きごみを資源に変えるリサイクル意識の醸成を図り、持続可能な循環型社会の構築をめざし、ごみの減量化と再資源化を推進します。
また、ごみ処理業務における広域的な協力体制の構築をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
255		地域バイオマス施設整備事業		0	36,866	2,310	—	—			
		6 1 3	農政課								
		事業の取組内容	有機センターの施設改修や車両更新等を行う。 ※R5で総合計画計上終了								
520		ごみ処理事業		509,359	535,851	595,274	777,205	1,077,492		やや高い	B
		4 2 2	生活環境課								
		事業の取組内容	ごみ処理施設の維持管理を行う。								
525		新ごみ処理施設整備構想策定事業		0	0	6,375	17,423	84,963		やや高い	A
		4 2 2	生活環境課								
		事業の取組内容	エコプラント魚沼に替わる新しい廃棄物処理施設の構想策定を行う。								
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	市民一人当たりの一般廃棄物排出量	1,072 (R1実績)	目標値	997	995	993	991	990	990	g／日
			実績値	1,109	1,098	1,037	1,042			
			達成率	88.7%	89.6%	95.8%	95.1%	%		
2	リサイクル率	16.5 (R1実績)	目標値	18.3	18.5	18.7	18.9	19.0	19.0	%
			実績値	19.0	18.2	18.2	17.9			
			達成率	103.8%	98.4%	97.3%	94.7%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
525	新ごみ処理施設整備構想策 定		目標値		0.3	1			1	冊
			実績値			1				
525	循環型社会形成推進地域計 画策定		目標値			0.1	0.9		1	冊
			実績値			0.1	0.9			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

一般廃棄物の排出量は減ってはいるものの、市民一人当たりの一般廃棄物排出量及び資源化量は横ばいとなっています。

循環型社会形成推進地域計画を策定したことにより国（環境省）交付金の交付決定を受け、建設に向けた事前準備作業に取り掛かることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 出前講座の開催や「ごみの分け方・出し方ガイドブック」の作成・配布、おいしい食べきり運動の実施など取組を進めました。一人当たりの廃棄物の排出量は指標を達成していないものの、総排出量は年々減少しており脱炭素化に貢献したことから、「やや高い」と評価しました。	
			やや高い		
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い 各取組は施策達成に不可欠なものであり、地道な継続が重要であります。今後も市民一人一人への周知徹底が重要となることから、「やや高い」と評価しました。	
			やや高い		
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
			目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性	施策目的の達成のためには現行の取組を継続するとともに、プラスチック類や充電式電池製品の分別処理といった課題にも対応していく必要があります。令和13年度の供用開始目標としている新ごみ処理施設整備を一つの契機とし、新たな分別区分の設定や資源化できる品目の見直しに加え、安定的な排出先の確保など市民の意向を把握しながら、適切な仕組みを構築していかなければなりません。また、現ごみ処理施設の安定的な処理を継続していくために計画的かつ必要最小限の範囲で修繕を実施するとともに、規模縮小が見込まれている新施設供用後に備え、近隣自治体との広域的な連携について協議を進めます。				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

施策に対する評価（行政評価）							
評価項目		評価の観点		評価	評価の理由		
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課題及び今後の方向性		一次評価のとおり。					

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G S	7 エネルギー・気候 太陽光発電の普及促進	13 気候変動に 具体的な対策を
------------------	-----------------------------	------------------------

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価担当課	部課名	市民福祉部 生活環境課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり	担当課長名		
主要施策	4項 循環型社会環境の整備	関係課		
施策名	2号 地球温暖化対策の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

地球温暖化対策の取組を計画的・総合的に推進し、公共施設、事業所、家庭において、省エネルギー、自然エネルギーの活用の普及啓発を図ります。
また、太陽光発電や雪冷熱、木質バイオマスなど再生可能エネルギーの普及拡大を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
218	○	地球温暖化対策事業		2,209	7,149	20,512	12,854	15,218		やや高い	B
		4 1 4	生活環境課								
		事業の 取組内容		省エネルギー啓発、新エネルギー利用促進、カーボン・オフセット事業等の温暖化防止の取組を行う。							
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	再生可能エネルギー機器 設置件数	18 (R1実績)	目標値	30	30	40	50	55	55	件／年
			実績値	10	16	25	24			
			達成率	33.3%	53.3%	62.5%	48.0%	%		
2	バイオマスの利用率	83.0 (R1実績)	目標値	85	87	89	91	92	92	%
			実績値	83	88	88	未確定			
			達成率	97.6%	101.1%	98.9%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
218	エコチャレンジ参加者数	188	目標値	140	140	140	140	140	140	人
			実績値	154	186	200	199			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

2025(令和7)年2月19日、市長と市議会議長が2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を共同表明しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

「地球温暖化対策ワークショップ事業」、「グリーンカーテン普及事業」などを実施し、市民に向けて身近な省エネの実践を呼びかけ、啓発イベント「魚沼市環境・交通安全フェア」において、成果の展示等を行ったことで行動変容につなげることができたものと考えます。

また、再エネ機器等の設置、省エネ性能の高い家電等への入替え、省エネ性能の高い個人住宅の新築などに要した費用への補助事業を実施したことで、再生可能エネルギーの導入促進、省エネルギーの推進に寄与しました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価	評 価 の 理 由		
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	再生可能エネルギー機器設置件数は目標値に達しませんでした。前年度と同程度で件数が推移していることやエコチャレンジ参加者数が多かったため「やや高い」と評価しました。		
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	再生可能エネルギー機器の設置にかかる経費の補助を継続的に実施することで、各主体の意識啓発に寄与し、再エネ導入の動機付けとしても必要な事業と考えるため「やや高い」と評価しました。		
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	○
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		地球温暖化対策は目に見える形での成果が得られにくい分、市民一人ひとりの意識付けが重要です。より多くの市民・事業者等の意識醸成を図り、実践行動につなげていくことが課題です。引き続き、国や県などの関係機関と連携しながら、市民や事業者を巻き込んだ取組を検討、実施していきます。 また、一事業所として、市の事務事業から排出される温室効果ガスの削減を進めていくため、庁内関係課で構成される地球温暖化対策推進委員会を設置しました。照明のLED化や排出係数の低い電力導入など、温室効果ガスの排出を抑制していくための取組を検討していきます。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	○
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 S	6 安全な水とトイレ を世界中に	11 住み続けられる まちづくりを	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	14 海の豊かさ を増やす	15 陸の豊かさ を増やす
-----------------------	------------------------	-------------------------	----------------------	------------------------	---------------------	---------------------

1. 基本情報

施策分野	環境衛生・自然	評価 担当課	部課名	市民福祉部 生活環境課
基本目標	2節 豊かな自然と人が共生するまちづくり	担当課長名		
主要施策	4項 循環型社会環境の整備	関係課		
施策名	3号 公害の抑制と生活環境の保全			

2. 施策目的（目指すすがた）

公害発生を未然に防ぎ、身近な生活環境を良好に保つために監視活動や環境意識向上のための啓発活動に努めます。
また、市民が中心になった環境美化運動を推進し、ごみのないきれいなまちづくりをめざして生活環境の保全に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
214		環境衛生管理事業		3,308	3,965	3,480	6,253	13,684		やや高い	B
		4 1 4 生活環境課									
		事業の 取組内容	環境美化運動、環境啓発事業、花いっぱい運動等を実施する。								
216		環境監視員設置事業		1,040	1,208	1,137	1,104	1,175		やや高い	A
		4 1 4 生活環境課									
		事業の 取組内容	環境監視員による巡回監視活動を実施し、公害の発生抑制と不法投棄を防止する。								
217		公害対策事業		4,326	4,320	4,300	5,042	5,187		高い	A
		4 1 4 生活環境課									
		事業の 取組内容	騒音、振動、悪臭等の苦情処理及び調査、河川水質検査、広報等の未然防止活動を行う。								
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	環境美化運動の参加者数	7,737 (R1実績)	目標値	8,200	9,300	10,400	11,500	12,700	12,700	人／年
			実績値	9,763	8,867	8,116	8,893			
			達成率	119.0%	95.3%	78.0%	77.3%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
214	不法投棄物処理量	6.3	目標値	5.5	5.5	5.5	5.0	5.0	5.0	t
			実績値	6.6	4.0	3.3	2.4			
216	7大公害苦情件数	62	目標値	45	45	45	40	40	40	件
			実績値	50	49	52	31			
217	臭気等苦情数(悪臭・野焼き)	24	目標値	25	25	24	24	24	24	件
			実績値	20	36	19	14			
217	騒音・振動苦情数	4	目標値	5	5	4	4	4	4	件
			実績値	1	2	2	2			
217	水質汚濁等苦情数	41	目標値	40	40	38	38	38	38	件
			実績値	29	28	21	27			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

畜産由来の臭気苦情件数については、関係機関と連携し、助言等を行ったことや、大規模事業者の廃業もあり、減少しました。
油漏れについては、周知啓発活動を継続してきたことで発生件数が少ない状態が続いています。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	環境美化運動の参加者が目標に達成していないものの、苦情の件数は全体として減少しているため「やや高い」としました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	環境美化運動や、巡回監視活動など、市民と行政等が協力しながら公害抑制や生活環境保全に貢献していることから「やや高い」と判断しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		臭気や騒音等の人の感覚による苦情は、対策や取組の成果を確認できるまで時間を要します。 苦情の原因解決のためには、公害のみでなく様々な面から指導や相談をする必要があることから、関係機関や関係部署との連携を密にする必要があります。 長期の継続案件については、引き続き原因者に対して面談や申入れ等を行い、苦情内容の共有や対策の要望について継続して行っていく必要があります。 また、市民が自らの活動により生活環境を保全していくことができるよう花いっぱい運動や環境美化運動を継続します。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課題及び今後の方向性		一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 s	2 食料を ゼロに	3 すべての人に 健康と福祉を	6 安全な水とトイレ を世界中に	12 つくも豊か な暮らしを	14 海の豊かさを 保とう	15 陸の豊かさを 保とう	17 パートナリシップで 目標を達成しよう
-----------------------	--------------	--------------------	---------------------	-------------------	------------------	------------------	--------------------------

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価 担当 課	部課名	市民福祉部 健康増進課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	担当課長名		
主要施策	1項 心身ともに健康で笑顔あふれる暮らしの創造	関係 課	企画政策課	生涯学習課
施策名	1号 健康づくりの推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

市民一人ひとりが、自らの健康について考え、自主的に健康づくりに取り組むことができるよう、各年代に適した栄養・食生活・身体活動・こころの健康・休養などに関する情報の発信や動機付け（インセンティブ）を提供します。また、加齢に伴う心身の機能低下の予防に関して若い世代から取り組めるよう普及啓発を行います。

からだの健康とともにこころの健康について、悩みを抱えた人の孤独を防ぐため、保健・医療・福祉だけでなく、一人ひとりが身近な人の状況に気づき・つながり・見守りができるネットワークの充実を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
185		心の健康づくり推進事業		274	748	1,089	796	1,238		やや高い	A
		4	1								
		事業の 取組内容		心の健康についての普及啓発、ハイリスク者対策、支援ネットワークの構築等を行う。							
203		電話健康相談事業		2,040	1,776	－	－	－			
		4	1								
		事業の 取組内容		急病の対処法、家庭内の応急手当、受診の目安等の電話相談に24時間対応する。(R5に保健対策事業へ統合)							
207		保健対策事業		1,026	1,342	3,885	3,795	4,834		やや高い	C
		4	1								
		事業の 取組内容		健康教育・個別訪問指導・健康情報の発信等を行う。(R5に電話健康相談事業、健康づくり支援事業と統合)							
208		歯科保健事業		5,429	5,010	5,077	5,772	7,651		高い	B
		4	1								
		事業の 取組内容		乳幼児歯科保健、成人歯科保健、フッ化物洗口等を実施する。							
210	○	食でつながる元気なまちづくり推進事業		2,891	3,754	3,286	3,543	3,620		やや高い	B
		2	1								
		事業の 取組内容		「食」の課題に連携して取り組み、市民の健康づくりと産業の向上を目指す。							
211		健康づくり支援事業		1,042	1,162	－	－	－			
		4	1								
		事業の 取組内容		健康ポイント制度を実施する。(R5に保健対策事業へ統合)							
460	○	市民スポーツ普及事業		12,582	13,833	14,294	23,598	34,559		やや高い	B
		10	5								
		事業の 取組内容		スポーツフェスティバルや各種運動教室を開催し、市民の健康増進や生きがいをづくり、スポーツ実施率の向上を図る。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	自分が健康であると感じている人の割合 健康づくり計画アンケートより（R6に実施）	79.8 (R1調査)	目標値 実績値 達成率	— — %	— — %	— — %	86 73.9 85.9%	— %	85	%
2	5年間平均の自殺死亡人数	11.2 (H26～H30平均)	目標値 実績値 達成率	11 8.8 125.0%	10 8.6 116.3%	10 7.8 128.2%	10 6.8 149.0%	10 %	10以下 (R3～R7平均)	人

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
185	市民等向けゲートキーパー養成講座実施回数	2	目標値 実績値	2 2	2 2	2 2	2 2	2	2	回
185	市民等向けゲートキーパー養成講座参加者数	35	目標値 実績値	40 46	40 57	40 57	40 48	40	40	人
185	市プラットホーム等を活用した事例検討の実施件数	-	目標値 実績値	- -	2 2	3 6	5 7	6	6	件
207	運動や食生活等の生活習慣について、既に取り組んでいる(6か月以上)人の割合	26.5	目標値 実績値	24.1 22.8	24.5 22.2	24.8 20.8	25.3 22.1	25.5	25.8	%
207	家庭で血圧測定をする人の割合	47.7	目標値 実績値	47.1 47.2	47.3 50.3	47.5 52.0	47.7 53.0	47.9	47.9	%
207	喫煙率	13.7	目標値 実績値	15.6 15.1	15.4 14.1	15.2 14.5	15.0 14.2	14.8	14.8	%
207	元気ポイント参加者数(実数)	689	目標値 実績値	630 758	690 778	750 494 ※1	810 242	870	870	人
208	12歳のむし歯有病率	9.2	目標値 実績値	13.8 11.7	13.8 5.7	13.8 10.6	13.8 17.5	13.8	13.8	%
208	成人歯科健診受診率	12.3	目標値 実績値	13.3 15.2	13.5 14.8	13.7 16.7	13.9 15.3	14.1	14.1	%
210	食まちうおぬまネットワーク推進協議会の開催数	3	目標値 実績値	2 0	- -	- -	- -	-	10	回
210	食まちイベント参加人数	210	目標値 実績値	1,000 940	4,000 5,000	5,000 4,800	5,500 3,200	6,000	6,000	人/年
460	各種スポーツ教室等の参加者数	8,014	目標値 実績値	8,200 9,555	8,200 10,235	8,200 9,993	8,200 9,847	8,200	8,200	人/年
460	体育施設利用者数	167,895	目標値 実績値	256,000 186,012	256,000 186,097	256,000 206,682	256,000 220,904	256,000	256,000	人/年
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							

6. その他特記事項

令和5年度に電話健康相談事業・健康づくり支援事業は保健対策事業に統合しました。 令和5年度にひきこもり対策支援事業は、心の健康づくり推進事業に統合しました。 特定健診質問票の集計については、市の集団健診受診者の結果を対象としています。 ※1 元気ポイント事業について、令和5年度から年2回の抽選を年1回にしました。
--

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

健康に関する普及啓発活動を継続して実施することにより、家庭血圧測定をする人の割合と喫煙率、成人歯科健診受診率は目標を達成し、市民の健康意識の向上につながっています。 心の健康づくりに関する普及啓発やゲートキーパー養成講座の実施により、ゲートキーパーへの理解促進及び人材育成につながりました。 食まちイベントの開催により、多くの方に食からの健康づくりに対して関心を持ってもらうことができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	5年間平均自殺死亡人数は減少してきております。また、ゲートキーパー養成講座の実施により人材の育成も進んできています。 血圧測定する人の割合、歯科健診受診率など多くの項目で目標値を達成していることから、「やや高い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	高い	健康や食に関する普及啓発や健康教育、イベントを実施し、健康づくりや生きがいづくりの場を提供することで、健康意識の向上と健康づくりに取り組むきっかけにつながることから、「高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		市民の生活習慣病予防に取り組む意識改革が将来の重症化予防につながるため、特に40歳から60歳代が健康づくりに関心をもってもらえるような普及啓発や健康教育などを今後も継続的に実施します。 悩みを抱えた人の孤独を防ぐために、相談先の普及啓発を行うとともに、一人ひとりが身近な人の状況に気づき・つなぎ・見守りができるよう連携体制の強化や人材養成に取り組む必要があります。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い 高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課題及び今後の方向性		一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G 連 S	3 すべての人に健康と福祉を
------	----	----	--------	-----------------------	----------------

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価担当課	部課名	市民福祉部 健康増進課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	担当課長名		
主要施策	1項 心身ともに健康で笑顔あふれる暮らしの創造	関係課		
施策名	2号 疾病予防と重症化防止対策の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

病気の予防、早期発見及び生活習慣病の重症化を防止するため、特定・基本健診及び各種がん検診の受診率向上を図ります。また、健（検）診結果をはじめとする各種データを活用し、疾病の予防と重症化防止のための健康相談・健康教育の内容を充実します。

新型インフルエンザ等をはじめとする各種感染症について、正しい知識の普及と感染予防に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
204		基本健診事業		3,183	3,311	3,216	3,289	4,469		やや高い	C
		4 1 3	健康増進課								
		事業の取組内容		健康増進法に基づく健康診査や保健指導を実施する。							
206		がん検診事業		44,942	61,847	61,588	62,267	76,673		やや高い	C
		4 1 3	健康増進課								
		事業の取組内容		各がん検診の実施、個別受診の勧奨、がん予防のための普及啓発等を行う。							
519		感染症対策事業		419,989	340,547	231,243	139,882	189,949		高い	B
		4 1 3	健康増進課								
		事業の取組内容		予防接種により疾病に対する免疫を保有し、感染症の発生及びまん延を予防する。（R5に感染症対策事業と統合し、事業名を予防接種事業から感染症対策事業に変更）							
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	特定健康診査受診率	52.0 (H29実績)	目標値	58	59	60	63	65	65	%
			実績値	49.3	48.4	49.5	未確定			
			達成率	85.0%	82.0%	82.5%	%	%		
2	特定保健指導実施率 (市集団検診実施分)	48.4 (H29実績)	目標値	58	59	60	63	65	65	%
			実績値	41.6	40.3	42.7	未確定			
			達成率	71.7%	68.3%	71.2%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
204	39歳以下国保受診率	10.4	目標値	11	12	13	14	15	15	%
			実績値	9.2	13.8	12.5	15.4			
204	骨粗鬆症検診受診率	30	目標値	33	35	35	37	40	40	%
			実績値	25.6	23.4	28.8	24.9			
206	肺がん検診受診率	16.3	目標値	18.0	21.0	24.0	27.0	30.0	30.0	%
			実績値	19.1	19.8	19.5	19.4			
206	胃がん検診受診率	8.6	目標値	12.0	16.0	20.0	25.0	30.0	30.0	%
			実績値	10.0	10.1	9.6	9.3			
206	大腸がん検診受診率	15.8	目標値	18.0	21.0	24.0	27.0	30.0	30.0	%
			実績値	17.6	18.0	17.9	17.8			
206	乳がん検診受診率	24.5	目標値	27.6	30.7	33.8	36.9	40.0	40.0	%
			実績値	24.6	25.3	24.7	24.5			
206	子宮頸がん検診受診率	18.6	目標値	21.8	25.0	28.2	31.4	35.0	35.0	%
			実績値	18.7	19.3	18.6	18.1			
519	定期接種(麻しん風しん (MR)2期)の接種率	99.6	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	%
			実績値	98.2	95.9	99.0	97.0			
519	定期接種(高齢者インフル エンザ)の接種率	67.8	目標値	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	65.0	%
			実績値	58.5	59.2	56.6	54.9			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

- ・特定健診受診率及び特定保健指導実施率は、働き盛り世代の状況を把握でき、また全国及び県との比較ができるため成果指標としましたが、実績値が確定するのは翌年度の12月頃となります。
- ・各種がん検診の指標の実績は速報値です。「がん検診結果報告」で報告した数値を計上しており、数値が確定するのは、翌年度末です。また、新潟県が発行している「にいがたの生活習慣病」の算出方法に基づき算出しているため、受診者数を対象者数で除して求めた値とは異なります。
- ・令和6年度からがん患者医療用補整具購入費助成事業を開始しました。
- ・令和6年度から定期接種として新型コロナウイルスの接種を開始しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

基本健診の受診者数は昨年度より増加しています。令和6年度39歳国保で受診勧奨した2名がけん診を受診しました。若年層からの継続的な受診の必要性の理解につながりました。

骨粗しょう症検診の結果、要精密検査と判定された方の約6割が骨粗しょう症又は骨減少症と診断され、疾病の早期発見・早期治療につながりました。

がん検診の受診勧奨者のうち約1割及び受診再勧奨者のうち約3割が受診につながりました。

がん検診後の精密検査の結果、13人にがんが発見され、そのうち半数ががんの早期発見・早期治療につながりました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや低い	指標である実績値は令和5年度から回復傾向にありますが、各達成度が目標より下回っているため、「やや低い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	各種健康診断や検査を行うことで、疾病の早期発見、早期治療につながることで、また、各種予防接種の実施により、重症化予防や感染症のまん延防止となることから、「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		生活習慣病又は他疾病の早期発見及び重症化予防並びに早期治療のためには、毎年の健診受診又は検査及び各検査結果の活用が重要ですが、健診、検査の受診率が低い傾向にあります。職場等で受診の機会がない方への受診勧奨を行うため、未受診者の実態把握をする必要があります。 健診や検査結果で精密検査が必要と判定された方への受診勧奨や保健指導を引き続き行っています。また健診受診や予防接種の効果的な勧奨方法を検討していきます。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや低い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 系	1 貧困をなくそう 2 公正な社会を築く 3 すべての人に健康と福祉を 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を實現しよう 10 人や国の不平等をなくそう 17 パートナシップで目標を達成しよう
-----------------------	---

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価担当課	部課名	教育委員会事務局 子ども課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	担当課長名		
主要施策	2項 安心して産み育てる喜びを感じることができる社会の構築	関係課	企画政策課	地域創生課
施策名	1号 子育て支援			

2. 施策目的（目指すすがた）

育児不安を受け止め、子育て世代が孤立しないように子育てに寄り添い、すべての保護者が子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じられるよう、子どもの健やかな成長を地域全体で見守り、育む仕組みづくりをすすめていきます。

妊娠期から子育てまで切れ目のない母子保健対策の充実と、子育てに関して身近な相談窓口である保育園、幼稚園、子育て支援センターと子育て世代包括支援センターとの連携を強化し、情報の発信と相談・支援体制の充実を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
36		男女共同参画事業		73	37	813	2,685	2,778		やや高い	B
		2 1 6	企画政策課								
		事業の 取組内容	男女共同参画社会推進のため、各種意識啓発活動、市民講座等を実施する。								
47	○	うおぬま出会いサポート事業		695	1,970	7,376	11,618	15,330		やや高い	C
		2 1 6	地域創生課								
		事業の 取組内容	婚活イベント、結婚セミナー、結婚サポーター研修等を実施する。								
139	○	ひとり親家庭等医療費助成事業		15,449	17,346	18,196	18,505	20,198		やや高い	A
		3 2 2	子ども課								
		事業の 取組内容	ひとり親世帯の保険診療の自己負担金の一部（児童は全額）を助成する。								
172	○	要保護児童相談・支援事業		2,459	4,498	4,917	6,212	8,410		やや高い	A
		3 2 6	子ども課								
		事業の 取組内容	要保護児童及び要支援妊婦相談支援の実施等により児童虐待の防止を図る。								
194	○	母子健康相談・教育事業		3,339	3,446	3,472	4,471	4,753		やや高い	B
		4 1 2	子ども課								
		事業の 取組内容	妊娠期から幼児期に関する正しい知識の普及、発達段階に応じた子育て教室等を実施する。								
195		乳児家庭全戸訪問事業		394	382	317	244	436		高い	B
		4 1 2	子ども課								
		事業の 取組内容	生後4ヶ月までに訪問し、子育て支援の情報提供と養育環境の把握を行う。								
196	○	妊産婦医療費助成事業		9,114	8,014	9,007	6,949	9,759		高い	A
		4 1 2	子ども課								
		事業の 取組内容	妊産婦の医療費で保険診療による自己負担金を全額助成する。								
197	○	妊産婦・新生児訪問事業		1,041	840	928	687	1,035		高い	A
		4 1 2	子ども課								
		事業の 取組内容	助産師等による新生児と産婦訪問を実施する。								
198	○	不妊・不育治療費助成事業		3,236	4,378	2,027	2,775	2,900		高い	A
		4 1 2	子ども課								
		事業の 取組内容	不妊・不育治療に要する費用の一部を助成する。								
199	○	妊婦健診助成事業		18,248	16,063	16,111	13,091	17,177		高い	A
		4 1 2	子ども課								
		事業の 取組内容	妊婦健診について、一人当たり16回分を助成する。								

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
200	○	子ども医療費助成事業		87,689	93,644	110,300	99,957	105,983		やや高い	A
		4 1 2	子ども課								
		事業の 取組内容		児童の医療費で保険診療による自己負担金を全額助成する。							
201	○	乳幼児健診事業		6,301	7,138	5,481	6,058	10,058		やや高い	B
		4 1 2	子ども課								
		事業の 取組内容		法定以外にも健診の機会を設け、疾病予防や育児相談を行う。							
515	○	すこやかサポート事業		912	1,705	1,685	998	6,546		高い	B
		4 1 2	子ども課								
		事業の 取組内容		子育て世代包括支援センターを設置し、妊産婦及び乳幼児の健康の保持及び増進に関する包括的な支援を行う。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値		R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明			実績	実績	実績	実績	実績		
1	子育てが楽しいと感じる人の割合	4か月 89.2 (R1調査)	目標値	91.0	92.0	93.0	94.0	95.0	5ポイント増加	%
	実績値		95.8	92.1	93.4	92.9				
	4か月児健診時のアンケート調査での割合		達成率	105.2%	100.1%	100.4%	98.8%	%		
2	子育てが楽しいと感じる人の割合	1歳6か月 84.9 (R1調査)	目標値	86.0	87.0	88.0	89.0	90.0	5ポイント増加	%
	実績値		87.0	89.0	90.6	87.2				
	1歳6か月児健診時のアンケート調査での割合		達成率	101.1%	102.2%	103.0%	98.0%	%		
3	子育てが楽しいと感じる人の割合	3歳児 82.5 (R1調査)	目標値	83.5	84.5	85.5	86.5	87.5	5ポイント増加	%
	実績値		82.2	81.3	84.2	83.2				
	3歳児健診時のアンケート調査での割合		達成率	98.4%	96.2%	98.5%	96.2%	%		
4	ハッピー・パートナー企業登録数	12 (R1実績)	目標値	16	19	22	26	30	30	社
	実績値		13	14	21	27				
			達成率	81.2%	73.6%	95.4%	103.8%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
36	市の審議会等への女性の登用率	24	目標値	25	29	33	37	40	40	%
			実績値	23.3	23.8	23.2	23.2			
36	研修会後のアンケートで「とても参考になった」の割合	-	目標値	73	80	80	80	80	80	%
			実績値	83	76	58	69			
47	参加者数（1回平均）	9	目標値	20	20	20	20	20	20	人
			実績値	25.5	26.7	15.0	17.5			
47	参加者満足度（1回平均）	実施なし	目標値	80	80	80	80	80	80	%
			実績値	82.2	77.5	66.7	80.0			
47	（参考）年間参加者数（男性/女性）		目標値							
			実績値	26/25	59/21	17/13	20/15			
139	受給者証更新申請割合	100	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	100	99.2	99.2	100			
172	（参考）児童虐待の件数	31	目標値							人
			実績値	49	55	40	45			
172	（参考）上記のうち児童相談所が一時保護・措置した件数	5	目標値							人
			実績値	3	1	4	19			
194	楽しそうに食べている子の割合（1歳6か月児健診）	90	目標値	91	92	93	94	95	95	%
			実績値	90.7	89	89.0	84.0			
195	こんにちは赤ちゃん訪問実施率	99.5	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	99.4	100	99.3	100			
195	（参考）訪問実人員/対象者実人員	202/203	目標値							
			実績値	165/166	142/142	139/140	116/116			
196	妊娠届出者の申請率	100	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	100	100	100	100			
196	（参考）実人数	263	目標値							
			実績値	264	238	234	180			

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
196	(参考) 延べ助成件数	1,667	目標値							
			実績値	1,914	1,627	1,719	1,460			
197	新生児への訪問率	92.3	目標値	93	94	95	95	95	95	%
			実績値	94.6	94.7	95.8	97.2			
197	(参考) 新生児 訪問実人数/対象全数	198/202	目標値							
			実績値	159/168	126/133	137/143	103/106			
197	(参考) 妊婦・産婦 訪問実人数/対象全数	193/200	目標値							
			実績値	166/172	128/134	148/153	103/106			
198	(参考) 特定治療申請件 数	20	目標値							件
			実績値	29	39	21	22			
198	(参考) 一般治療申請件 数	20	目標値							件
			実績値	12	10	2	12			
198	(参考) 妊娠成立夫婦/制 度利用夫婦	11/29	目標値							組
			実績値	6/27	17/33	10/16	12/27			
199	(参考) 妊婦検診延受診 者数	2,460	目標値							人
			実績値	2,107	1,794	1,843	1,471			
199	(参考) 産婦健診助成件 数	197	目標値							件
			実績値	157	240	249	210			
200	出生児の申請割合	100	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	100	100	100	100			
200	転入等の申請割合	100	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	100	100	100	100			
200	(参考) 子ども医療費助 成件数	32,648	目標値	-	-	-	-			件
			実績値	38,078	38,732	47,361	42,837			
201	健診受診率(4か月、1歳6 か月、3歳児健診)	100	目標値	100	100	100	100	100	100	%
			実績値	99.7	100	100	99.8			
201	(参考) 乳児一般健康診 査受診者数	213	目標値							人
			実績値	172	163	123	146			
515	この地域で今後も子育てを していきたいと感じる人の割合 (3歳児)	91.1	目標値	92	93	94	95	96	96	%
			実績値	96	96.3	96.4	94.8			
515	(参考) 年間相談件数	1,209	目標値							件
			実績値	1,369	1,236	984	976			
515	EPDS: 9点未満の割合	91	目標値	91	92	93	94	94	94	%
			実績値	96.0	94.1	97.7	94.5			
515	(参考) 利用件数	令和3年 度拡充	目標値							件
			実績値	5	6	2	0			

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

妊娠期から幼児期までの妊産婦を対象とした教室や産後ケアを行い、正しい子育ての知識の普及を図ることで、育児不安の解消につながりました。さらに子育て世帯に対する経済的支援を行うことで安心して養育できる環境を整えました。こどもに対しては新生児訪問から乳幼児健診等を通じて健康管理や発達相談等を定期的に行い、継続的な支援が必要な家庭には保健師が訪問するなど細やかな対応を行うことで健やかな成長を促し、保育園等の入所につながりました。

また、すべての妊産婦、子育て世代、こどもへの相談支援体制の強化を図るため、これまで「子育て世代包括支援センター(母子保健部門)」と「子ども家庭総合支援拠点(児童福祉部門)」において実施している相談支援を一体的に行う「こども家庭センター」を設置し情報の共有と連携強化を進めています。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	成果指標の実績値は前年度より下がっていますが、概ね達成していることから「やや高い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	各事業において「高い」、「やや高い」が多数ですが、今後は更なる事業間の連携と支援事業の周知を図る必要があると考え、「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		子育て支援については、既存の事業や股関節エコー検診などの新事業を市内外に周知していく必要があります。また、子育てサークルやファミリーサポーター会員など子育て支援につながる地域資源の開拓を進めるとともに、地域全体に子育て相談窓口の周知を図るなど助けを必要としている人が気軽に子育て相談しやすい環境を作り上げることが課題です。 今後は、「魚沼市こども家庭センター」を軸とした関係機関との連携を強化し、包括的な相談支援体制を活かして、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を継続していきます。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課題及び今後の方向性		一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 系	1 貧困をなくそう 	3 持続可能な消費と生産 	4 質の高い教育をみんなに 	5 ジェンダー平等を実現しよう 	17 パートナリシップで目標を達成しよう
-----------------------	---------------	------------------	-------------------	---------------------	--------------------------

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価担当課	部課名	教育委員会事務局 子ども課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	担当課長名		
主要施策	2項 安心して産み育てる喜びを感じることができる社会の構築	関係課		
施策名	2号 子育て環境の充実			

2. 施策目的（目指すすがた）

保護者の就業状況など社会の変化による保育ニーズの多様化に対応するため、多面的な保育サービスの提供や、公立保育園の運営のあり方について検討します。

乳児期から健やかな発達を支援するため、子育て支援センターや子育ての駅かたつくりの体制整備や施策の充実に加え、保護者や地域が共に学び、育ち、支え合えるよう情報提供に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
142		児童福祉施設整備事業									
		3 2 3	子ども課	9,735	88,928	121,093	108,899	115,599		高い	A
		事業の取組内容	施設の老朽化及び少子化の進行等に対応するため、施設の再編を実施する。								
169		地域療育支援事業									
		3 2 6	子ども課	8,781	9,466	9,393	11,436	12,927		やや高い	B
		事業の取組内容	発達障害またはその疑いがある幼児のため、療育教室や園訪問等を行う。								
173	○	子ども・子育て支援事業									
		3 2 6	子ども課	922	923	2,220	3,838	7,401		やや高い	A
		事業の取組内容	子ども・子育て新制度の推進に向けて計画策定、進捗管理を行う。								
514	○	子育ての駅運営事業									
		2 1 6	子ども課	15,368	23,671	28,746	29,664	28,500		高い	B
		事業の取組内容	子育ての駅かたつくりの管理運営								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	ファミリーサポートセンター会員数	30 (R1調査)	目標値	40	50	60	70	70	70	人
			実績値	67	94	112	93			
			達成率	167.5%	188.0%	186.6%	132.8%	%		
2	この地域で今後も子育てをしていきたいと感じる人の割合 (4か月健診)	96.9 (R1調査)	目標値	98	98	99	99	100	100	%
			実績値	93	96	91	98			
			達成率	94.8%	97.9%	91.9%	99.0%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
142	長寿命化計画作成	1	目標値	1	0	0	0	0	1	計画
			実績値	1	0	0	0			
142	施設整備	0	目標値	0	1	1	1	1	4	施設
			実績値	0	1	1	1			
142	旧ひかり保育園解体	0	目標値	0	0	1/10	9/10	0	1	事業
			実績値	0	0	1/10	9/10			
169	就園前（つくしプレイ） 教室参加者	274	目標値	280	280	280	280	280	280	人／年
			実績値	334	355	315	456			
169	就学前（ステップアップ） 教室	336	目標値	288	288	288	288	288	288	人／年
			実績値	320	282	299	232			
173	会議の開催回数	2	目標値	3	3	3	5	3	3	回／年
			実績値	3	2	2	6			
514	子育ての駅「かたつくり」 市内利用者数	15,057	目標値	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	人
			実績値	15,410	17,186	20,075	18,952			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

第三期 魚沼市子ども・子育て支援事業計画策定（令和7年3月）

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

公立保育園等の児童福祉施設については、魚沼市子ども・子育て支援事業計画に基づき、保育サービスの提供や公立保育園運営を行い、魚沼市児童福祉施設長寿命化計画に沿った施設改修等を実施したことで、快適な保育環境を維持することができました。また、子育ての駅かたつくりは指定管理施設による、民間のノウハウをいかした施設運営により、来館者から満足度の高い評価をいただいています。また、親子の交流の場及び子育てや家庭等を支援する団体の相互交流の場としての機能を果たしています。

地域で支える子育て環境については、ファミリー・サポート・センター会員数・依頼件数ともに増加しており、地域資源を活用した子育て環境の充実につながりました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	
貢献度		・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課題及び今後の方向性		多様化している保育ニーズに対応するため、必要な保育環境の確保や提供体制の整備を継続していく必要があります。このため、令和5年度に実施した子ども子育てニーズ調査の結果等を踏まえ、現状に合った保育サービスの量と提供体制等を検討し、多面的な保育サービスの提供や保育施設の整備と見直しを進めていきます。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点		評価		評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課題及び今後の方向性		一次評価のとおり。					

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G S	3 すべての人に 健康と福祉を	11 住み続けられる まちづくりを
------------------	--------------------	----------------------

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価担当課	部課名	市民福祉部 福祉支援課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	担当課長名		
主要施策	3項 市民が安心して暮らせる仕組みの構築	関係課	介護福祉課	
施策名	1号 すべての市民が自立できる環境の構築			

2. 施策目的（目指すすがた）

障がいのある人が、住み慣れた地域の中で、自立した日常生活、社会生活を送ることができるよう、相談体制を強化するとともに、一人ひとりに合った適切な福祉サービスの提供や、地域生活支援拠点等の整備をすすめます。

また、地域における自立と社会参加の実現に向けて、市民一人ひとりが相互に尊重し支え合い、障害のある人もない人もともに安心して暮らせるよう地域共生社会の実現に向けたまちづくりを推進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
104		精神障害者医療費助成事業		28,900	31,396	37,406	36,036	34,200		高い	B
		3	1 2								
		事業の 取組内容		精神障がい（児）者の医療費の一部を助成し、疾病の早期治療及び発病の予防を促進する							
116	○	地域生活支援事業		97,393	101,019	109,988	132,214	130,649		やや高い	B
		3	1 2								
		事業の 取組内容		障がい者等の総合的な相談業務、権利擁護、日常生活用具の給付、障がい福祉サービス（訪問入浴、日中一時支援等）の給付等の事業							
129	○	高齢者生活支援事業		73,175	56,302	40,107	86,635	88,807		高い	A
		3	1 4								
		事業の 取組内容		軽度生活支援、食の自立支援、外出支援サービス、緊急通報体制整備等を行う							
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	自立し安心して生活できる環境の整備施策の満足度 障害者計画住民意識調査より （次回はR7年度に実施）	40.2 (R1調査)	目標値	—	—	—	—	50	50	%
			実績値	—	—	—	—			
			達成率	%	%	%	%	%		
2	就労支援により就労した人の数 （生活保護受給者＋生活困難者）	3	目標値	4	4	4	5	5	5	人／年
			実績値	4	1	4	4			
			達成率	100.0%	25.0%	100.0%	80.0%	%		
3	就労継続支援事業所における平均月額工賃（B型）	21,118 (R1調査)	目標値	19,000	20,000	21,000	22,000	23,000	23,000	円
			実績値	19,397	20,817	25,613	27,617			
			達成率	102.0%	104.0%	121.9%	125.5%	%		
4	障害に対する周囲の人の理解が進んでいると思う人の割合 障害者計画住民意識調査より （次回はR7年度に実施）	20.2 (R1調査)	目標値	—	—	—	—	40	40	%
			実績値	—	16.8	—	—			
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
104	申請者に対して助成金を 支払った件数	1,419	目標値	1,400	1,400	1,500	1,500	1,600	1,600	件／年
			実績値	1,406	1,425	1,505	1,441			
116	一般相談及び基本相談利 用実人数	431	目標値	420	420	420	420	420	420	人／年
			実績値	473	504	618	634			
116	相談支援専門員新規養成 者数	1	目標値	2	2	2	2	2	2	人／年
			実績値	1	0	0	1			
116	障害があることで差別や 嫌な思いをした割合	-	目標値	-	30	-	-	30	30	%
			実績値	-	38	-	-			
116	障害者への理解を深める ための研修会 理解度	100	目標値	80	80	80	80	80	80	%
			実績値	100	100	100	100			
129	軽度生活支援事業(除雪援助 及び生活援助)の利用世帯数	550	目標値	550	560	582	582	582	582	世帯
			実績値	550	582	399	568			
129	外出支援サービス事業の 利用者数	335	目標値	335	362	371	371	371	371	人／年
			実績値	362	371	363	341			
129	食の自立支援事業の利用 者数	194	目標値	194	226	255	255	255	255	人／年
			実績値	226	255	236	295			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

基幹相談支援センターの設置により相談支援体制が強化されたことで、より細やかな相談支援事業を展開することができました。その結果、相談利用件数が増加し、必要な障がい福祉サービス等の提供につながりました。

また、精神疾患の治療は、長期間にわたることが多いため、入院（食事療養費を含む。）及び通院にかかる医療費の自己負担分の一部助成を行うことで、継続した治療と早期治療を促し、自立と安定した社会生活の継続を支援することができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評価		評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	基幹相談支援センターの設置により相談支援体制が強化されたことで、相談件数が増加し、必要な支援につながっていること、医療費助成について関係機関と連携した周知を図ることで、新規の利用者が増加したことから「やや高い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	障がい福祉サービス等の提供により障がいのある人が安心して生活できる環境を整えることで、地域での自立と社会参加の実現に寄与したことから「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課題及び今後の方向性		相談支援事業については、相談利用件数の増加に対し、相談支援専門員の不足が課題となっているため、相談支援専門員の増員に向けて、市内事業所と連携し対策を講じます。また、障がい者基幹相談支援センターを中心に、相談支援体制の充実に取り組む必要があります。 高齢の障がい者が地域で安心して生活することができるよう、障がい福祉サービスを利用する人について65歳到達の数年前から介護サービスへの移行に向けて介護・障がい双方の事業所が情報共有を行い早期に支援体制を検討する仕組みを新たに構築します。 魚沼市権利擁護サポートセンター（魚沼市社会福祉協議会内に設置）を中心に、関係機関と連携を図り、障がいへの理解の促進や障がい者の権利擁護支援を推進し、安心して暮らせるまちづくりを進めます。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の 方向性		一次評価のとおり。					

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 S	1 貧困をなくそう	3 すべての人に健康と福祉を	5 ジェンダー平等を實現しよう	9 産業と資源循環のまちづくりを	11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナースhipで目標を達成しよう
-----------------------	-----------	----------------	-----------------	------------------	------------------	-----------------------

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価担当課	部課名	産業経済部 都市整備課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	担当課長名		
主要施策	3項 市民が安心して暮らせる仕組みの構築	関係課	生活環境課	建設課
施策名	2号 安心して暮らせる公共空間の整備			

2. 施策目的（目指すすがた）

障害の有無にかかわらず、市民の誰もが安全で快適に暮らすことができる地域社会を実現するため、公共建物のバリアフリー化、交通機関や道路のユニバーサルデザイン化をすすめることにより、全てのの人にやさしいまちづくりを推進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
39	○	公共交通総合連携事業		114, 124	115, 054	116, 953	167, 389	178, 838		やや高い	A
		2 1 6	生活環境課								
		事業の 取組内容		路線バス及び乗合タクシー運行事業者へ補助金を交付する。							
314		市道整備事業		216, 231	193, 247	332, 633	301, 256	402, 567		やや高い	B
		8 2 2	建設課								
		事業の 取組内容		幹線道路の整備及び利便性の高い交通ネットワーク強化、道路機能の向上促進等を行う。							
329		都市計画策定事業		0	5, 687	7, 819	5, 832	7, 400		やや高い	B
		8 4 1	都市整備課								
		事業の 取組内容		都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の見直し及び策定を行うとともに、計画に沿ったコンパクトなまちづくりを推進する。							
342		公営住宅整備事業		6, 733	14, 383	3, 783	75, 792	131, 883		やや高い	A
		8 5 1	都市整備課								
		事業の 取組内容		建物が老朽化した住宅団地を集約し、住宅の建替えを行う。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	外出時に不都合や不安を感じている人の割合【段差等】 障害者計画住民意識調査より（R1, R4, R7実施）	22.4 (R1調査)	目標値	—	—	—	—	20以下	20以下	%
			実績値	—	21.0	—	—			
			達成率	%	%	%	%	%		
2	外出時に不都合や不安を感じている人の割合【経費等】 障害者計画住民意識調査より（R1, R4, R7実施）	17.7 (R1調査)	目標値	—	—	—	—	15以下	15以下	%
			実績値	—	21.8	—	—			
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
39	住民1人あたりの乗合タクシー等利用回数	0.79	目標値	0.97	0.80	0.85	0.90	0.97	0.97	%
			実績値	0.79	0.78	0.76	0.98			
314	市道整備工事実施路線数		目標値	11	21	29	36	43	43	路線
			実績値	9	19	27	33			
314	市道整備測量設計実施件数		目標値	9	17	20	33	34	34	路線
			実績値	8	14	18	22			
329	立地適正化計画改定の進捗率		目標値		50	100			100	%
			実績値		50	100				
342	都市計画マスタープラン改定の進捗率		目標値				20	40	100	%
			実績値				20			
342	公営住宅解体棟数		目標値	3	6	0	2	2	2	棟
			実績値	3	6	0	2			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

・運転免許証自主返納者に対し乗合タクシー等共通回数券を交付することにより、自主返納を促進し、特に高齢者等に起因する交通事故の未然防止を図るとともに、公共交通機関の利用を促進しています。＜令和6年度共通回数券交付申請者：175人（前年度206人）＞

- ・令和6年9月30日 路線バス「小出～浦佐線」運行終了
- ・令和7年1月31日 「小出まちなか循環線」運行終了
- ・令和7年2月 3日 「のるーと魚沼」実証運行開始

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

路線バスや乗合タクシーの運行などにより、高齢者を中心とした通院や買い物など、交通弱者の移動手段を確保し、地域での生活を下支えすることができました。

歩道整備と道路拡幅改良を行うことで道路のユニバーサルデザイン化が進み、市民の安全な歩行空間が増え、また、車両の円滑な移動を確保することができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	市道改良工事は、毎年着実に目標達成に向けて事業実施を行っており、また、実証運行が開始された「のるーと魚沼」を含む乗合タクシーの利用者が増加し、利便性の向上が図られたことから「やや高い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	道路改良や公共交通の維持を図り公共交通空白地を解消し高齢者等交通弱者の移動手段を確保することで安心して暮らせるまちづくりに寄与できたため「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		公共交通に関しては、人口減少や少子高齢化、高まる移動ニーズの多様化に加え、交通事業者の人材確保が大きな課題となっています。また、公共施設等の老朽化改修と同時に、公共建築物のバリアフリー化及び道路改良時におけるユニバーサルデザイン化についても優先に進める必要があります。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の 方向性		一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 結	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	11 住み続けられるまちづくりを
-----------------------	----------------	---------------	------------------

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価担当課	部課名	市民福祉部 介護福祉課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	担当課長名		
主要施策	4項 高齢者が安心して生き生きと暮らせる仕組みの構築	関係課		
施策名	1号 暮らしの支援体制の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

住み慣れた地域の中で、高齢者が安心して自分らしい生活を送ることができ、また、介護者の負担も軽減できるようにするため、地域資源を活用した地域ネットワークの整備をすすめ、住まい、医療、介護、予防、生活支援サービスが切れ目なく提供されるよう「地域包括ケアシステム」を推進し、在宅医療と介護の連携強化を図ります。
--

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
127	○	介護人材確保支援事業		882	46,503	59,145	60,268	83,833		やや高い	A
		3	1								
		事業の 取組内容		介護分野を支える人材育成マネジメントの支援を行う。							
129	○	高齢者生活支援事業		73,175	56,302	40,107	86,635	88,807		高い	A
		3	1								
		事業の 取組内容		軽度生活支援、食の自立支援、外出支援サービス、緊急通報体制整備等を行う。							
130	○	生きがい活動支援通所事業		22,271	19,760	20,662	23,911	27,195		やや高い	A
		3	1								
		事業の 取組内容		人との交流や日常動作訓練などを通じて、高齢者の生きがい活動と社会参加を促進し、要介護状態になることを予防する。							
介4	○	認知症総合支援事業		16,500	16,900	17,200	17,200	17,200		やや高い	B
		3	3								
		事業の 取組内容		認知症理解のための普及・啓発活動及び発症予防の推進、早期診断・早期対応のための体制整備を行う。							
介5	○	在宅医療・介護連携推進事業		9,000	9,465	9,400	9,500	10,700		高い	C
		3	3								
		事業の 取組内容		高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように在宅医療と介護とを一体的に提供するための連携を図る。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
	指標の説明									
1	地域で高齢者に関するボランティア活動に参加したい人の割合 魚沼市地域福祉推進計画策定時のアンケート調査	15.3 (R1調査)	目標値	—	45	—	—	45	45	%
			実績値	—	19.3	—	—			
			達成率	%	42.8%	%	%	%		
2	介護予防事業参加者の割合 第1号被保険者のうち、介護予防事業（若トレ等）参加者の割合	6.6 (R1調査)	目標値	8	8.5	9	9.5	10	10	%
			実績値	5.8	4.8	4.8	4.9			
			達成率	72.5%	56.5%	53.3%	51.5%	%		
3	要介護認定者の割合 介護保険事業状況報告（3月末の第1号被保険者の認定者の割合	19.0 (R1実績)	目標値	20未満	20未満	20未満	20未満	20未満	20未満	%
			実績値	18.7	18.3	18.2	17.8			
			達成率	106.0%	108.0%	109.0%	112.3%	%		

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
4	市で実施する介護に関する入門的研修修了者数	24 (R1現在)	目標値	34	38	42	46	50	50	人
			実績値	36	43	50	56			
	研修修了者数		達成率	105.9%	113.1%	119.0%	121.7%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
介5	検討会議開催数（事例検討含む。）	5	目標値	10	10	10	10	10	10	回／年
			実績値	7	16	18	10			
介5	各講座の受講者数	1,252	目標値	1,400	1,500	1,500	1,600	1,600	1,600	人／年
			実績値	1,778	1,756	487	730			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

高齢者が安心して生き生きと暮らせるまちづくりを目指し、軽度生活支援、食の自立支援等様々な高齢者生活支援や、介護予防のため生きがい活動支援、若トレ等を実施していることにより、第1号被保険者の認定者の割合が目標を達成するなど、住み慣れた地域で高齢者が安心して暮らせる体制の整備づくりに寄与しました。

また、生活習慣や価値観の変化により、高齢者の抱える問題やニーズは多様化していますが、関係機関と連携しながら、医療、介護、介護予防等が一体的に提供される地域包括ケアシステムの推進に寄与しました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	高齢者が住み慣れた地域で安心して生き生きと自分らしい暮らしを実現するには、健康の維持と介護予防が重要であり、それらの取組の成果により要介護の認定者の割合が目標を達成したと判断したため、「やや高い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	「地域包括ケアシステム」の推進や在宅医療と介護の連携強化等の取組により、高齢者が安心して生き生きと暮らせる仕組みの構築が整備されてきたことから、「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		本市において、高齢化率が40%を超え、総人口が減少している中、少子高齢化が進行しており、認知症の人や一人暮らしの高齢者など、支援を必要とする人はますます増加することが懸念されるとともに、介護の担い手不足といった問題も一層深刻化していくことが見込まれます。 高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を送るために、住まい、医療、介護、介護予防及び日常生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を深化させながら、中長期的な視野に立ち、それぞれが連携をしながら「高齢者等が安心して生き生きと暮らせるまちづくり」の実現に向け、各種取組を進めていく必要があります。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課題及び今後の方向性		在宅介護に加え、施設介護の取組について検討をすること。また、介護従事者への支援についてもあわせて検討をすること。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G 連 S	
------	----	----	--------	-----------------------	---

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価担当課	部課名	市民福祉部 介護福祉課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	担当課長名		
主要施策	4項 高齢者が安心して生き生きと暮らせる仕組みの構築	関係課	生涯学習課	
施策名	2号 高齢者の社会参加の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

価値観が多様化する中で、高齢者が社会の重要な一員として、これまで培ってきた高い技術や知識を活かし、生きがいを持って活躍できる場や生涯学習の充実を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
120		シルバー人材センター助成事業		10,300	10,300	10,300	10,300	10,300		やや高い	B
		3 1 3	介護福祉課								
		事業の取組内容	魚沼市シルバー人材センターの活動支援を行う。								
124		老人クラブ助成事業		9,860	9,610	9,440	9,170	9,400		やや高い	B
		3 1 3	介護福祉課								
		事業の取組内容	魚沼市老人クラブ連合会の活動支援を行う。								
444	○	地区公民館講座教室事業		654	1,302	1,600	1,233	561		やや高い	C
		10 4 2	生涯学習課								
		事業の取組内容	各種公民館講座教室、講演会等を開催する。								
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	地域活動に参加している 高齢者の割合 高齢者福祉計画・介護保険事 業計画策定時実施の介護予 防・日常生活圏域ニーズ調査	21.7 (R2調 査)	目標値	—	25	—	—	40	40	%
			実績値	—	24.6	—	—			
			達成率	%	98.4%	%	%	%		
2	シルバー人材センター会 員数	506 (R1実 績)	目標値	510	520	530	540	550	550	人
			実績値	463	462	396	380			
			達成率	90.7%	88.8%	74.7%	70.3%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
120	シルバー人材センター受 注額	175	目標値 実績値	173 169	188 153	191 154	194 156	197	—	百万円
124	単位老人クラブ加入者数	4,220	目標値 実績値	4,200 4,063	4,200 3,729	4,200 3,432	4,200 3,093	4,200	4,200	人
444	講座教室の参加率(参加人 数/募集定員)*100	72	目標値 実績値	80 61	85 76	90 71	95 59	100	100	%
444	参加者の満足度(満足/回 答者)*100※アンケート	88	目標値 実績値	90 94	92 63	95 63	98 80	100	100	%
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

シルバー人材センターの会員数は、定年年齢の引き上げや継続雇用等の社会情勢の変化に伴い減少したものの、1会員1仕事開拓運動などの取組によって、受注額は前年度から微増しており、シルバー人材センターを通して行う各種事業は、高齢者の就労支援と社会参加の推進に寄与しています。

また、老人クラブの加入者数についても、高齢者の趣味の多様化、雇用年齢の引き上げ等の昨今の社会情勢の中により前年度から減少していますが、各単位老人クラブが実施する健康づくり活動やボランティア活動など、高齢者の生きがいをづくりと社会参加の推進に寄与しています。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	シルバー人材センターの受注額は前年度から微増しており、就業先の新規開拓に取り組むなど、意欲的に参加する高齢者も多く、地域においては、身近な頼れる存在としてニーズがあることから、「やや高い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	シルバー人材センターが行う各種事業や老人クラブの各種活動によって、多くの高齢者が社会参加できていることから「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		働き方やライフスタイルの多様化により、シルバー人材センター、老人クラブともに、入会者の確保が課題となっています。 シルバー人材センターは、更なる就業機会の確保とともに、幅広いニーズに応えられるよう、独自で講習会を開催するなど、入会者のスキルアップに積極的に取り組んでおり、高齢者の就労支援と社会参加の推進に果たす役割は非常に大きいことから、引き続き助成を実施していきます。 老人クラブの加入者数は減少傾向にありますが、健康づくり活動やボランティア活動など、人と人とのつながりの場、生きがいづくりの場として老人クラブが果たす役割は依然として大きいため、引き続き助成を実施していきます。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

計画・評価・再評価・再計画・再計画						
評価項目		評価の観点		評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。				改善・見直し	
課題及び今後の方向性		社会情勢の変化により、高齢者の社会参加はシルバー人材センターや老人クラブでの活動だけではなくなっているため、次期計画ではそれ以外にも社会参加を促進するような取組を検討すること。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G 連 結	3 すべての人に 健康と福祉を
------	----	----	--------	-----------------------	-----------------------

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価担当課	部課名	市民福祉部 健康増進課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	担当課長名		
主要施策	5項 誰もが健康管理ができる安心で身近な地域医療の充実	関係課		
施策名	1号 健康管理システムの充実			

2. 施策目的（目指すすがた）

市民が地域で安心して暮らし続けられ、初期医療から高度医療まで、地域内で対応できるよう魚沼基幹病院及び市内診療所との連携の強化を図ります。
医療機関等がそれぞれの役割を分担するなかで、病院、診療所及び在宅医療・在宅介護に関わる職種間での連携や患者情報を共有し、必要な医療及び介護へスムーズにつなげるため「うおぬま・米ねっと」の加入促進を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
189	○	地域医療対策事業		355	15,407	92,353	45,890	39,650		高い	A
		4	1								
		事業の 取組内容		病院、診療所及び在宅での情報共有の促進と地域の医療資源の充実を図る。							
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	基幹病院を含めた市内医療提供体制の満足度 総合計画市民アンケートより（R5に実施）	44.0 (R1調査)	目標値	—	—	75	—	—	75	%
			実績値	—	—	47.4	—	—		
			達成率	%	%	63.2%	%	%		
2	うおぬま・米ねっと加入率 魚沼の総人口に対する、うおぬま・米ねっと加入者の割合	27.0 (R1末)	目標値	30	35	40	45	60	60	%
			実績値	37	40	44	46			
			達成率	123.3%	114.2%	110.0%	102.2%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名 指標の説明	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
189	市立小出病院の常勤医師数	9	目標値	9	9	9	9	9	9	人
			実績値	9	10	10	7			
189	医師等修学資金貸与者数	7	目標値	6	6	6	6	6	6	人/年
			実績値	7	3	4	1			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

昨年度、新潟県と連携して実施する医師養成修学資金の地域枠制度に選定され、新潟県及び帝京大学と三者協定を締結し、令和6年度から帝京大学医学生1名に修学資金を貸与しています。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

「うおぬま・米ねっと」については、医療機関と介護施設との連携が可能となっており、介護サービス利用者の加入が増えたことにより加入率が伸びました。これによって医療と介護の職種間での連携や患者情報のスムーズな共有が図れています。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	高い	医療、介護の連携が進み、加入率が目標を達成していることから「高い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	高い	「うおぬま・米ねっと」の活用で医療、介護の連携が進んでいること、また地域完結型医療の推進により、市内診療所、小出病院、魚沼基幹病院との連携強化が図られており、「高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		「うおぬま・米ねっと」に関しては、今後在宅医療や在宅介護の需要が高まることが予想され、医療と介護の情報共有が一層重要となります。そのため、加入促進への取組が課題です。 地域完結型医療の実現に向け、医療機能の分化・連携が進められている中、今後、在宅医療の需要が増えることが予測されることから、医療、介護の連携をさらに進め、地域包括ケアシステムの実現に向けた医療体制の整備が必要です。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由		
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。				改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D 関 連 S	3 すべての人に 健康と福祉を
------	----	----	--------	-----------------------	-----------------------

1. 基本情報

施策分野	健康・福祉	評価担当課	部課名	市民福祉部 健康増進課
基本目標	3節 生涯にわたり健やかで安心して暮らせるまちづくり	関係課	担当課長名	
主要施策	5項 誰もが健康管理ができる安心で身近な地域医療の充実		介護福祉課	
施策名	2号 医療資源の育成			

2. 施策目的（目指すすがた）

医師・看護師などの地域内に不足する医療資源を充実させるため、修学資金の貸与事業を継続するほか、小出病院地域医療教育・研修センター、地域医療魚沼学校と連携し医療従事者の育成に取り組みます。

医療及び介護サービス資源の把握や課題等を共有し、住み慣れた地域で生活できる在宅医療・介護の連携の取組を進めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
189	○	地域医療対策事業		355	15,407	92,353	45,890	39,650		高い	B
		4	1								
		事業の 取組内容		病院、診療所及び在宅での情報共有の促進と地域の医療資源の充実を図る。							
介5	○	在宅医療・介護連携推進事業		9,000	9,465	9,400	9,500	10,700		高い	C
		3	3								
		事業の 取組内容		高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるように在宅医療と介護とを一体的に提供するための連携を図る。							
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	家庭で血圧を測っている人の割合 健康づくり計画アンケートより（R6に実施）	34.7 (R1調査)	目標値	—	—	—	40	—	40	%
			実績値	—	—	—	45.1	—		
			達成率	%	%	%	112.8%	%		
2	かかりつけ医がある人の割合 健康づくり計画アンケートより（R6に実施）	61.9 (R1調査)	目標値	—	—	—	80	—	80	%
			実績値	—	—	—	71.9	—		
			達成率	%	%	%	89.9%	%		
3	市立小出病院の常勤医師人数	9 (R1現在)	目標値	9	9	9	9	9	9	人
			実績値	9	10	10	7			
			達成率	100.0%	111.1%	111.1%	77.7%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名 指標の説明	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
189	うおぬま・米ねっと加入率	32	目標値	30	35	40	45	60	60	人
			実績値	37	40	44	46			
189	医師等修学資金貸与者数	7	目標値	6	6	6	6	6	6	人/年
			実績値	7	3	4	1			
介5	検討会議開催数（事例検討含む。）	5	目標値	10	10	10	10	10	10	回/年
			実績値	7	16	18	10			
介5	各講座の受講者数	1,252	目標値	1,400	1,500	1,500	1,600	1,600	1,600	人/年
			実績値	1,778	1,756	487	730			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

昨年度、新潟県と連携して実施する医師養成修学資金の地域枠制度に選定され、新潟県及び帝京大学と三者協定を締結し、令和6年度から帝京大学医学生1名に修学資金を貸与しています。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

生活習慣や価値観の変化により、高齢者の抱える問題やニーズは多様化していますが、関係機関と連携しながら、医療、介護、介護予防等が一体的に提供される地域包括ケアシステムの推進に寄与しました。

医師等修学資金貸与者数については目標を達成することができませんでしたが、一定程度の実績もあり、医師・看護師が不足している本市において、修学資金の貸与は医療資源の確保を図るための有効な手段の一つであり、未来の医療人材の確保に向けて前進しています。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		医療機関及び介護施設の関係機関との連携は取れてきていますが、市民への普及啓発が不足しています。また、看護師確保においては、修学資金の貸与者が市内医療機関へ就職しており、一定数の人材確保に貢献していますが、就職後の離職がみられることから、働く者にとって魅力ある病院づくりのため、魚沼市医療公社と連携した取組が課題です。 高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を送るために、住まい、医療、介護、介護予防及び日常生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を深化させながら、中長期的な視野に立ち、それぞれが連携をしながら「高齢者等が安心して生き生きと暮らせるまちづくり」の実現に向け、各種取組を進めていく必要があります。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 系	2 気候変動 への対応	3 持続可能な 消費と生産	6 安全な水とトイレ を世界中に	11 気候変動による 被害への適応	12 つくる・使う 資源の循環	14 海の豊かさ を増やす	15 陸の豊かさを 保つ
-----------------------	----------------	------------------	---------------------	----------------------	--------------------	------------------	-----------------

1. 基本情報

施策分野	産業	評価 担当課	部課名	産業経済部 農政課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり	担当課長名		
主要施策	1項 地域資源の活用による産業の振興	関係課	地域創生課	企画政策課
施策名	1号 新たな特産品づくり、ブランド化の推進		観光課	

2. 施策目的（目指すすがた）

本市には魚沼産コシヒカリや山菜をはじめとした豊かな農林水産物や魅力ある食文化があります。これらの地域資源を活用した新たな特産品づくりをすすめ、食のまちづくりの推進により魚沼ブランドの積極的な情報発信や高付加価値化を図り、販路の開拓及び拡大に取り組みます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
46	○	ふるさと結基金事業								高い	S
		2 1 6	地域創生課	1,439,761	1,521,384	1,557,042	1,721,423	1,693,315			
		事業の 取組内容	ふるさと納税に係る事務を委託し、全国から広く寄附を募るとともに地元産品をPRする。								
210	○	食でつながる元気なまちづくり推進事業								やや高い	B
		2 1 6	企画政策課	2,891	3,754	3,286	3,543	3,620			
		事業の 取組内容	「食」の課題に連携して取り組み、市民の健康づくりと産業の向上を目指す。								
245	○	農産物ブランド力強化事業								高い	B
		6 1 3	農政課	5,609	13,143	12,968	8,434	13,721			
		事業の 取組内容	地産地消の啓発、魚沼ブランド推奨品の普及、6次産業化支援、販路拡大支援を行う。								
522	○	インターチェンジ名称変更事業								やや高い	A
		2 1 6	企画政策課	0	1,626	2,388	306,294	2,434			
		事業の 取組内容	交流人口の拡大、産業振興、利便性の向上及び市民の一体感の醸成のため、インターチェンジの名称変更に取り組む								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	魚沼ブランド推奨品の数	57 (R1末)	目標値	60	60	65	65	70	70	品
			実績値	68	72	74	69			
			達成率	113.3%	120.0%	113.8%	106.2%	%		
2	市内直売所年間販売額 市内直売所の年間販売額	215,809 (R1実績)	目標値	216,000	217,000	218,000	219,000	220,000	220,000	千円／年
			実績値	210,987	195,168	190,342	214,232			
			達成率	97.6%	89.9%	87.3%	97.8%	%		
3	ふるさと納税額 寄附金額	2,100,000 (R1実績)	目標値	2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000	2,500,000	2,500,000	千円／年
			実績値	2,806,187	2,822,493	2,804,008	3,543,055			
			達成率	133.6%	128.2%	121.9%	147.6%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
46	ふるさと納税寄附件数	126,317	目標値	120,000	123,000	126,000	130,000	134,000	134,000	件
			実績値	137,900	131,884	122,887	142,259			
46	ふるさと納税寄附金額	2,465,259	目標値	2,100,000	2,200,000	2,300,000	2,400,000	2,500,000	2,500,000	千円
			実績値	2,806,187	2,822,493	2,804,008	3,543,055			
210	食まちうおぬまネットワーク推進協議会の開催数	3	目標値	2	-	-	-	-	10	回
			実績値	0	-	-	-	-		
210	食まちイベント参加人数	210	目標値	1,000	4,000	5,000	5,500	6,000	6,000	人/年
			実績値	940	5,000	4,800	3,200			
245	魚沼ブランド登録商品販売額向上割合	なし	目標値	5	7	55	55	55	55	%
			実績値	3.9	54	34	47			
245	市内直売所年間販売額	222,954	目標値	216,000	217,000	218,000	219,000	220,000	220,000	千円
			実績値	210,987	195,168	190,342	214,232			
522	年間観光入込客数	958	目標値	1,650	1,675	1,700	1,725	1,750	1,750	千人
			実績値	1,174	1,551	1,691	1,620			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和6年11月に高速道路小出インターチェンジの名称を魚沼インターチェンジへ変更しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

県内外の販売会イベントやブランド農産物のトップセールスの実施に当たり、生産者や関係機関との協働により、魚沼市産のブランド力の高さを効果的にPRし、認知度向上とともに販路の開拓・拡大につなげることができました。特にトップセールスを実施したユリや促成山菜は、全国の主要市場から高い評価をいただき、販売額において前年度実績を上回り、魚沼市産農産物のブランド力向上につながっています。

また、ふるさと納税についても、魚沼市産コシヒカリを始め本市の特産品等多くを返礼品として選んでいただき、前年度を大きく上回る寄附額を確保することができました。

インターチェンジの名称変更については、市制施行20周年と合わせて、シティプロモーションにより全国に向けて周知しました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	高い	ブランド推奨品数は目標値は前年度実績を下回りましたが、登録商品販売額向上割合及び直売所の販売額ともに上回りました。また、ふるさと納税額も前年度及び目標を大きく上回る成果を達成したことから「高い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	高い	本市特産品のPRを生産者や関係機関等と一体で取り組み、新たな特産品づくりや豊かな農林水産物等の販路拡大、ブランド力向上から、本市の魅力発信へとつなげており、各事業が成果を発揮し貢献していると考えます。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の 方向性		本市の特産品のPRや魅力発信においては、関係機関や生産者などと一体となった協働体制が整いつつあります。一方で、ブランド推奨品やプレミアム認定品について、各委員等から市内での認知度が十分とはいえないという意見もあるため、市民への理解を深める取組を進め、その魅力を共有していく中で、将来的には市民一人ひとりがその魅力を広く伝える役割も担っていただけるよう、効果的な取組を検討していきます。更に名称変更した魚沼インターチェンジに、より多くの人を呼び込み、交流人口の拡大、本市経済の発展に向けて、市民も含めた盛り上がりの機運を各事業等を通じて醸成していきます。 都市等において、本市のブランド農産物をはじめ、魚沼市プレミアム認定品等の特産品のPRや広告宣伝の強化を図り、ふるさと納税寄付額の増加と販路開拓・拡大を図ります。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

施策に対する評価（行政計画会議・三次計画）					
評価項目	評価の観点	評 価	評 価 の 理 由		
施策成果の達成度	・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。	
貢献度	・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し		
課 題 及び 今後の 方向性	具体的な効果のある取組を検討すること。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G 連 関	8 働きがいも 経済成長も	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
------	----	----	--------	-----------------------	---------------------	-----------------------------

1. 基本情報

施策分野	産業	評価 担当 課	部課名	産業経済部 商工課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項 地域資源の活用による産業の振興	関係 課	農林整備課	
施策名	2号 新製品開発や新技術の確立に向けた取組の支援			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域の豊富な食材、森林資源、雪や水などの資源を活用した新製品の開発や新技術の確立、新分野への進出や新産業の創出に向けた企業の取組を支援します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
276	○	魚沼市産材活用促進事業		15,240	16,055	12,908	9,945	12,116		やや高い	B
		6	2								
		事業の 取組内容		地元産材を利用した新たな商品開発及び販路拡大、木材の需要拡大を図る。							
288	○	地域産業活性化事業		4,860	6,206	10,127	11,594	13,417		やや高い	C
		7	1								
		事業の 取組内容		産業技術支援、販路拡大のための補助金、魚沼ものづくり振興協議会への補助金等の交付を行う。							
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	新製品の開発支援事業による事業化件数	5 (H28～R1累 計)	目標値	2	4	6	8	10	10 (R3～R7累計)	件
			実績値	2	2	3	4			
			達成率	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
276	地元産木材使用量	268	目標値	320	320	320	320	320	320	㎡/年
			実績値	168	152	130	126			
276	市産材活用製品開発数	—	目標値	—	—	21	30	40	40	個
			実績値	—	—	18	25			
288	新製品の開発支援事業による事業化件数	—	目標値	1	2	3	4	5	5	件
			実績値	1	1	2	3			
288	支援事業の商談成立件数	3	目標値	50	50	50	50	50	50	件/年
			実績値	22	8	20	53			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

新たな技術を活用した先進的な事業展開に取り組もうとする企業を支援することで、企業の競争力強化につながりました。

魚沼市産材の家づくり事業や魚沼市産材を活用した木製什器の製作により、市民が市産材に触れる機会を増やすとともに、地域林業及び木材産業の活性化につなげることができました。魚沼市木製品総合カタログを通じたPR等により、首都圏友好自治体からの木製品の受注につなげることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	目標値に到達しませんでした。新製品開発や新技術の確立、地域資源の活用に取り組む気運の醸成を図ったことで事業化や製品開発に結びついた案件もあったことから、「やや高い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	新製品開発や新技術の確立は企業にとって容易ではないものの、目標達成に向けて企業の主体的な取組を支援することが重要なことから、貢献度は「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		新製品・新技術開発支援や販路拡大の支援は、市内事業者の競争力強化に有効であるものの、市内の多くの製造業者の大部分は下請けということもあり、新たな事業展開が活発とはいえない状況です。今後、提案型企業が育つような環境づくりをどのように展開していくのが課題です。 地域産業の活性化を図るため、補助制度の活用促進や商品開発支援、地域資源の活用支援を今後も進めながら、企業の考え、現状、ニーズなどの把握に努めるほか、企業、企業団体、商工会や包括連携協定を締結している大学などとも課題を共有し、異業種連携や産学官連携などに前向きに取り組んでいく必要があります。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや低い	指標の達成状況により判断し、「やや低い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価に加え、企業が新製品の開発へ意欲を示すような取組や企業の成長を促すような支援を行うこと。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 S	2 市民を ゼロに	4 質の高い教育を みんなに	8 働きがいも 経済成長も	12 つくる責任 つかう責任	17 パートナースhipで 目標を達成しよう
-----------------------	--------------	-------------------	------------------	-------------------	---------------------------

1. 基本情報

施策分野	産業	評価 担当 課	部課名	産業経済部 農政課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり	担当課長名		
主要施策	2項 魅力ある農林業の振興	関係 課	農林整備課	学校教育課
施策名	1号 力強い農業経営の構築と地域農業の活性化			

2. 施策目的（目指すすがた）

生産基盤の整備や担い手への農地集積をすすめ、生産性の向上や担い手の育成により、持続可能で力強い農業経営の構築を推進します。

農産物の品質向上と生産拡大をすすめ、6次産業化、農商工連携、ブランド化により商品開発や販売活動を支援し、地域農業の活性化と農業者の所得向上を図ります。

農村環境と調和した農業生産と食の安全性向上の取組をすすめ、安心安全な農産物の生産と地産地消の取組を推進します。

新たな就農・就業者が、地域で培った技術や経営資産を円滑に事業継承が行えるように、受入体制や経営開始時の負担軽減の支援を行います。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
241		農林水産業総合振興事業		7,624	972	—	—	—			
		6 1 3 農政課									
		事業の 取組内容	県の事業認定を経て単独事業を実施する団体へ間接的に県補助金を交付する。 (令和5年度からNo251農業者育成支援事業に統合)								
243		中山間地域等直接支払交付金事業		193,272	192,905	191,789	191,982	203,058		高い	A
		6 1 3 農政課									
		事業の 取組内容	耕作条件の劣る中山間地域の営農活動の維持全般に対して財政支援等を行う。								
244	○	生産調整対策事業		58,032	56,514	59,143	58,062	59,869		高い	B
		6 1 3 農政課									
		事業の 取組内容	米の生産調整や経営所得安定対策を実施・推進する。								
247		多面的機能支払交付金事業		180,342	178,349	178,438	175,074	195,944		高い	B
		6 1 3 農政課									
		事業の 取組内容	地域共同による農村環境の保全向上の取組を支援する。								
248	○	地域計画推進事業 (旧：人・農地プラン事業)		34,060	17,850	22,834	33,854	142,821		高い	B
		6 1 3 農政課									
		事業の 取組内容	農地中間管理機構による担い手への農地集積と集約化を支援する。 (R6に地域計画事業へ名称変更、R7から地域計画推進事業へ事業統合)								
250		経営体育成支援事業		3,128	0	—	—	—			
		6 1 3 農政課									
		事業の 取組内容	人・農地プランに位置づけられた中心経営体の農業用機械等の導入に対し補助を行う。 (令和5年度からNo251農業者育成支援事業に統合)								
251	○	農業者育成支援事業		14,329	32,977	42,680	59,532	—		やや高い	B
		6 1 3 農政課									
		事業の 取組内容	国県補助事業を利用して施設整備を行う農業者等に上乗せ補助を行う。 (令和7年度からNo248地域計画推進事業に統合)								
254	○	新規就農者援助事業		1,200	1,200	—	—	—			
		6 1 3 農政課									
		事業の 取組内容	新規就農者に補助金を交付し経営が軌道に乗るまでの間を支援する。 (令和5年度からNo251農業者育成支援事業に統合)								
255		地域バイオマス施設整備事業		0	36,866	2,310	—	—			
		6 1 3 農政課									
		事業の 取組内容	有機センターの施設改修や車両更新等を行う。※R5で総合計画計上終了								
259	○	農地農業施設整備事業		87,407	31,501	39,302	42,774	28,471		やや高い	A
		6 1 5 農林整備課									
		事業の 取組内容	農業用施設の整備により生産コストの縮減を図り、持続可能で力強い農業経営の構築を推進する。								

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
482		学校給食支援事業		3,769	3,878	3,498	2,860	2,603		やや高い	A
		10 6 1	学校教育課								
		事業の 取組内容		小中学校の全児童・生徒に魚沼産コシヒカリの給食を提供する。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	農業担い手数 認定農業者、認定新規就農者	362 (R1末)	目標値	360	360	360	360	360	360	経営 体
			実績値	326	308	290	280			
			達成率	90.5%	85.5%	80.6%	77.8%	%		
2	担い手への農地利用集積面積 農地中間管理機構を通じて担い手へ集積した面積	2,404 (R1末)	目標値	2,700	2,750	2,800	2,850	2,900	2,900	ha
			実績値	2,608	2,608	2,616	2,622			
			達成率	96.5%	94.8%	93.4%	92.0%	%		
3	新規就農者数 新規就農者実態調査に計上される人数	34 (H28～R1累計)	目標値	42	49	56	63	70	70 (H28～R7累計)	人
			実績値	53	62	70	75			
			達成率	126.1%	126.5%	125.0%	119.0%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
243	中山間地域等直接支払交付金事業取組面積	982	目標値	982	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	ha
			実績値	1,001	999	1,004	1,003			
247	多面的機能支払交付金事業取組面積	2,553	目標値	2,551	2,551	2,551	2,551	2,551	2,551	ha
			実績値	2,553	2,544	2,542	2,463			
251	農業機械等導入経費補助件数	6	目標値	5	5	5	5	5	5	件
			実績値	6	1	3	4			
251	新規就農者研修支援	0	目標値	1	1	1	1	1	1	件
			実績値	0	0	0	0			
253	環境保全に資する農業取組面積	5,687	目標値	6,000	6,000	7,700	7,700	7,700	7,700	a
			実績値	5,687	7,041	8,297	8,944			
255	原材料受入量（家畜排泄物、エノキ腐菌床、おからほか）	5,647	目標値	6,000	6,000	6,000	6,500	7,000	7,000	t
			実績値	5,317	5,798	5,715	5,613			
255	堆肥販売量（田、畑（水稻、花き、野菜）、家庭菜園ほか）	1,903	目標値	2,300	2,300	2,300	2,900	3,150	3,150	t
			実績値	1,975	2,112	2,342	2,391			
259	県単農業農村整備事業の事業実施箇所	1	目標値	3	2	1	1	1	1	箇所／年
			実績値	8	2	0	2			
259	小規模農地基盤整備事業実施における受益面積	2	目標値	2	2	2	2	2	2	ha／年
			実績値	1.7	2.0	3.6	2.8			
482	（参考）コシヒカリ提供数量	31,436	目標値	-	-	-	-	-	-	kg
			実績値	32,142	30,437	28,544	28,727			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

魚沼市地域計画（令和7年3月31日策定）											
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

農地の保全、農業用施設・機械等の整備や導入等への支援により、農村環境の維持・形成に寄与しました。また、新規就農者に対しては経済的な支援措置を施し、負担軽減及び経営基盤の安定を図ることで新たな担い手の確保・育成につながりました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	認定農業者数、担い手への農地利用集積面積は目標に達しませんでした。新規就農者数が目標を大きく上回り、担い手への農地利用集積面積も前年実績を上回っていることから、一定の成果があると判断し「やや高い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	本市の基幹産業である農業を将来につなげていくために、新規就農者の確保や担い手が営農継続していくための条件整備が必要であり、力強い農業経営の構築と地域農業の活性化のためにも各事業は有効であることから「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。				改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		農業者の高齢化を始め、農家戸数の減少や担い手不足、条件不利地を中心とした農地の荒廃等への対策が喫緊の課題であることから、地域計画を柱とした生産基盤の整備や担い手育成、農地集積に向けた取組を進め、生産性の向上やブランド力向上から農業者の所得向上を促進し、持続可能な力強い農業経営基盤の構築と地域農業の活性化を図っていくことが必要です。 また、各地域で活動しているそれぞれの農業経営体、営農組織等の支援拡充を推進し、地域農業の維持発展に取り組んでいきます。				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおりの。
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおりの。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課題及び今後の方向性		一次評価のとおりの。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 S	6 安全な水とトイレを世界中に	8 働きがいも経済成長も	15 陸の豊かさもやろう	17 パートナースhipで目標を達成しよう
-----------------------	-----------------	--------------	--------------	-----------------------

1. 基本情報

施策分野	産業	評価担当課	部課名	産業経済部 農林整備課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり	担当課長名		
主要施策	2項 魅力ある農林業の振興	関係課		
施策名	2号 森林・里山を活用した地域の活性化			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域産業である林業の活性化と森林・里山の健全化をめざして、地元産木材の需要拡大と低質材の有効活用及び生産基盤の整備による生産コストの削減を図るとともに、人財の育成及び安定供給体制の整備により雇用の創出、所得の向上を図ります。
また、農林業体験と観光を融合し、交流人口の拡大に向けた取組を行います。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
268		林業振興事業		545	551	1,811	1,660	2,727		やや高い	B
		6 2 2	農林整備課								
		事業の取組内容		森林保全の意識を醸成するとともに、林業振興に資する事業を実施する。							
270	○	森林整備事業		17,828	9,845	40,550	95,999	136,479		やや高い	B
		6 2 2	農林整備課								
		事業の取組内容		市行造林事業、森林整備推進事業等の実施により、森林・里山の健全化及び林業の活性化を図る。							
271	○	里山整備事業		22,081	21,579	—	—	—			
		6 2 2	農林整備課								
		事業の取組内容		里山の整備及び木材搬出に係る補助を行う。							
274	○	森林体験・環境学習事業		321	675	—	—	—			
		6 2 2	農林整備課								
		事業の取組内容		森林を活用した体験メニューやインストラクターの充実を図る。							
276	○	魚沼市産材活用促進事業		15,240	16,055	12,908	9,945	12,116		やや高い	B
		6 2 2	農林整備課								
		事業の取組内容		地元産材を利用した新たな商品開発及び販路拡大、木材の需要拡大を図る。							
277	○	魚沼市伝統技能継承支援事業		3,245	2,960	3,086	2,456	3,969		やや高い	B
		6 2 2	農林整備課								
		事業の取組内容		炭焼き、紙すき、木工の技能の継承希望者に対し、就業に向けた支援を行う。							
280	○	林道整備事業		63,373	38,564	45,955	48,295	96,759		やや高い	B
		6 2 3	農林整備課								
		事業の取組内容		林道改良・舗装工事、橋梁等の長寿命化により、林業の生産基盤を整備する。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値		R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明			実績	実績	実績	実績	実績		
1	森林、里山整備新規従事者数の増加	59 (H28～R1累計)	目標値	64	68	72	76	80	80 (H28～R7累計)	人
			実績値	69	86	103	113			
			達成率	107.8%	126.4%	143.0%	148.6%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
268	「魚沼森林塾」参加者数	11	目標値	15	15	15	15	15	15	人／年
			実績値	7	12	7	8			
268	新規インストラクター数	9	目標値	10	10	10	10	10	10	人／年
			実績値	4	5	8	11			
270	市有林森林整備面積	14	目標値	10	10	10	10	10	10	ha／年
			実績値	12	8	11	20			
270	私有林森林整備面積	19	目標値	10	10	10	10	10	10	ha／年
			実績値	21	12	7	7			
270	未整備私有林整備面積	0	目標値	5	5	5	5	5	5	ha／年
			実績値	0	2	5	2			
270	里山整備面積	39	目標値	50	50	50	50	50	50	ha／年
			実績値	41	52	54	53			
270	森林資源活用量	2,389	目標値	3,110	3,280	3,450	3,630	3,800	3,800	t／年
			実績値	2,645	1,139	986	2,120			
276	地元産木材使用量	268	目標値	320	320	320	320	320	320	m3／年
			実績値	168	152	130	126			
276	市産材活用製品開発総数		目標値			21	30	40	40	個
			実績値			18	25			
277	技能継承希望者数(新規参入者数累計)	1	目標値	0	1	1	2	2	2	人
			実績値	0	0	0	0			
277	継承者定着数	0	目標値	3	3	4	4	5	5	人
			実績値	2	2	3	3			
277	イベント新規参加者数	33	目標値	16	16	200	250	300	300	人／年
			実績値	12	146	815	677			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和5年度から里山整備事業は森林整備事業に、森林体験・環境学習事業は林業振興事業に統合して、事務事業に関する活動指標及び成果指標に「市産材活用製品開発総数」を追加しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

市有林は間伐を実施し、私有林は事業体等と連携した間伐等を進めることができ、林業の活性化に貢献しました。里山整備事業により搬出された木材は、首都圏友好都市等の学校向けに炭焼き体験の材料として活用され、交流人口の拡大に寄与しました。

魚沼市産材の家づくり事業補助金では8棟126m3の利用があり森林資源の利活用を推進しました。

また、魚沼市産材活用製品制作事業補助金では、市産材の木製品7製品を開発・制作して、森林資源の新たな利活用と林業の活性化につなげました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の 達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	林業従事者は減少しているものの、里山整備の新規団体の取組により、成果指標の目標は上回っているため「やや高い」と評価しました。	
			やや高い		
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	里山整備の木材が炭焼き体験の材料として活用され交流人口の拡大に寄与したほか、市産材の新たな利活用により林業の活性化につながっていることから「やや高い」と評価しました。	
			やや高い		
総合評価		目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
			目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し	
課 題 及び 今後の 方向性	林業従事者が減少する中、森林整備を促進するためには、林業の担い手を確保していく必要があります。また、市産材の需要拡大を進め供給するためには、木材の有効利用と木工事業者の販路開拓をサポートしていく必要があります。 今後は林業の担い手確保に向けた取組を強化し、計画的かつ効率的な森林整備を行い、森林・里山の健全化を目指していきます。また、市産材の需要拡大に向けて、木材の利活用を促進し、川上から川下まで流通の円滑化を図ります。				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点		評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し		
課 題 及び 今後の 方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G 連 結	8 働きがいも 経済成長も	17 パートナリシップで 目標を達成しよう
------	----	----	--------	-----------------------	------------------	--------------------------

1. 基本情報

施策分野	産業	評価 担当 課	部課名	産業経済部 商工課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり	担当課長名		
主要施策	3項 商工観光業の競争力強化	関係 課		
施策名	1号 競争力強化に向けた商工業者への支援			

2. 施策目的（目指すすがた）

商業においては商店街における賑わい創出による活性化をめざし、地域コミュニティ機能の向上に向けた取組を支援するとともに、製造業においては産学官連携の推進や関係団体との協力体制の強化に向けた活動を支援します。

また、地域のリーダー的な役割を担う人財育成に取り組むとともに、創業や新事業、高度な技術を持つ人財育成を支援します。あわせて、円滑な企業経営、事業承継に必要な資金調達時の負担軽減と相談窓口の充実に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
234	○	企業人材確保・育成支援事業		9,174	15,937	24,427	28,956	35,330		高い	A
		5 1 1	商工課								
		事業の 取組内容	企業の人材確保を支援するとともに、専門的な技術や知識を持った人材育成と能力開発の取組を行う。								
288	○	地域産業活性化事業		4,860	5,086	10,127	11,594	13,417		やや高い	C
		7 1 2	商工課								
		事業の 取組内容	産業技術支援、販路拡大のための補助金、魚沼ものづくり振興協議会への補助金等の交付を行う。								
289	○	商業活性化事業		9,083	6,471	7,292	12,347	28,501		やや高い	C
		7 1 2	商工課								
		事業の 取組内容	商店街販売促進イベント助成、アーケード改修助成、個店魅力向上セミナーを実施する。								
290		金融対策事業		339,164	251,117	209,287	182,655	122,499		やや高い	C
		7 1 2	商工課								
		事業の 取組内容	市内中小企業者の経営基盤の安定化を支援し、比較的低金利の制度融資と信用保証料補助を実施する。								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	製造業付加価値額	22,707 (H30実績)	目標値	22,841	22,976	23,112	23,249	23,388	23,388 (3%増)	百万円
			実績値	22,299	-	-	-	-		
			達成率	97.6%	%	%	%	%		
2	製造品出荷額等	52,280 (H30実績)	目標値	52,860	53,441	54,022	54,603	55,184	55,184	百万円
			実績値	56,477	-	-	-	-		
			達成率	106.8%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
234	インターンシップ実施新規企業数	1	目標値	2	2	2	2	2	2	社
			実績値	2	1	2	0			
234	新入社員等合同研修会新規参加企業数	—	目標値	2	2	2	2	2	2	社
			実績値	8	6	3	2			
234	中小企業等人材育成支援活用企業数	7	目標値	8	8	8	8	8	8	社
			実績値	7	7	12	13			
288	新製品の開発支援事業による事業化件数	—	目標値	1	2	3	4	5	5	件
			実績値	1	1	2	3			
288	支援事業の商談成立件数	3	目標値	50	50	50	50	50	50	件/年
			実績値	22	8	20	53			
289	市内事業所景況実態調査で収益を「黒字」と回答する事業所の割合	29.6	目標値	32	34	36	38	40	40	%
			実績値	32.8	32.7	33.3	32.4			
289	市内共通ポイントカードの加盟店舗数	93	目標値	95	100	105	110	115	115	店
			実績値	88	88	86	82			
290	魚沼市景気対策特別支援資金の新規融資額	33,120	目標値	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	千円/年
			実績値	119,300	74,650	108,980	142,600			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

商業においては、行政ポイント事業により、地元商店における消費喚起が図られました。また、製造業においては、産学官連携の取組の推進、魚沼ものづくり振興協議会への支援を通じ、オープンファクトリーの実施など企業の主体的な取組が定着してきており、市内企業の連携が強化につながっています。

人材確保・育成に関する各種支援制度により、従業員のキャリアアップ、仕事へのモチベーションの向上や職場定着が図られ、企業活動の基盤強化につながりました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評 価	評 価 の 理 由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し
課 題 及び 今後の 方向性	商業においては、大手スーパーやインターネットを利用する住民が多いことから、地元商業者の魅力向上や小規模店舗における消費喚起が課題であるほか、企業における人材不足が深刻化する中、労働生産性の向上や、担い手となる人財の確保と育成が課題です。 日々変化する世情の中において、現行制度を継続しつつも、国県等の制度にも注視するとともに各企業や市内商工団体からニーズの聞き取りを行い、官民が連携した新たな取組を今後検討していく必要があります。 特に、商店街の賑わい創出に向けた施策については、強化していく必要があります。		

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評 価	評 価 の 理 由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し
課 題 及び 今後の 方向性	一次評価のとおり。		

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 系	4 質の高い教育を みんなに	8 働きがいも 経済成長も	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に 具体的な対策を	15 陸の豊かさも 守ろう
-----------------------	-------------------	------------------	-------------------	---------------------	------------------

1. 基本情報

施策分野	産業	評価 担当課	部課名	産業経済部 観光課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり	担当課長名		
主要施策	3項 商工観光業の競争力強化	関係課	生涯学習課	企画政策課
施策名	2号 地域資源を最大限に活かした観光の振興			

2. 施策目的（目指すすがた）

尾瀬・奥只見をはじめとした魚沼の自然を活かした体験型観光や外国人観光客などの誘客促進に向けた体制整備、友好都市との交流、来訪者をおもてなしする人財の育成などを推進し、地域資源を最大限に活かした観光をめざして観光の振興を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目 担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
301	○	誘客宣伝事業	93,733	125,952	65,834	83,806	77,695		高い	B
		7 1 3 観光課								
	事業の 取組内容	魚沼市観光協会と連携し、本市の観光資源を活用した誘客宣伝活動を行う。								
302	○	体験型観光推進事業	20,522	21,501	17,955	17,992	18,563		高い	B
		7 1 3 観光課								
	事業の 取組内容	魚沼の自然や農林業を活用した体験型観光の誘客を図る。								
457		エコ・ミュージアム教育旅行受入事業	0	0	0	—	—			
		10 4 5 生涯学習課								
	事業の 取組内容	首都圏からの学校団体による教育旅行の受入や保育園児やシルバー世代等の幅広い年齢層へのプログラム展開により、地域の活性化を図る。								
522	○	インターチェンジ名称変更事業	0	1,626	2,388	306,294	2,434		高い	A
		2 1 6 企画政策課								
	事業の 取組内容	交流人口の拡大、産業振興、利便性の向上及び市民の一体感の醸成のため、インターチェンジの名称変更に取り組む								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	観光客の入込数	1,645,763 (R1実績)	目標値	1,650,000	1,675,000	1,700,000	1,725,000	1,750,000	1,750,000	人／年
	新潟県観光動態調査に基づく暦年(1月～12月)の観光客数		実績値	1,174,284	1,551,384	1,690,518	1,620,546			
			達成率	71.1%	92.6%	99.4%	93.9%	%		
2	魚沼自然教室の参加者数	9,388 (R1実績)	目標値	9,800	10,100	10,400	10,800	11,000	11,000	人／年
	主に首都圏から観光協会がアテンドした体験学習の受入人数		実績値	7,092	12,081	9,076	8,852			
			達成率	72.3%	119.6%	87.3%	82.0%	%		
3	観光ガイド利用者数	2,026 (R1実績)	目標値	2,800	2,900	3,000	3,100	3,200	3,200	人／年
	奥只見ネイチャーガイド		実績値	1,611	2,199	2,482	2,428			
	を利用した観光客数		達成率	57.5%	75.8%	82.7%	78.3%	%		
4	宿泊者数	176,612 (R1実績)	目標値	145,000	158,250	171,500	184,750	198,000	198,000	人／年
	新潟県観光動態調査に基づく暦年(1月～12月)の宿泊数		実績値	108,424	175,513	176,414	182,978			
			達成率	74.7%	110.9%	102.9%	99.0%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
	指標の説明									
302	体験型観光の受入延べ人泊数 首都圏友好都市を中心とする体験受入	0	目標値	24,800	25,400	26,000	26,600	27,200	27,200	人泊数
			実績値	9,671	26,963	20,210	19,811			
457	事業参加者数	471	目標値	2400	2400	2400	-	-	-	人
			実績値	759	1,146	359				
457	うち県内団体人数	287	目標値	1,200	1,200	1,200	-	-	-	人
			実績値	610	1,043	105				
457	うち県外団体人数	184	目標値	1,200	1,200	1,200	-	-	-	人
			実績値	149	103	198				
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

市制施行20周年と魚沼IC名称変更に合わせて首都圏を中心に各種シティープロモーションを展開し、観光地や地域産品など広く本市のPRに取組ました。また、本市ならではの体験型観光メニューとして提供する田植え・稲刈り体験などには多くの市民や団体が指導役として関わっており、人材育成も含め、すそ野の広い観光振興に貢献しました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		本市の状況としては、県内在住で日帰りの観光客も多く、地域経済への波及効果が十分とはいえません。県外からの観光客を増やす取組を進め、市内での周遊を促すことにより滞在時間を伸ばしていくとともに、リピート志向の観光客をターゲットに据えて誘客を展開し、市内における観光消費額を増加させる取組を進めます。 また、旅行者数、旅行消費額ともに過去最高を記録している訪日外国人旅行者の誘客に向けた受入態勢の整備へ支援を行っていく必要があります。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の 方向性		一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G S	8 働きがいも 経済成長も
------------------	---------------------

1. 基本情報

施策分野	産業	評価担当課	部課名	産業経済部 商工課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり	担当課長名		
主要施策	4項 雇用機会の拡充と地域の担い手の確保	関係課		
施策名	1号 起業の促進			

2. 施策目的（目指すすがた）

起業や新分野進出にチャレンジしやすい環境を整備するため、相談窓口の充実に努めるとともに、国県等の支援制度についても積極的に情報提供や活用支援を行い、商工会や金融機関等と連携しながら、起業の支援に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
295	○	新規起業・事業承継支援事業									
		7 1 2	商工課	2,280	2,486	745	3,555	5,933		高い	B
		事業の取組内容	新規起業から事業承継まで一貫して事業者の持続可能な経済活動を支援し、新規起業、事業承継セミナー等の実施、補助金の交付を行う。								
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	新規起業支援事業による 起業件数	22 (R1実績)	目標値	27	32	38	44	50	50	件
			実績値	27	31	31	39			
	H25からの累計		達成率	100.0%	96.9%	81.6%	88.6%	%		
2	新規起業支援事業による 就業者数	40 (R1実績)	目標値	52	64	76	88	100	100	人
			実績値	45	49	54	69			
	H25からの累計		達成率	86.5%	76.6%	71.1%	78.4%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
295	補助金の交付を受けて当 年度に新規起業した件数	1	目標値	5	5	5	5	5	5	件/年
			実績値	4	4	0	8			
295	起業による就業者数	-	目標値	10	20	30	40	50	50	人
			実績値	4	8	13	28			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

事業計画の作成支援や、補助金制度を通じた起業促進により、8件の新規起業が実現しました。中心市街地に新しい店舗が生まれたことで、地域の活性化が進むとともに、今後更なる起業の促進が期待されます。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

3. 起業に対する評価（起業計画・計画）					
評価項目	評価の観点	評 価	評 価 の 理 由		
施策成果の達成度	・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	創業塾や個別相談会を開催したほか、市内商工会と連携した支援を行うことで、新規起業につながっていることから判断しました。	
貢献度	・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	指標は達成していませんが、市内商工会と連携しながら、支援対象者を創業塾や個別相談に結び付け、新規起業を考えている方に対する創業計画の作成を支援し、起業につなげることができていることから判断しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課題及び今後の方向性	新規起業に際して、商工会と行政が連携することで一定の支援ができているものの、個人事業主による起業が多く、雇用を生み出すような起業案件が少ないことから、新たな支援策の創設などにより、今までにないビジネスモデルを創出するベンチャー、スタートアップの起業を生み出していくことが課題です。 施策そのものは継続しますが、その効果を高めるために、起業後のフォローアップを含む創業支援体制の強化や、金融機関との連携を検討する必要があります。 また、新規起業を促すためには、創業セミナーなどの開催による、起業家マインドの醸成も必要と考えます。				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由		
施策成果の達成度		・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	着実に実績を伸ばしているが、指標に到達していないことから「やや高い」と評価しました。	
貢献度		・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。				改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 S	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	8 働きがいも 経済成長も	17 パートナリシップで 目標を達成しよう
-----------------------	-------------------	---------------------	------------------	--------------------------

1. 基本情報

施策分野	産業	評価 担当課	部課名	産業経済部 商工課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり	担当課長名		
主要施策	4項 雇用機会の拡充と地域の担い手の確保	関係課		
施策名	2号 定住人口確保のための取組の強化			

2. 施策目的（目指すすがた）

定住人口を増やすためには、雇用の場の確保と市内企業の周知が重要です。事業者への各種支援策の拡充に努めるとともに、市内への就職希望者に対して、市が主催する就職相談会等の開催や、ハローワークとの連携による職業紹介の取組をすすめることにより、定住人口の確保に努めます。また、次世代を担う若者の本市への定着に向け、市内小中高校及び企業等と連携しキャリア教育の取組をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
233	○	雇用対策事業		61,103	66,086	68,274	73,194	78,060		高い	B
		5 1 1	商工課								
		事業の 取組内容		就職活動等を行う新規学卒者及びU・I ターン者等に対する支援や中高生に対するキャリア教育等を実施する。							
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
	指標の説明									
1	市企業ガイドブック掲載企業 (57社)で新卒・中途採用が あった企業数	38 (R1実績)	目標値	57	57	57	57	57	57	社
			実績値	43	44	44	38			
			達成率	75.4%	77.2%	77.2%	66.6%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
233	企業ガイダンス参加企業数	0	目標値	20	20	20	20	20	20	社
			実績値	32	21	30	25			
233	企業ガイダンス延べ参加者数	0	目標値	40	40	40	40	40	40	人
			実績値	82	29	36	47			
233	ふるさと定住就職奨励金、ふるさと定住促進就職者家賃補助金申請数	37	目標値	50	50	50	50	50	50	人
			実績値	48	52	60	72			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

ふるさと定住就職奨励金やふるさと定住促進就職者家賃補助金などの補助制度により、市内で就労するメリットを提供することで、労働力の確保と就労者の職場定着に貢献することができました。

また、市内の小中学生や高校生などに向けたキャリア教育の取組を通じ、ものづくりの楽しさや市内企業の魅力を感じてもらうことで、将来の選択肢として市内企業への就職を考える機会を提供することができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

3. 施策に対する評価（3課の評価）					
評価項目		評価の観点		評価	評価の理由
施策成果の達成度	・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	各種支援制度や、将来の人材確保に向けた取組を総合的かつ継続的に行ってきた結果、補助金の申請者数が目標値を上回っていることから「高い」と判断しました。	
貢献度	・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	目標達成のための施策は構成事業の中に複数存在し、それらが企業側や求職者側の双方にインセンティブを与えることで、定住人口確保の要因となっていることから、貢献度は「高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し		
課 題 及び 今後の方向性	人口減少が進む中、市内企業では、今後更なる人手不足が懸念されています。また、若者の市外流出が続いており、子ども世代だけではなく、その保護者に対しても、地元企業を知る機会を提供するなど、長期的な視点に立った継続的な取組が必要です。 このため、従来の制度を継続しつつ、魚沼市の魅力を高める取組や、暮らしやすいまちづくりを強化するなど、若者のU・Iターンを促すための効果的な施策を考えていく必要があります。				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

施策に対する評価（行政評価会議・三次評価）					
評価項目	評価の観点	評 価	評 価 の 理 由		
施策成果の達成度	・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	奨励金や補助金の申請者数は着実に増加しているが、指標を達成していないことから「やや高い」と評価しました。	
貢献度	・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の 方向性	一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G 連 結	8 働きがいも 経済成長も	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
------	----	----	--------	-----------------------	---------------------	-----------------------------

1. 基本情報

施策分野	産業	評価 担当 課	部課名	産業経済部 商工課
基本目標	4節 豊かな地域資源を活かした力強い産業を創るまちづくり	担当課長名		
主要施策	4項 雇用機会の拡充と地域の担い手の確保	関係 課		
施策名	3号 戦略的な人財確保・企業誘致の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

本市の豊かで良質な水など、地域資源を活用した産業おこしをすすめます。あらゆるネットワークを活用し、重点的に企業誘致活動を行っている食品・健康・医療・環境ビジネス分野での広がりをめざして、地域の特性を活かすことのできる優良企業の立地に向けて、県や関係団体と連携しながら戦略的な企業誘致活動を展開します。

また、地域産業の人財確保に向けて、新卒者の確保とU・I・Jターン者の増加に向けた取組の強化を移住定住施策と一体となって取り組み、働きやすい職場環境等、企業の魅力向上の取組をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名			R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課		決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
234	○	企業人材確保・育成支援事業			9,174	15,937	24,427	28,956	35,330		やや高い	A
		5	1	1								
		事業の 取組内容		企業の人材確保を支援するとともに、専門的な技術や知識を持った人材育成と能力開発の取組を行う。								
291	○	企業誘致対策事業			45,662	77,571	42,222	30,654	34,576		やや高い	C
		7	1	2								
		事業の 取組内容		立地促進補助金の交付、企業誘致推進員の配置を行う。								
		事業の 取組内容										
		事業の 取組内容										

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	水の郷工場団地及び旧湯之谷 庁舎立地企業の就業者数	209 (R1実績)	目標値	320	350	390	410	440	440	人
			実績値	288	324	391	409			
			達成率	90.0%	92.6%	100.2%	99.7%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
234	インターンシップ実施新規企業数	1	目標値	2	2	2	2	2	2	社
			実績値	2	1	2	0			
234	新入社員等合同研修会新規参加企業数	—	目標値	2	2	2	2	2	2	社
			実績値	8	6	3	2			
234	中小企業等人材育成支援活用企業数	7	目標値	8	8	8	8	8	8	社
			実績値	7	7	12	13			
291	水の郷工業団地未分譲区画1件の売却	0	目標値	1	1	1	1	1	1	件
			実績値	0	0	0	0			
291	水の郷工業団地以外の誘致企業件数	0	目標値	1	1	1	1	1	5	件
			実績値	0	0	0	0			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

企業向けの補助制度により、事業者の求人活動、インターンシップ等の受入れについて、企業が取り組みやすい環境を提供できたほか、労働環境や企業価値の向上に貢献できました。

合同研修会の実施や研修費の補助により、従業員の能力向上を支援するとともに、仕事へのやりがいやモチベーションの向上を促し、職場定着の一助となっています。

近年誘致した企業において、新たな雇用が創出されました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	高い	ほぼ目標通りとなったことから「高い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	雇用機会の拡充は進んでいると考えられることから「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の 方向性		事業者の人材不足が深刻化している中、また、求職者にとっては売り手市場と言われる現状において、企業は採用だけでなく人材の定着を図るため、労働環境の向上や福利厚生の実施など企業価値をより高めていく必要があります。 市内事業者を就職の場として選んでもらえるように、魅力ある職場環境づくりに関する支援を継続していく必要があります。 企業誘致は、社会情勢の変化により企業の立地ニーズも変化しており、それらの変化に合わせた柔軟な対応が求められています。 また、求職者のニーズに沿った雇用の場の創出も必要となっており、重点的に誘致対象とする企業について、これらのニーズを反映させる必要があります。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点		評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い 高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し		
課 題 及び 今後の 方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G 連 S	4 質の高い教育を みんなに	13 気候変動に 関係する課題を 持続可能な開発を 実現する	15 陸の豊かさも 守ろう
------	----	----	--------	-----------------------	-------------------	---	------------------

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり	担当課長名		
主要施策	1項 生涯学習続ける仕組みの充実	関係 課		
施策名	1号 誰でも、いつでも学べ、学習成果を生かす仕組みの充実			

2. 施策目的（目指すすがた）

子どもから高齢者までの社会参加や生涯学習を支援し、学習機会の充実を図るため、多様な交流の促進や発表の機会を確保するとともに優れた地域資源の活用を図り、地域課題解決に貢献する人材の発掘を推進します。また、生涯学習関係団体との事業連携を推進するとともに、インターネットなどを活用した効果的な学習情報の提供に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
434		生涯学習推進事業		316	730	719	932	11,176		やや低い	C
		10 4 1 生涯学習課									
		事業の 取組内容	生涯学習推進会議の運営、生涯学習団体の支援、人権教育講座等を実施する。								
435		うおぬま市民大学事業		251	408	469	1,180	—		やや高い	A
		10 4 4 生涯学習課									
		事業の 取組内容	年2回の大規模講演会を開催するほか、地区公民館とも連携し、幅広い学習機会の提供を図る。R7年度から生涯学習推進事業に統合。								
455		宮終二記念館運営事業		15,436	15,442	16,537	16,602	19,688		やや高い	B
		10 4 5 生涯学習課									
		事業の 取組内容	魚沼が生んだ歌壇を代表する歌人宮終二に関する資料を収集保管及び展示公開し、その活用を図る。								
456		エコ・ミュージアム運営事業		6,047	5,993	6,804	7,514	8,341		やや高い	C
		10 4 5 生涯学習課									
		事業の 取組内容	県立浅草山麓エコ・ミュージアムの管理運営を行う。								
457		エコ・ミュージアム教育旅行受入事業		0	0	0	—	—			
		10 4 5 生涯学習課									
		事業の 取組内容	首都圏からの学校団体による教育旅行の受入や保育園児やシルバー世代等の幅広い年齢層へのプログラム展開により、地域の活性化を図る。								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	公民館事業、図書館事業 の講座の参加者数	11,673 (R1実績)	目標値	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	人／年
			実績値	2,411	5,247	3,882	2,239			
			達成率	16.0%	34.9%	25.88%	14.93%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
434	生涯学習体験ひろば参加者数	0	目標値	230	230	230	230	230	230	人
			実績値	125	100	75	63			
434	生涯学習連絡協議会登録団体数	59	目標値	60	60	60	60	60	60	団体
			実績値	54	53	49	47			
435	市民大学参加者数	96	目標値	400	400	400	400	400	400	人
			実績値	129	206	274	444			
455	宮柊二記念館来館者数	348	目標値	750	750	750	750	750	750	人
			実績値	427	481	620	680			
455	全国短歌大会応募作品数	10,533	目標値	12,000	13,000	13,500	14,000	14,500	15,000	首
			実績値	12,539	12,752	12,391	10,410			
456	エコミュージアム一般入園者数	7,377	目標値	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	人
			実績値	9,333	8,382	6,514	6,938			
456	エコミュージアム主催事業参加者数	1,758	目標値	2,000	2,000	2,000	2,200	2,400	2,400	人
			実績値	2,276	2,923	2,149	4,287			
457	エコミュージアム教育旅行受入事業参加者数	471	目標値	2,400	2,400	2,400	0	0	0	人
			実績値	759	1,146	359	0			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

生涯学習体験ひろばの開催によるステージ発表や作品紹介、サークル体験の実施や活動を広報誌の発行により、生涯学習団体の成果発表と情報発信に貢献しました。

宮柊二記念館では、広報・事業周知に力を入れ、学習機会の充実と来館者数の増加につなげることができました。

魚沼市市民大学では、市民の学びのきっかけと学習意欲向上を目的に、ありがとう作文事業と連携実施し、より多くの方への学習機会の提供につなげることができました。

エコ・ミュージアム運営事業では、市内外の来場者に魚沼市の歴史や自然について学ぶ機会を提供することができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

施策に対する評価（自主練の評価）（長評価）						
評価項目		評価の観点		評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや低い	成果指標の達成状況および各事務事業の実績により「やや低い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	各事業を通じて生涯学習の機会を確保するとともに取組の成果を広報誌で周知したり、講座の開催状況を動画掲載するなどして効果的な学習情報の提供を行っているため、「やや高い」としました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。				改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		生涯学習関連事業は幅広い分野に関わるため、あらゆる分野の関係団体等との連携や協働を促進していく必要があります。会員の高齢化等による会員減少で活動できなくなっている生涯学習団体も増えてきていることが課題です。 今後の方向性としては、情報発信に力を入れ、地域資源を生かした生涯学習の普及促進や子どもから高齢者までを対象とした学習機会提供に努めます。				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

施策に対する一次評価（行政評価）と二次評価（市民評価）						
評価項目		評価の観点		評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや低い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	○	
課題及び今後の方向性		一次評価に加え、参加者が増加する取組を検討すること。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 系	 4 質の高い教育を みんなに
-----------------------	--

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり	担当課長名		
主要施策	1項 生涯学習続ける仕組みの充実	関係課		
施策名	2号 生涯学習推進体制の充実			

2. 施策目的（目指すすがた）

生涯学習の普及促進と、図書館や公民館事業の充実を目的に、市民主体の活動や保育園等と学校を支援し、行政各分野の連携と様々な生涯学習事業の活用など市民ニーズに合わせた生涯学習推進体制の充実を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
434		生涯学習推進事業		316	730	719	932	11,176		やや高い	C
		10 4 1	生涯学習課								
		事業の 取組内容		生涯学習推進会議の運営、生涯学習団体の支援、人権教育講座等を実施する							
435		うおぬま市民大学事業		251	408	469	1,180	－		やや高い	A
		10 4 4	生涯学習課								
		事業の 取組内容		年2回の大規模講演会を開催するほか、地区公民館とも連携し、幅広い学習機会の提供を図る							
436		学校・家庭・地域の連携協働事業		2,352	2,545	2,714	2,678	10,693		高い	B
		10 4 1	生涯学習課								
		事業の 取組内容		青少年が地域社会の中で健全に成長するために、うおぬまわくわくキッズ事業等を行う。							
444		地区公民館講座教室事業		654	1,302	1,600	1,233	561		やや高い	C
		10 4 2	生涯学習課								
		事業の 取組内容		住民の教養向上、生活文化の振興のため、各種講座教室、講演会等を開催する							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	公民館事業、図書館事業 の講座の数	142 (R1実績)	目標値	150	150	150	150	150	150	件／年
			実績値	150	196	166	140			
			達成率	100.0%	130.6%	110.7%	93.3%	%		
2	文化協会、生涯学習連絡 協議会の加盟団体数	158 (R1実績)	目標値	158	158	158	158	158	158	団体
			実績値	141	128	113	107			
			達成率	89.2%	81.0%	71.5%	67.7%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
434	生涯学習体験ひろば参加 者数	0	目標値	230	230	230	230	230	230	人
			実績値	125	100	75	63			
435	うおぬま市民大学参加者 数	96	目標値	400	400	400	400	400	400	人
			実績値	129	206	274	444			
435	うおぬま市民大学受講者 の満足度	100	目標値	90	90	90	90	90	90	%
			実績値	98	98	96	96			
436	家庭教育事業の講座・セ ミナー等実施数	13	目標値	29	29	29	29	29	29	回
			実績値	18	16	16	24			
436	ありがとう作文応募人数	1,021	目標値	998	976	955	928	1,000	1,000	人
			実績値	1,030	869	858	792			
436	子ども育み講座（P T A・子 育て支援団体連携）参加者数	290	目標値	606	606	606	606	606	606	人
			実績値	576	853	853	899			
436	子ども地域活動推進事業 参加者数	85	目標値	90	90	90	90	90	90	人
			実績値	90	95	115	94			
436	地域学校協働活動へのボ ランティア延べ参加者数	2,920	目標値	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900	人
			実績値	3,746	3,775	3,011	4,732			
444	地区公民館講座教室の参 加率	72	目標値	80	85	90	95	100	100	%
			実績値	61	76	71	53			
444	地区公民館講座教室参加 者の満足度	88	目標値	90	92	95	98	100	100	%
			実績値	94	63	63	74			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

生涯学習の普及促進のため、生涯学習団体の活動発表や作品紹介、公民館講座やうおぬま市民大学の開催、また、学校・家庭・地域の連携協働による地域活動などを行い、市民の学びの場及び学んだことの活用を提供することができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

3. 施策に対する評価（各事業の評価）						
評価項目		評価の観点		評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや低い	生涯学習関連団体等の数や講座の数が減少傾向にあることから「やや低い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	うおぬま市民大学参加者の満足度について、目標を上回っていることや、ボランティアの参加者数が増加していることから、「やや高い」としました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し		
課題及び今後の方向性		会員の高齢化等により、活動できなくなっている生涯学習団体もあるため、継続できるための支援等が課題です。生涯学習の普及推進のために、各種生涯学習団体が持続可能な団体となるために必要な施策の検討を行います。また、引き続き学びの場の提供を関係団体と連携して進めます。				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや低い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	○
課 題 及び 今後の方向性		一次評価に加え、時代のニーズに対応した推進体制を検討すること。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G 連 s	4 質の高い教育を みんなに
------	----	----	--------	-----------------------	----------------------

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	1項 生涯学習続ける仕組みの充実	関 係 課		
施策名	3号 効率的・効果的な施設運営			

2. 施策目的（目指すすがた）

社会教育施設の計画的な再編及び連携強化を図るとともに、運営体制の見直しを行い、図書館・公民館等の機能を整備し、効率的な利用と利用しやすい施設運営に努めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価								
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度							
446		図書館管理運営事業		41,084	45,629	44,713	57,258	48,134		やや高い	C							
		10 4 3	生涯学習課															
		事業の 取組内容		図書館及び公民館図書室の管理運営を行う。														
455		宮柊二記念館運営事業		15,436	15,442	16,537	16,602	19,688		やや高い	B							
		10 4 5	生涯学習課															
		事業の 取組内容		魚沼が生んだ歌壇を代表する歌人宮柊二に関する資料を収集保管及び展示公開し、その活用を図る。														
523	○	生涯学習センター建設事業		280	13,749	401,840	2,344,094	1,700		高い	A							
		10 4 5	生涯学習課															
		事業の 取組内容		旧小出庁舎及び小出公民館の解体後に、図書館と公民館機能を併せもつ複合施設を建設する。														
		事業の 取組内容																

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	社会教育・体育施設の利 用者数	356,034 (R1実績)	目標値	360,000	400,000	400,000	400,000	400,000	400,000	人／ 年
			実績値	298,201	303,102	320,888	331,062			
			達成率	82.8%	75.7%	80.2%	82.8%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
446	年間利用者数	42,470	目標値	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	人
			実績値	43,534	41,790	40,667	36,102			
446	図書館行事延べ参加者数	533	目標値	630	630	630	630	630	630	人
			実績値	617	546	420	436			
455	宮柊二記念館来館者数	348	目標値	750	750	750	750	750	750	人
			実績値	427	481	620	680			
455	全国短歌大会応募作品数	10,533	目標値	12,000	13,000	13,500	14,000	14,500	15,000	首
			実績値	12,539	12,752	12,391	10,410			
523	建設工事等の進捗率	0	目標値		15	50	100		100	%
			実績値		15	50	100			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

湯之谷世代間交流施設屋上防水層改修工事をはじめとする施設改修により、施設の長寿命化が図られるとともに、市民が継続して安全に利用できる施設環境が整備されました。

また、生涯学習センター建設工事が完了し、新たな生涯学習施設や図書館が整備されたことにより、様々な市民活動や余暇の充実に期待が高まっています。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや低い	施設改修等の整備は計画とおりに進められたが、利用者数が目標に届かなかったため、「やや低い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	施設の利用者数は昨年度よりは増えたものの目標に届きませんでしたが、予定した施設整備ができ、利用しやすい施設運営に近づけることができたため、「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		社会教育施設の計画的な再編及び連携強化を図るとともに、運営体制の見直しを行い、図書館・公民館等の機能を効率的に整備していく必要があります。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

1. 施策に対する評価（行政計画会議：三次計画）						
評価項目		評価の観点		評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや低い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	○
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。				改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価に加え、生涯学習センターについては、多くの市民が利用できるような施設運営を検討すること。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 S	1 貧困をなくそう	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	10 人や国の不平等をなくそう	17 パートナリシップで目標を達成しよう
-----------------------	-----------	----------------	---------------	-----------------	-----------------	----------------------

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価担当課	部課名	教育委員会事務局 子ども課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり	担当課長名		
主要施策	2項 乳幼児期の教育の充実	関係課		
施策名	1号 明るくのびのびとした子育て			

2. 施策目的（目指すすがた）

家庭・地域・保育園等が一体となり、社会全体で子育てを支えていく機運を醸成し、明るくのびのびとした子育てができるよう支援し、思いやりや挑戦の心を育むとともに、規則正しい生活のリズム、基本的な生活習慣の獲得をめざして乳幼児期の教育の充実を図ります。
また、人や自然と関わり、遊びを通して多くの体験から、好奇心や社会性のある子供に育つよう支援します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業No.	重点事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
169		地域療育支援事業									
		3 2 6	子ども課	8,781	9,466	9,393	11,436	12,927		やや高い	B
		事業の取組内容	発達障害またはその疑いがある幼児のため、療育教室や園訪問等を行う。								
170	○	子育て支援センター管理運営事業									
		3 2 6	子ども課	7,416	8,958	9,043	9,323	9,245		やや高い	B
		事業の取組内容	就園前の子どもと親の交流の場の提供と子育て相談、育児情報の提供を行う。								
171	○	地域子育て活動支援事業									
		3 2 6	子ども課	4,147	2,502	2,801	3,604	4,240		やや高い	B
		事業の取組内容	ファミリー・サポート・センター事業の実施、子育てサークル支援、子育てボランティア育成等を行う。								
514	○	子育ての駅運営事業									
		2 1 6	子ども課	15,368	23,671	28,746	29,664	28,500		高い	B
		事業の取組内容	子育ての駅かたっくりの管理運営を行う。								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	生活習慣がきちんと整っている子どもの率 保育園等在園児の保護者へのアンケート調査	87.8 (R1調査)	目標値	90	90	95	95	95	95	%
			実績値	87.9	92.0	89.0	91.3			
			達成率	97.6%	102.2%	93.7%	96.10%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
169	就園前（つくしプレイ） 教室参加者	274	目標値 実績値	280 334	280 355	280 315	280 456	280	280	人／年
169	就学前（ステップアップ） 教室	336	目標値 実績値	288 320	288 282	288 299	288 232	288	288	人／年
170	利用者数	11,064	目標値 実績値	12,000 11,096	11,500 10,310	11,000 8,767	10,500 9,740	10,000	10,000	人／年
170	うち土曜広場開放利用組 数	8	目標値 実績値	10 8	10 8	10 8	10 9	10	10	組／年
171	ファミリー・サポート・ センター会員数	41	目標値 実績値	40 67	50 94	60 112	70 93	80	80	人
171	ファミリー・サポート・ センター利用回数	23	目標値 実績値	30 85	40 120	50 144	60 169	70	70	回
171	子育てサポーターの人数	9	目標値 実績値	10 9	12 7	14 7	16 8	18	18	人
514	子育ての駅「かたっく り」市内利用者数	15,057	目標値 実績値	31,500 15,410	31,500 17,186	31,500 20,075	31,500 18,952	31,500	31,500	人
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

子育ての駅かたっくりや子育て支援センターの施設開放、各保育園の園開放を通して、年齢の異なる子ども達で遊んだり、親子同士の交流が生まれてくるなど、明るくのびのびとした子育ての広がり貢献しています。

また、子育て支援センターで相談された場合や親子運動教室などのイベントを通して、正しい子育ての助言やファミリー・サポート制度の紹介をすることで、子育てに対する安心感を育み、育児疲れの解消や子育て世代のワーク・ライフ・バランスの充実に寄与しています。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	施策を構成する事業の担当課評価はおおむね「Ｂ（相当程度進展あり）」以上ですが、成果指標の達成率は大きく上がっていないことから「やや高い」としました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	本施策は、施設開放における子ども達の健全な育成と各種支援策における子育て世代への支援を行っており、乳幼児期の教育の充実に対しての貢献度は「やや高い」としました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		乳幼児期における家庭や地域、保育園等での対人での関わりは、その後の人間形成に大きな影響を与えます。そして、子育て世代が明るくのびのびとした家庭環境を作るためには、地域社会における子育てを支えようという機運の盛り上がりや子育て支援施設の積極的な利用が必要です。そのために施設や各種支援策を周知していくことや年齢が上がる中で切れ目のない支援策を届けることが課題です。 社会全体で子育てを支えていく機運を醸成しながら乳幼児期の充実を図っていくためには、構成事務事業以外の取組とも連携協調していくとともに、地域における人材確保のための研修や養成講座等への取組を更に進めてまいります。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点		評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し		
課 題 及び 今後の方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G S	4 質の高い教育を みんなに	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
------------------	----------------------	-----------------------------

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当課	部課名	教育委員会事務局 子ども課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり	担当課長名		
主要施策	2項 乳幼児期の教育の充実	関係課	生涯学習課	
施策名	2号 乳幼児教育の仕組みづくり			

2. 施策目的（目指すすがた）

乳幼児期の相談支援、子育てサークル支援、親子の交流の場の提供などを行い、子どもの個々の発達に即した支援に努めます。
保育園等と学校が連携し、情報共有することによって、切れ目のない支援と保育・教育の質の向上を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
170	○	子育て支援センター管理運営事業									
		3 2 6	子ども課	7,416	8,958	9,043	9,223	9,245		やや高い	B
		事業の 取組内容	就園前の子どもと親の交流の場の提供と子育て相談、育児情報の提供を行う。								
171	○	地域子育て活動支援事業									
		3 2 6	子ども課	4,147	2,502	2,801	3,604	4,240		やや高い	B
		事業の 取組内容	ファミリー・サポート・センター事業の実施、子育てサークル支援、子育てボランティア育成等を行う。								
436		学校・家庭・地域の連携協働事業									
		10 4 1	生涯学習課	2,352	2,545	2,714	2,678	10,693		やや高い	B
		事業の 取組内容	学校・家庭・地域が連携・協働し、地域の将来を担う人財の育成を図るとともに、家庭教育力の向上とその支援体制を確立する。								
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	子育て相談窓口利用者数 子育て世代包括支援センター や子育て支援センター及び各 保育園等の子育て相談窓口利 用者数	137 (R1実績)	目標値	160	180	200	200	200	200	人 ／ 年
			実績値	311	309	276	286			
			達成率	194.3%	171.6%	138%	143%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
170	利用者数	11,064	目標値	12,000	11,500	11,000	10,500	10,000	10,000	人／年
			実績値	11,096	10,310	8,767	9,740			
170	うち土曜広場開放利用組 数	8	目標値	10	10	10	10	10	10	組／年
			実績値	8	8	8	9			
171	ファミリー・サポート・ センター会員数	41	目標値	40	50	60	70	80	80	人
			実績値	67	94	112	93			
171	ファミリー・サポート・ センター利用回数	23	目標値	30	40	50	60	70	70	回
			実績値	85	120	144	169			
171	子育てサポーターの人数	9	目標値	10	12	14	16	18	18	人
			実績値	9	7	7	8			
436	家庭教育事業の講座・セ ミナー等実施数	13	目標値	29	29	29	29	29	29	回
			実績値	18	16	16	24			
436	ありがとう作文応募人数	1,021	目標値	998	976	955	928	1,000	1,000	人
			実績値	1,030	869	858	792			
436	子ども育み講座（P T A・子 育て支援団体連携）参加者数	290	目標値	606	606	606	606	606	606	人
			実績値	576	853	853	899			
436	子ども地域活動推進事業 参加者数	85	目標値	90	90	90	90	90	90	人
			実績値	90	95	115	94			
436	地域学校協働活動へのボ ランティア延べ参加者数	2,920	目標値	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900	人
			実績値	3,746	3,775	3,011	4,732			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

子育て支援センター等の施設開放において、就園前の子どもと親同士の交流の場の提供や子育て相談、育児情報の提供を行いました。そして、子育て支援センターや保育園等の関係機関が情報共有を図ることで、療育教室を案内するなど個々の子どもの発達に即した支援につなげることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	施設開放等で就園前の子どもと親の交流の場の提供、子育て相談及び育児情報の提供等を行ったことで、子どもの個々の発達に即した支援がおおむねできたものと判断し、「やや高い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	子育て支援センターと子育て世代包括支援センター、各保育園が子育て相談情報交換会等を通じて情報共有を図り、個々の子ども達に即した支援につなげることができたことから「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		施設開放等により親子の交流の場や育児情報の提供を行いました。コロナ禍以降、子育てサークルによる活動が停止しており、サークルに対する支援の進め方等について再構築していくことが課題です。あわせて、ファミリー・サポート事業や療育教室等を支えていただく人材確保や育児に関する人材育成を地域で進めていくことが必要です。 「魚沼市架け橋プログラム」が施行され、幼・保・小の架け橋期における連携した支援が始まりました。今後、一人ひとりの多様性に配慮し、子ども達に寄り添った切れ目のない支援体制を成熟させていきます。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 系	1 貧困をなくそう	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	17 パートナシップで目標を達成しよう
-----------------------	-----------	----------------	---------------	-----------------	---------------------

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価担当課	部課名	教育委員会事務局 子ども課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり	担当課長名		
主要施策	2項 乳幼児期の教育の充実	関係課		
施策名	3号 子育て環境の整備			

2. 施策目的（目指すすがた）

保育園等と学校、放課後児童クラブの連携と地域との関わりを深め、情報共有することで切れ目のない支援と教育環境の充実を図ります。
また、各年代における子育てニーズの多様化や少子化などの社会情勢の変化に応じ、地域の子育て人財の育成と民間活力の導入による持続可能な子育て環境の整備をすすめます。
子育ての駅については、安心安全で、自由に利用できる子育て支援施設としての環境づくりをすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
142		児童福祉施設整備事業		9,735	88,928	121,093	108,899	115,599		高い	A
		3	2								
		事業の 取組内容		施設の老朽化及び少子化の進行等に対応するため、施設の再編を実施する							
166		放課後児童クラブ再編事業		11,000	114,524	—	—	—			
		3	2								
		事業の 取組内容		施設の老朽化及び少子化の進行等に対応するため、施設の再編を実施する							
514	○	子育ての駅運営事業		15,368	23,671	28,746	29,664	28,500		高い	B
		2	1								
		事業の 取組内容		子育ての駅かたつくりの管理運営							
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	子育て支援センターを利用している乳幼児の割合 年度末時点で市内6歳までの子どもに対するセンター登録者の割合	29 (R1実績)	目標値	30.0	32.0	35.0	38.0	40.0	40	%
			実績値	25.0	26.8	26.6	30.0			
			達成率	83.3%	83.7%	76.0%	78.94%	%		
2	子育ての駅「かたっくり」市内利用者数	28,539 (R1実績)	目標値	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	31,500	人／年
			実績値	15,410	17,186	20,075	18,952			
			達成率	48.9%	54.5%	63.7%	60.2%	%		
3	放課後児童クラブに満足している人の割合	95.4 (R1実績)	目標値	98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	98	%
			実績値	97.1	94.0	92.0	95.0			
			達成率	99.0%	95.9%	93.9%	96.9%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
142	長寿命化計画作成	1	目標値	1	0	0	0	0	1	計画
			実績値	1	0	0	0			
142	施設整備	0	目標値	0	1	1	1	1	4	施設
			実績値	0	1	1	1			
142	旧ひかり保育園解体	0	目標値	0	0	1/10	9/10	0	1	事業
			実績値	0	0	1/10	9/10			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

公立児童福祉施設において、機器の更新や老朽化した施設の改修工事等を行うことで、多面的な保育サービスの提供及び持続可能な子育て環境の整備につなげることができました。

子育ての駅については、令和5年度から指定管理制度を導入し民間のノウハウ等をいかした施設運営と質の高いサービスの提供に努め、市内外から多くの利用者があり安心安全で自由に利用できる子育て支援施設としての環境づくりをすすめることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	施設の再編に関する事業は計画どおりに進めることができました。指定管理制度の導入により、多種多様なイベントの開催や創意工夫などで利用者の満足度は高く利用者数もおおむね目標値に近いことから「やや高い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	施設整備は予定どおり進めることができました。また、各施設等の運営については、子育ての駅の指定管理制度による民間活力の導入成果が大きいことから、総合的判断として「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し		
課 題 及び 今後の方向性		少子化問題や子育てに関する多様な考え方、保育ニーズに応じた安心安全な施設環境と安定した保育サービスを提供するため、施設面において長期にわたり良好な状態で使用できるよう保育環境の整備を行っていくことが課題であることから、魚沼市公共施設再編整備計画及び魚沼市児童福祉施設長寿命化計画に基づき、施設の長寿命化の優先順位を検討しながら事業をすすめます。 保育園等と学校、放課後児童クラブの連絡会議等は引き続き開催し、途切れない支援のための情報共有を行っていきます。 子育ての駅については、施設の老朽化による不具合箇所が見られることから計画的な修繕を行います。また、指定管理者と連携を密にして、子育て支援・情報交流の場として、魅力ある事業の企画と安心安全に利用できるよう施設管理を行います。				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

施策に対する評価（付次計画表編：三次計画）						
評価項目		評価の観点		評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。				改善・見直し	
課 題 及び 今後の 方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 結	4 質の高い教育を みんなに	6 安全な水とトイレ を世界中に	15 陸の豊かさも 守ろう	17 パートナリシップで 目標を達成しよう
-----------------------	-------------------	---------------------	------------------	--------------------------

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当課	部課名	教育委員会事務局 学校教育課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり	担当課長名		
主要施策	3項 市民が参加する学校づくりの推進	関係課	健康増進課	農林整備課
施策名	1号 自然や文化を活用し生きる力を育む教育の推進		生涯学習課	

2. 施策目的（目指すすがた）

魚沼の自然や人的・文化的資源などの「ふるさと力」を活かし、家庭、地域、学校が目標や理念を分かち合い、協力し合って、感性豊かで、たくましい子どもを育てる教育環境の整備をすすめます。また、家庭教育、人権教育などの充実を図りながら、子どもたちの居心地の良い居場所づくりを行い、基礎学力の定着と体験活動を重視した教育の実践を推進します。なお、地球規模で考え行動するグローバル人財育成の取組もすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
268		林業振興事業		545	551	1,811	1,660	2,727		やや高い	B
		6 2 2 農林整備課									
		事業の 取組内容	森林保全の意識を醸成するとともに、林業振興に資する事業を実施する。								
274	○	森林体験・環境学習事業		321	675	—	—	—			
		6 2 2 農林整備課									
		事業の 取組内容	森林を活用した体験メニューやインストラクターの充実を図る。(R5に林業振興事業事業と統合)								
371		教育支援事業		113,638	130,717	130,520	165,707	196,588		やや高い	B
		10 1 3 学校教育課									
		事業の 取組内容	特別支援学校・学習補助等の配置や部活動補助、通級指導教室の運営等を行う。								
372		不登校・いじめ問題対策事業		19,519	19,550	19,765	29,737	35,570		やや高い	B
		10 1 3 学校教育課									
		事業の 取組内容	適応指導教室、別室登校支援、保護者等相談を実施し、教室への復帰を目指す。								
376	○	総合学習支援事業		4,437	4,690	4,486	5,308	7,112		やや高い	B
		10 1 3 学校教育課									
		事業の 取組内容	魚沼の自然環境や文化に直接触れる体験等により総合的な学習の時間を支援する。								
377	○	自然環境学習推進事業		2,774	4,441	5,478	6,118	6,663		高い	A
		10 1 3 学校教育課									
		事業の 取組内容	小学校5年生を対象に、尾瀬での自然環境学習を行う。								
379		学級づくり支援事業		4,256	4,659	4,485	3,142	3,046		やや高い	B
		10 1 3 学校教育課									
		事業の 取組内容	学力向上と不登校発生率低減を目指し、親和的な学級集団づくりを進める。								
382		ひきこもり対策支援事業		180	297	—	—	—			
		10 1 3 健康増進課									
		事業の 取組内容	実態調査を行い地域の実情を把握し、引きこもり対策全般についての調整を行う。(R5に心の健康づくり推進事業へ統合)								
185		心の健康づくり推進事業		—	—	1,089	796	1,238		やや高い	A
		4 1 1 健康増進課									
		事業の 取組内容	ひきこもりの状況に関する実態把握を行い、状況に応じて相談支援や本人、家族が不安を解消できるようひきこもり支援全般の調整を図る。(R5にひきこもり対策支援事業と統合)								
436		学校・家庭・地域の連携協働事業		2,352	2,545	2,714	2,678	10,693		高い	B
		10 4 1 生涯学習課									
		事業の 取組内容	学校・家庭・地域が連携・協働し、地域の将来を担う人財の育成を図るとともに、家庭教育力の向上とその支援体制を確立する。								
482		学校給食支援事業		3,769	3,878	3,498	2,860	2,603		やや高い	A
		10 6 1 学校教育課									
		事業の 取組内容	小中学校の全児童・生徒に魚沼産コシヒカリの給食を提供する。								

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
516	○	コミュニティスクール推進事業		2, 220	4, 150	4, 616	4, 651	4, 693		高い	A
		10	1 3 学校教育課								
		事業の 取組内容	学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める								
517	○	グローバル人材育成事業		21, 840	21, 625	22, 623	26, 379	27, 843		高い	B
		10	1 3 学校教育課								
		事業の 取組内容	国際社会で通用する能力やグローバルな視点・経験をもって、地域の活性化及び持続的発展に貢献する人材の育成を行う								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	学力テスト結果 (NRT偏差値)	小学校50. 8	目標値	小52. 0 中52. 0	小52. 0 中52. 0	小52. 0 中52. 0	小52. 0 中52. 0	小52. 0 中52. 0	小学校 52. 0 中学校 52. 0	-
		中学校50. 5 (R1実績)	実績値	小50. 2 中50. 2	小50. 0 中49. 6	小49. 0 中48. 4	小48. 5 中47. 3			
			達成率	小96. 5% 中96. 5%	小96. 1% 中95. 3%	小94. 2% 中93. 1%	小93. 3% 中91. 0%	%		
2	学級満足度	小学校67. 6	目標値	小75 中70	小75 中70	小75 中70	小75 中70	小75 中70	小学校 75 中学校 70	%
		中学校67. 7 (R1実績)	実績値	小63. 8 中75	小70. 2 中88. 9	小66. 2 中68. 5	小61. 7 中63. 6			
			達成率	小85. 0% 中107. 1%	小93. 6% 中127. 0%	小88. 3% 中97. 9%	小81. 3% 中90. 9%	%		
3	不登校率	小学校0. 47	目標値	小1. 15 中4. 78	小1. 58 中5. 75	小2. 05 中6. 59	小2. 05 中6. 59	小2. 05 中6. 59	県平均 値以下	%
		中学校2. 01 (R1実績)	実績値	小0. 28 中4. 86	小1. 08 中5. 95	小1. 47 中6. 66	小1. 93 中7. 59			
			達成率	小175. 6% 中 98. 3%	小146. 3% 中 96. 6%	小139. 5% 中98. 9%	小106. 2% 中86. 8	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
268	市民向け森林整備啓発研修の実施	0	目標値	2	2	2	2	2	2	回
			実績値	0	0	2	3			
268	森林体験等参加者数	11	目標値	15	15	15	15	15	15	人
			実績値	7	12	7	8			
268	新規インストラクター数	9	目標値	10	10	10	10	10	10	人
			実績値	4	5	8	11			
376	児童・生徒の「ふるさと」への意識向上	77	目標値	78	78	79	79	80	80	%
			実績値	77. 0	78. 6	72. 2	71. 1			
377	事業が施策の実現に貢献していると答えた教員の割合	97	目標値	90	90	90	90	90	90	%
			実績値	100. 0	96. 0	96. 0	100. 0			
377	参加児童の身近な環境に対する興味・関心が高まったと答えた教員の割合	100	目標値	90	90	90	90	90	90	%
			実績値	100. 0	87. 0	96. 0	92. 0			
377	環境を守るために進んで行動したいと答えた児童の割合	99	目標値	90	90	90	90	90	90	%
			実績値	96. 0	96. 0	95. 0	99. 0			
379	アンダーアチーパー出現率	17	目標値	16	16	16	16	16	16	%
			実績値	小10中16	小12中18	小19中20	小18中25			
185	5年間平均の自殺死亡人数	10. 8	目標値	10. 6	10. 4	10. 2	10. 1	10	10以下	人
			実績値	9	9	8	7			
185	市民等向けゲートキーパー養成講座実施回数	2	目標値	2	2	2	2	2	2	回
			実績値	2	2	2	2			
185	市民等向けゲートキーパー養成講座参加者数	35	目標値	40	40	40	40	40	40	人
			実績値	46	57		48			
185	市プラットフォーム等を活用した事例検討の実施件数	-	目標値	-	2	3	5	6	6	件
			実績値	-	2	6	7			
516	学校運営協議会設置学校数	-	目標値	1	14	13	13	13	13	校
			実績値	1	14	13	13			
516	学校運営協議会委員数	-	目標値	10	122	122	122	122	122	人
			実績値	10	125	122	114			
516	学校運営協議会開催数	-	目標値	-	39	36	36	36	36	回
			実績値	-	45	38	33			
517	英語検定受検率	-	目標値	30	35	40	45	50	50	%
			実績値	22	25	23	20			
436	家庭教育事業の講座・セミナー等実施数	13	目標値	29	29	11600	29	29	29	人
			実績値	18	16	16	24			
436	ありがとう作文応募人数	1, 021	目標値	998	976	955	928	1000	1000	件
			実績値	1, 030	869	858	792			
436	子ども育み講座（PTA・子育て支援団体連携）参加者数	290	目標値	606	606	606	606	606	606	人
			実績値	576	853	853	899			
436	子ども地域活動推進事業参加者数	85	目標値	90	90	90	90	90	90	人
			実績値	90	95	115	94			
436	地域学校協働活動へのボランティアア延べ参加者数	2, 920	目標値	2, 900	2, 900	2, 900	2, 900	2, 900	2, 900	人
			実績値	3, 746	3, 775	3, 011	4, 732			

6. その他特記事項

○不登校率について
県平均値以下を目標としていますが、出典資料である文部科学省の「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」の結果が翌年の秋に公表となるため、当該年度以降の目標値については記載していません。

○事業再編について
令和5年度からNo.185森林体験・環境学習事業は、林業振興事業へ、No.382ひきこもり対策支援事業は心の健康づくり推進事業へ統合されました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

尾瀬環境学習を始めとする自然体験や地域の文化に直接触れる体験など、地域資源をいかした教育活動を展開し、子どもたちの環境保全の意識は高まっています。また、温かい学級づくりや不登校・いじめ対策の一環として、適応指導教室を始めとする多様な学びの場の設置・運営により子どもたちが安心して過ごせる環境づくりにも取り組み、不登校出現率は中学生では国県並みではありますが、小学生では国県平均より低い状況を維持しています。さらに、グローバル人材育成の観点から、中学生のオンライン海外交流などにも取り組み、子どもたちの学習意欲の向上にも一定の成果が見られました。
※グローバル（global）：グローバル（global）とローカル（local）を組み合わせた造語で、地球規模の視野と、地域の視点で、さまざまな問題を捉えていこうとする考え方

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや低い	学力テストの結果、学級満足度、不登校率いずれも低下が続いており、「やや低い」と評価しました。	
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	指標値の低下が見られる一方で自然環境学習（尾瀬学習）やグローバル人材育成事業などの取組は、子どもたちの魚沼の自然や人的・文化的資源に触れる機会の確保と地域への興味関心を高めることと学習意欲の向上に寄与しています。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	○
課題及び今後の方向性	一定水準は達成できているものの成果指標の低下が見られ、施策の効果が十分に数値として表れなかったことは大きな問題です。特に基礎学力の定着に弱さが見られ、学力向上に向けた取組を強化する必要があります。 今後は、教職員向けの研修等を通じて、授業改善や温かい学級づくりの再構築を進めるとともに、コミュニティ・スクールを活用して地域との連携を一層深め、地域住民が教育活動に継続的に関わる仕組みを整えることで、地域全体で子どもたちを育む教育環境の充実を図っていくことが重要です。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し	○		
課 題	一次評価のとおり。				
及び					
今後の方向性					

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D 関 G 連 S	4 質の高い教育を みんなに	17 パートナシップで 目標を達成しよう
------	----	----	--------	----------------------	-------------------	-------------------------

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当課	部課名	教育委員会事務局 学校教育課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり	関係 課	担当課長名	
主要施策	3項 市民が参加する学校づくりの推進		生涯学習課	
施策名	2号 市民が参加し世代を越えて交流する地域に開かれた学校づくり			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域や家庭が学校活動に気軽に、積極的に参加できる地域に開かれた学校づくりを推進するため、コミュニティ・スクールの指導や教育ボランティア活動等の充実を図り、保護者や地域の意見を反映できる学校の運営をすすめていきます。幼保小中高の連携や外部との相互交流を積極的に推進し、地域の伝統文化に親しみながら、社会性の向上や社会を生き抜く知恵を磨きます。

また、子どもたちにとってより良い教育環境を構築するため、地域と連携しながら将来を見据えた適正な通学区域の再構築に取り組みます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
371		教育支援事業		113,638	130,717	130,520	165,707	196,588		やや高い	B
		10 1 3	学校教育課								
		事業の 取組内容		特別支援サポーター・学習補助等の配置や部活動補助、通級指導教室の運営等を行う。							
375		地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業		975	864	904	529	903		やや高い	B
		10 1 3	学校教育課								
		事業の 取組内容		スクールガードによる登下校時の見守り、防犯パトロール、緊急通報メールの運用を行う。							
376	○	総合学習支援事業		4,437	4,690	4,486	5,308	7,112		やや高い	B
		10 1 3	学校教育課								
		事業の 取組内容		魚沼の自然環境や文化に直接触れる体験等により総合的な学習の時間を支援する。							
436		学校・家庭・地域の連携協働事業		2,352	2,545	2,714	2,678	10,693		やや高い	B
		10 4 1	生涯学習課								
		事業の 取組内容		学校・家庭・地域が連携・協働し、地域の将来を担う人財の育成を図るとともに、家庭教育力の向上とその支援体制を確立する。							
516	○	コミュニティスクール推進事業		2,220	4,150	4,616	4,651	4,693		高い	A
		10 1 3	学校教育課								
		事業の 取組内容		学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進める。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値		R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明			実績	実績	実績	実績	実績		
1	コミュニティ・スクールの普及率	—	目標値	7	100	100	100	100	100	%
			実績値	7	100	100	100			
	全14校(R5～13校)		達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
375	スクールガードリーダー による巡回時数	126	目標値	130	140	150	150	150	150	時数
			実績値	132	123	132.5	60.5			
376	児童・生徒の「ふるさ と」への意識向上	77	目標値	78	78	79	79	80	80	%
			実績値	77.0	78.6	72.2	71.1			
436	子ども育み講座（P T A・子 育て支援団体連携）参加者数	290	目標値	606	606	606	606	606	606	人
			実績値	576	853	853	899			
436	子ども地域活動推進事業 参加者数	85	目標値	90	90	90	90	90	90	人
			実績値	90	95	115	94			
516	学校運営協議会開催数	-	目標値	-	39	36	36	36	36	回
			実績値	-	45	38	33			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

湯之谷小学校と湯之谷中学校の学校運営協議会は共同設置です。
令和6年度には、須原小学校と魚沼北中学校の学校運営協議会が統合したことにより、学校運営協議会数が12から11に減少しました。これにより、学校運営協議会開催数も減少しました。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

研修会を通じて、コミュニティ・スクールの活動実績から見えてくる課題や成果を可視化することで、地域や家庭と学校が課題解決に向けた対話ができるようになりました。また、学校運営協議会の自立に向けた意識が芽生えつつあります。

教育支援事業による個別指導や特別な支援が必要な児童生徒への対応、スクールガード等による見守り活動、学校・家庭・地域の連携協働事業などにより、子どもたちにとってより良い教育環境を構築するための取組が進みました。また、総合学習支援事業により地域の伝統文化や自然環境等について学習し、子どもたちの地域への愛着や郷土愛の醸成が一定程度図られました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	市内小中学校全校にコミュニティ・スクール制度が定着しつつあり、地域や家庭と共に学校運営を行う体制整備が推進されたことにより、達成度は「高い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	コミュニティ・スクールの活動は、市民が参加する学校づくりの推進に大きく寄与しているため、貢献度は「高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
			目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		コミュニティ・スクール制度が有効に機能していくには、時間と経験が必要となります。また、委員や学校教職員等の入れ替わりもあるため、制度が定着するまでは、教員及び学校運営委員会向けの研修会や地域からコミュニティ・スクールについて知ってもらうための説明会などを開催し、学校、家庭、地域がお互いを理解し、信頼関係を築いていく必要があります。 子どもたちの地域への愛着や郷土愛の醸成を図るためには、地域や家庭と学校がより良い関係を構築し、協力しながら教育環境を整備していく必要があります。 今後も、コミュニティ・スクールを中心とした各種事業を実施し、学校運営に地域住民が主体的に関わっていけるようになるための必要なサポートを行っていきます。				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

② 施策に対する評価（行政計画会議・三次計画）

評価項目	評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度	・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い コミュニティ・スクール制度の普及は進んでいるものの、制度が定着するには時間と経験が必要となるため「やや高い」と評価しました。	
貢献度	・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い 一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性	一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G 連 結	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	17 パートナースHIPで 目標を達成しよう
------	----	----	--------	-----------------------	-------------------	---------------------	---------------------------

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 学校教育課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	3項 市民が参加する学校づくりの推進	関係 課	子ども課	
施策名	3号 安全・安心な学校施設の整備			

2. 施策目的（目指すすがた）

老朽化対策、大規模改修などによる施設整備をすすめるとともに、情報化対策など、近年の学習内容や形態に合った環境への改修を行い、子どもたちが快適に学ぶことができる、安全・安心な学校施設の整備をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
166		放課後児童クラブ再編事業		11,000	114,524	—	—				
		3 2 5	子ども課								
		事業の 取組内容		施設の老朽化及び少子化の進行等に対応するため、施設の再編を実施する。							
373		通学対策事業		83,360	87,105	93,989	97,704	123,695		やや高い	B
		10 1 3	学校教育課								
		事業の 取組内容		学校から遠隔地の児童生徒の確実な通学手段を確保する。							
381		I C T機器整備・情報教育推進事業		62,387	126,329	68,359	83,194	102,704		やや高い	B
		10 1 3	学校教育課								
		事業の 取組内容		児童生徒の基礎的な情報活用能力を育成するために情報教育を推進する。							
391	○	小学校施設整備事業		554,534	430,022	74,169	40,736	23,400		高い	B
		10 2 1	学校教育課								
		事業の 取組内容		各小学校の校舎、体育館等の老朽等大規模改修に係る工事を行う。							
415	○	中学校施設整備事業		307,216	436,855	133,944	15,589	161,163		高い	C
		10 3 1	学校教育課								
		事業の 取組内容		各中学校の校舎、体育館等の老朽等大規模改修に係る工事を行う。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	建物の大規模改修率 分母：157棟室	98.1 (R1改修率)	目標値	157	157	157	157		100	%
			実績値	154	157	157	157			
			達成率	98.1%	100.0%	100.0%	100.0%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
381	ICT機器活用指導力	71	目標値	72	74	76	78	80	80	%
			実績値	68.8	66.3	73.6	75.6			
381	授業に対する満足度	94	目標値	95	95	95	95	95	95	%
			実績値	81.9	76.4	78.7	77.8			
391	校舎改修工事	2	目標値	3	2	0	0		9	棟
			実績値	3	2	0	0			
391	トイレ改修工事	1	目標値	3	2	5	0		9	棟
			実績値	1	2	5	0			
391	特別教室エアコン設置工 事	5	目標値	6	6	4	0		9	棟
			実績値	5	0	5	1			
415	校舎改修工事	2	目標値	2	2	0	1	1	5	棟
			実績値	2	2	0	0			
415	トイレ改修工事	4	目標値	4	3	0	0		5	棟
			実績値	0	3	0	0			
415	特別教室エアコン設置工 事	4	目標値	4	3	3	0		5	棟
			実績値	4	4	1	1			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

No.166 放課後児童クラブ再編事業 令和4年度で終了
R3-R4継続事業（旧堀之内子育て支援センター解体撤去工事事業）

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

老朽化した学校施設の改修のほかエアコンの設置及び更新を行うことで、子どもたちが安全に学ぶことができる環境を整備することができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	中学校の改修工事が計画通り進めることができなかったが、特別教室へのエアコン設置のほか熱中症対策のための下校便バスを運行し、安全な環境整備に一定の成果があったことから「やや高い」としました。		
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	エアコンの設置など子どもたちが快適に学ぶことができる学校施設の整備が進み、学習意欲や学習効率の向上に貢献できたことから「高い」と判断しました。		
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		1人一台端末の耐用年数を踏まえた定期的な更新、端末の保守管理、修理等への対応や、老朽化した施設の補修が必要です。また、I C Tを活用した学習内容に対応できる情報通信設備についても、確認と改修を行う必要があります。 遠距離通学対策及び登下校時の安全確保については、学校や警察、道路管理者と連携した通学路危険箇所を点検し、計画的に危険箇所を解消するよう取り組むほか、スクールバスの効率的な運行について検討します。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点		評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い 高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し		
課題及び今後の方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G S	4 質の高い教育を みんなに	17 パートナシップで 目標を達成しよう
------	----	----	--------	------------------	-------------------	-------------------------

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり	担当課長名		
主要施策	4項 潤いのある地域文化や芸術の振興と創造	関係 課		
施策名	1号 芸術・文化活動の促進			

2. 施策目的（目指すすがた）

市民が心豊かな生活を送るために、多様な芸術文化に触れる機会を充実させるとともに、芸術文化を支える人財の育成と活動支援を行います。また、次世代の担い手である子どもたちを育成する文化体験の場を拡充します。

さらに、市民が芸術文化に広く関わっていくため、教育、商工観光、福祉など各種団体と連携を深め、新しい文化活動を創出します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
72	○	文化振興事業		2,941	3,729	5,797	6,017	9,137		やや高い	C
		10 4 6	生涯学習課								
		事業の 取組内容		美術展や各地域の芸能祭、文化祭を実施する。							
73		小出郷文化会館管理運営事業		132,574	134,450	287,634	222,619	119,910		やや高い	B
		10 4 6	生涯学習課								
		事業の 取組内容		小出郷文化会館の大規模改修を行う。							
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	文化会館年間利用者数	76,756 (R1実績)	目標値	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	人／年
			実績値	41,374	56,696	60,128	59,157			
			達成率	53.7%	73.6%	78.1%	76.8%	%		
2	各種催し物の参加者数	7,428 (H30実績)	目標値	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	人
			実績値	3,877	4,495	4,753	4,477			
			達成率	51.6%	59.9%	63.4%	59.7%	%		
3	文化的催しに対する満足度 総合計画市民アンケートより（R5に実施）	35.8 (R1調査)	目標値	—	—	40	—	—	40	%
			実績値	—	—	65.1	—	—		
			達成率	%	%	162.8%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
72	芸術文化の事業件数	27	目標値	75	75	75	75	75	75	件／年
			実績値	41	47	47	47			
73	中長期大規模改修計画の 進捗率	0	目標値	13	42	59	84	100	100	%
			実績値	13	23	53	65			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

魚沼市文化協会や響きの森文化会館の指定管理者であるNPO法人魚沼交流ネットワークと連携することで、文化団体の人材育成や活動の支援を行うことができました。このことで市民に多様な芸術文化に触れる機会を充実させることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価	評 価 の 理 由		
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや低い	各種事業を開催することで、多様な文化芸術に触れる機会の充実や人材育成と活動支援を行い、事業に対しての満足度は目標を達成できたものの、施設利用者数等は目標を達成できなかったため「やや低い」と評価しました。		
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	多種多様な事業を展開することで、潤いのある地域文化や芸術を振興することができました。また、子どもたちの参加拡充をすることにより新しい文化活動の機会を提供することができました。		
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		幅広い年代に即した市民ニーズに基づいた事業を展開していく必要があります。今後、各種事業を展開するにあたり、社会教育分野にとどまらず、福祉や地域創生（まちづくり）など各種団体と横断的な連携を深め、新しい文化芸術活動の創出に努めていきます。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点		評 価	評 価 の 理 由		
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや低い	一次評価のとおり。		
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。		
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価のとおり。					

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 S	4 質の高い教育を みんなに	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
-----------------------	----------------------	-----------------------------

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり	担当課長名		
主要施策	4項 潤いのある地域文化や芸術の振興と創造	関係 課		
施策名	2号 地域文化の振興と発信			

2. 施策目的（目指すすがた）

市内文化施設の特徴を活かし、家庭・地域・学校が連携し、伝統的生活文化に触れる機会を創出し、地域文化活動の促進を図ります。
また、ふるさと伝統文化を継承し活用するために、子どもたちの地域文化活動への参加を促進します。
国内外の都市・団体などと連携を図りながら文化交流を行い、あわせて地域文化活動の振興と情報の発信を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
72	○	文化振興事業		2,941	3,729	5,797	6,017	9,137		やや高い	C
		10 4 6 生涯学習課									
		事業の 取組内容	美術展や各地域の芸能祭、文化祭を実施する。								
444	○	地区公民館講座教室事業		654	1,302	1,600	1,233	561		やや高い	C
		10 4 2 生涯学習課									
		事業の 取組内容	各種講座教室、講演会等を開催する。								
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	芸術文化の事業件数	42 (R1実績)	目標値	75	75	75	75	75	75	件
			実績値	41	47	47	47			
			達成率	54.6%	62.6%	62.70%	62.7%	%		
2	美術展・地域文化祭・地域芸能祭の観覧者数	7,428 (H30実績)	目標値	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500	人／年
			実績値	3,877	4,495	4,753	4,477			
			達成率	51.6%	59.9%	63.4%	59.7%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
72	芸術・文化活動の促進（文化 会館年間利用者数）	22,932	目標値	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	77,000	人／年
			実績値	41,374	56,696	60,128	59,157			
444	講座教室の参加率	72	目標値	80	85	90	95	100	100	%
			実績値	61	76	71	53			
444	参加者の満足度	88	目標値	90	92	95	98	100	100	%
			実績値	94	63	63	74			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

各種芸術文化事業や地区公民館講座教室事業を実施することにより、家庭・地域・学校が連携し、地域の伝統文化に親しむことができました。また、学校と連携し、年間行事に組み込むことで、子どもたちの地域文化活動への参加を促進することができました。各地区公民館講座教室事業として、多様な文化芸術に触れる機会を提供することができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	各種芸能文化活動に触れる事業を行いました が、参加者数は目標に達しなかったことから「やや低い」と評価しました。	
			やや低い		
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	各種事業を開催し多様な文化芸術に触れることで、地域文化の振興を図ることができました。また、伝統芸能を子どもたちが地域の方に学び発表する場を提供したことにより、地域文化の振興と継承に寄与することができたため、「やや高い」と評価しました。	
			やや高い		
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○	
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
			目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。	改善・見直し	
課題及び今後の方向性		既存の参加者の各種事業参加を維持しつつ、新規の参加者を増加させる必要があります。また、地域の文化活動について、更に市民に浸透させ参加につなげることが課題です。参加者の年齢層に偏りがあることから、幅広い年齢層の学習ニーズに応えられるように企画の見直しも必要です。 今後は、文化交流を活発にするために、引き続き各種団体と連携を図ります。また、市内の文化活動を広めるため、市HPやSNSなどにより積極的に情報発信に努めます。参加者数の少ない年齢層のニーズにも対応した企画の検討します。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点		評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや低い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し		
課題及び今後の方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G 連 s	4 質の高い教育を みんなに	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
------	----	----	--------	-----------------------	----------------------	-----------------------------

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり	担当課長名		
主要施策	4項 潤いのある地域文化や芸術の振興と創造	関係 課		
施策名	3号 文化財の保護と活用			

2. 施策目的（目指すすがた）

市内に存在する文化財を地域資源として広く公開し、施設整備を含め、子どもたちが接する機会や、市民が学ぶ機会を積極的に設けるなどの有効な活用を図り、郷土の歴史・文化に関する認識を深め、市民全体で保護・継承し、発信していく意識を高めます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
451		埋蔵文化財調査活用事業		59,913	68,431	126,457	99,922	94,177		やや高い	B
		10 4 4 生涯学習課									
		事業の 取組内容	埋蔵文化財保護のため、記録・保存を行い、成果物を公開し、地元の歴史への理解と関心を高めていく。								
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	文化財を活用した講座や体験教室等の参加者数 講座や体験教室、企画展等を開催し、市民にPRを行う。	429 (R1実績)	目標値	500	500	500	500	500	500	人／年
			実績値	342	297	312	424			
			達成率	68.4%	59.4%	62.40%	84.80%	%		
2	企画展等の見学者数 企画展等を通じて、市民の歴史・文化への認識を深める。	600 (R1実績)	目標値	800	800	800	800	800	800	人／年
			実績値	1,365	984	937	720			
			達成率	170.6%	123.0%	117.1%	90.0%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
451	講座・体験教室・企画展等の開催数	2	目標値	4	4	4	4	4	4	回/年
			実績値	6	7	10	11			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

県営圃場整備に伴う遺跡調査では、試掘調査の結果により、本発掘調査となる場合があり、事業費が大幅に増加する可能性があります。今後も数か所で広大な面積の圃場整備の計画があります。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

令和5年度に引き続き遺跡発掘調査の現地公開として、市内小学校3校を受け入れ発掘体験を実施し、遺跡を生きた教材として活用することができました。また、遺跡発掘報告会、企画展、ギャラリートーク、講演会、縄文体験教室等を実施したほか、昨年度から整備してきた魚沼市歴史資料館を開館することができ、魚沼市の歴史の紹介と文化財保護思想の普及啓発に寄与しました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価	評 価 の 理 由		
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	講座・体験教室等の参加者数は目標値を下回ったものの、講座・体験教室・企画展等の開催数は目標値を上回り広く普及啓発ができたため、「やや高い」と評価しました。		
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	適切な遺跡発掘調査等による埋蔵文化財の保護とともに、調査結果を縄文体験教室や遺跡発掘報告会等で活用し、市民への郷土の埋蔵文化財の紹介及び報告ができたため、「やや高い」と評価しました。		
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		市内の埋蔵文化財の認知度不足が課題です。埋蔵文化財の適切な保護とともに、市内小中学校の遺跡発掘体験等の実施や、令和7年3月に開館しました「魚沼市歴史資料館」の活用等により、市民が自らの郷土の歴史を学ぶ機会を創出するとともに、観光資源となる活用方法の創出に取り組みます。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の 方向性		一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G 連 S	3 すべての人に 健康と福祉を	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
------	----	----	--------	-----------------------	-----------------------	-----------------------------

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	5項 楽しく質の高いスポーツ・レクリエーションの振興	関係 課	健康増進課	
施策名	1号 誰でも楽しく健康づくりができる活動の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

子どもから高齢者まで、スポーツ活動やレクリエーションに参加でき、仲間との交流などを通して、健康増進や生きがいづくり、そして地域も元気になる生涯スポーツの推進を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
207		保健対策事業		—	—	3,885	3,795	4,834		やや低い	C
		4 1 3	健康増進課								
		事業の 取組内容		健康教育・個別訪問指導・健康情報の発信等を行う。（R5に電話健康相談事業、健康づくり支援事業と統合）							
211		健康づくり支援事業		1,042	1,162	—	—	—			
		4 1 3	健康増進課								
		事業の 取組内容		健康ポイント制度を実施する。（R5に保健対策事業へ統合）							
460	○	市民スポーツ普及事業		12,582	13,833	14,294	23,598	34,559		やや高い	B
			生涯学習課								
		事業の 取組内容		スポーツフェスティバルや各種スポーツ教室を開催する。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	各種スポーツ教室等の参加者数 市民スポーツフェスティバル及びEスポに委託している各種教室等の参加者数	8,014	目標値	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	人／年
			実績値	9,555	10,235	9,993	9,847			
			達成率	116.5%	124.8%	121.8	120.0%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
460	体育施設利用者数	167,895	目標値 実績値	256,000 186,012	256,000 186,097	256,000 206,682	256,000 220,904	256,000	256,000	人/年
207	運動や食生活等の生活習慣について、既に取り組んでいる(6か月以上)人の割合	26.5 参考: R1 24.1 H30 23.9 H29 22.9	目標値 実績値	24.1 22.8	24.5 22.2	24.8 20.8	25.3 22.1	25.5	25.8	%
207	家庭で血圧測定をする人の割合	47.7 参考: R1 47.1 H29 44.8	目標値 実績値	47.1 47.2	47.3 50.3	47.5 52.0	47.7 53.0	47.9	47.9	%
207	喫煙率	13.7 参考: R1 15.6 H30 15.7 H29 16.4	目標値 実績値	15.6 15.1	15.4 14.1	15.2 14.5	15.0 14.2	14.8	14.8	%
207	元気ポイント参加者数 (実数)	689	目標値 実績値	630 758	690 778	750 494 ※1	810 242	870	870	人
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							
			目標値 実績値							

6. その他特記事項

令和5年度から中学校部活動の地域移行に向け、関係団体と連携しながら順次可能な種目から移行を進め、令和7年度には休日の完全移行に向け進めていきます。
健康づくりの担い手である食生活改善推進員の養成は、隔年で養成計画に応じて実施し、人材の確保を図ります。

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

各種スポーツ教室等の参加者数が目標値を上回る結果となり、教室等の開催により健康づくりへの意識や関心の向上につながることができました。また、それらに継続して参加し、生活習慣として取り組んでいる人の割合は高く、運動習慣が定着し、健康増進につながっています。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	高い	成果指標が目標値を上回る実績となったため、「高い」としました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	現在行っている各種スポーツ教室は、指導者が様々な工夫をしており、健康づくりに楽しさやレクリエーション要素を取り入れながら実施していることから「やや高い」としました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		各種スポーツ教室は、幅広い年齢層の市民から参加してもらうことが目標ですが、近年、実施者が固定されていたり年齢層が高くなっているのが課題です。そこで、2021年に開催されたオリンピック・パラリンピックにより新しい競技や障がい者スポーツへの関心が高まっているため、体験会などで市民のニーズを把握し、新しい取組について検討を進めます。 中学校部活動地域展開が本格的に始動し、指導者不足や活動拠点までの送迎問題などの課題が見られました。今後はこの世代のスポーツ活動が後退しないよう関係団体と連携を取りながら事業を進めていきます。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

1. 施策に対する計画（行政計画会議：三次計画）						
評価項目		評価の観点		評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。				改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G 連 関 連	3 すべての人に 健康と福祉を	17 パートナーシップで 目標を達成しよう
------	----	----	--------	----------------------------	-----------------------	-----------------------------

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	5項 楽しく質の高いスポーツ・レクリエーションの振興	関係 課		
施策名	2号 スポーツ活動推進のための体制強化			

2. 施策目的（目指すすがた）

夢に向かってスポーツに挑戦していく人々や関係者への支援を充実させるため、各スポーツ団体と連携・協働しながら、各組織の自立と体制強化を推進します。
また、スポーツを「する」「みる」「ささえる」といったかかわり方に応じて、スポーツに接する機会を創出し、それぞれが支えあい、連携するシステムの整備を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
461	○	競技スポーツ支援事業		2,087	2,237	3,188	3,530	4,195		やや高い	C
		10	5								
		事業の 取組内容		競技スポーツの選手、指導者の育成を図るとともに、各種スポーツ大会の開催により、 競技スポーツ活動の普及、促進を図る。							
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	スポーツ協会の会員数	2,069 (R1実績)	目標値	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	人／年
			実績値	1,692	1,762	1,648	1,566			
			達成率	67.6%	70.4%	65.90%	62.40%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
461	各種スポーツ大会の参加 人数	81	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	人
			実績値	299	553	756	818			
461	高位大会出場者激励金交 付件数	29	目標値	100	100	100	100	100	100	件
			実績値	50	53	82	77			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

指導者養成講座の開催などスポーツ協会及び各種スポーツ団体と連携・協働をしていくことで、スポーツ関係の組織・体制強化を推進しました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや低い	高齢化によりスポーツ協会を脱退する団体があり会員数の減少傾向が続いているため「やや低い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	ジュニア世代を始めとする競技者への継続的な支援をしたことに加え、指導者を養成する場を作ったことから「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課題及び今後の方向性		競技人口拡大と競技力向上を図るためには、スポーツ少年団の活動から中・高生、成人に至るまでの一貫したスポーツ環境の整備に加え、指導者の育成が課題です。また、スポーツ協会やスポーツ少年団加盟競技団体の構成員減少に加え、指導者の担い手不足も深刻な課題となっています。そのため、関係団体との連携を一層強化し、求められるスポーツ環境の把握と整備及び選手だけでなく指導者の育成や人員確保にも引き続き取り組む必要があります。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点		評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや低い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し		
課 題 及び 今後の 方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G 関 連 s	3 すべての人に 健康と福祉を	17 パートナリシップで 目標を達成しよう
------	----	----	--------	----------------------------	--------------------	--------------------------

1. 基本情報

施策分野	教育・文化	評価 担当 課	部課名	教育委員会事務局 生涯学習課
基本目標	5節 私たちが育む学びのまちづくり		担当課長名	
主要施策	5項 楽しく質の高いスポーツ・レクリエーションの振興	関係 課		
施策名	3号 スポーツにおける広域連携の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

様々なスポーツに接する機会の拡大、スポーツの普及、推進、競技力向上を図るには、近隣市町と連携した取組も重要となります。既存施設の活用を図りながら、施設整備や相互利用など、スポーツの振興や推進にかかる全ての分野において、広域的な連携をすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
459	○	社会体育管理事業		7,176	7,069	8,426	9,959	12,515		やや低い	B
		10 5 1	生涯学習課								
		事業の 取組内容	社会体育推進体制の充実を図るための取組や方針の協議を行うとともに、スポーツ関係団体に対する運営支援を行う。								
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	体育施設利用者数	218,508 (R1実績)	目標値	256,000	256,000	256,000	256,000	256,000	256,000	人／年
			実績値	186,012	186,097	207,536	220,904			
			達成率	72.6%	72.6%	81.0%	86.2%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
459	近隣市町とのスポーツイベント開催に関する相互PR回数	0	目標値	2	2	2	2	2	2	回数
			実績値	0	0	0	2			
459	魚沼コシヒカリ紅葉マラソン	0	目標値	450	450	450	450	450	450	人
			実績値	326	346	429	392			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

各種スポーツの広域での大会開催することで市民のスポーツに接する機会を増やし、また、湯沢町・南魚沼市・魚沼市連携自転車活用推進協議会において、広域サイクリングルートのPRなどを行い、近隣自治体と広域的な連携を行うことができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや低い	広域連携として湯沢町・南魚沼市・魚沼市連携自転車活用推進協議会において、3市町をまたぐ自転車コース「雪国魚沼Golden Cycle Route（GCR）」を整備し、ナショナルコース認定に向け啓発や整備を行っていますが、現状連携事業はこれのみとなっていることから「やや低い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや低い	広域的な連携においては、自転車活用推進協議会の活動のみとなっており、貢献度は「やや低い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		スポーツ施設の広域的な相互利用については、利用料金の統一や地域住民のニーズの把握が問題となっており、魚沼地域定住自立圏構想の会議において引き続き解決に向け議論を進めていきます。 また、湯沢町・南魚沼市・魚沼市連携自転車活用推進協議会においても新たな取組や情報発信のコンテンツの整備を進めていくことになっており、今後より一層情報交換や協力体制の構築、取組に対する連携の強化を進めていきます。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由		
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。				改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価に加え、連携が必要な事業については、魚沼地域定住自立圏構想会議にこだわらず、個別に調整を行うこと。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 S	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	10 人や国の不平等を なくそう	17 パートナリシップで 世界を達成しよう
-----------------------	-------------------	---------------------	---------------------	--------------------------

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営	評価 担当課	部課名	総務政策部 企画政策課
基本目標	6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり	担当課長名		
主要施策	1項 市民参画と行政との協働の推進	関係課	市民課	地域創生課
施策名	1号 まちづくりへの市民参画の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

市民一人ひとりが、お互いの人権・人格を尊重し合って、自らがまちづくりの重要な担い手であることを自覚し、発言と行動に責任を持って参画できるよう意識の高揚を図ります。
また、情報を市民と共有し、男女・世代を問わず多くの市民が参画し、その意見が反映されるまちづくりを推進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価
		予算科目 担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度 達成度
13		人権啓発事業	1,657	871	798	2,023	2,090		高い A
		2 1 2 市民課							
	事業の 取組内容	市職員の研修や市民向け人権講演会等の人権教育・啓発を推進する。							
36		男女共同参画事業	73	37	813	2,685	2,778		やや低い B
		2 1 6 企画政策課							
	事業の 取組内容	男女共同参画社会推進のため、各種意識啓発活動、市民講座等を実施する。							
48	○	うおぬま未来人財育成事業	610	454	86	738	—		低い D
		2 1 6 地域創生課							
	事業の 取組内容	将来のまちづくりを担う人財の発掘、育成、定着を促進し、地域の活性化と活力の維持を図る。							
521		地域活動活性化事業	1,486	1,323	498	1,254	—		やや高い B
		2 1 6 地域創生課							
	事業の 取組内容	市民自ら企画立案し、地域の課題解決や地域活性化のための事業の立ち上げに要する経費に対して交付金を交付する。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	市政やまちづくりへの関 心度 総合計画市民アンケート より（R5に実施）	78.0 (R1調査)	目標値	—	—	85	—	—	85	%
			実績値	—	—	81	—	—		
			達成率	%	%	95.3%	%	%		
2	地域活動への参加割合 総合計画市民アンケート より（R5に実施）	67.0 (R1調査)	目標値	—	—	75	—	—	75	%
			実績値	—	—	64	—	—		
			達成率	%	%	85.3%	%	%		
3	市民提案型事業の件数 (市民自ら企画立案し、地域 の課題解決や活力ある地域を 実現するための事業)	4 (R1実績)	目標値	4	8	13	18	23	23 (R3～R7累計)	件
			実績値	4	7	8	11			
			達成率	100.0%	87.5%	61.5%	61.1%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
13	人権・同和問題職員研修、市民研修開催回数	4	目標値	4	4	4	4	4	4	回/年
			実績値	3	4	4	4			
13	本人通知制度の周知回数	3	目標値	3	3	3	3	3	3	回/年
			実績値	2	2	3	3			
13	人権施策懇話会開催回数	0	目標値	2	2	2	2	2	2	回/年
			実績値	2	1	1	2			
36	ハッピー・パートナー企業登録数	12	目標値	16	19	22	26	30	30	社
			実績値	13	14	21	27			
36	市の審議会等への女性の登用率	23.5	目標値	25	29	33	37	40	40	%
			実績値	23.3	23.8	23.2	23.2			
36	研修会後のアンケートで「とても参考になった」の割合	-	目標値	73	80	80	80	80	80	%
			実績値	83	76	58	55			
48	若者会議メンバーが開催した会議の回数	8	目標値	10	10	10	10	10	10	回
			実績値	11	10	2	0			
48	イベントの参加者数	0	目標値	20	30	40	50	60	60	人
			実績値	0	0	0	0			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

市民が主体的に企画立案した地域活性化の事業を行うことで活力ある地域の実現につながりました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	市民提案型事業の申請件数及び審議会等への女性の登用率が目標を下回っていることから「やや低い」としました。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	成果指標の達成状況からも市民の自主的な参画や意見の反映がなされているとの判断には至らないため、「やや低い」としました。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し
課題及び今後の方向性	人口減少や市民ニーズの多様化などに対応するためには、行政側だけで考えるのではなく、より多くの市民参画が得られるような取組を検討するとともに、市民や団体が持っているノウハウをいかすことにより市民サービスの向上が図られるような取組を検討します。		

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	一次評価のとおり。
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。		

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 関 連 S	1 持続可能な開発目標	3 すべての人に健康と福祉を	5 ジェンダー平等を促進する	8 働きがいも経済成長も	9 産業と地域資源の統合的な開発を図る	10 人や国の不平等をなくす	11 住み続けられるまちづくりを	17 パートnership for the Goals
---------------------------------	-------------	----------------	----------------	--------------	---------------------	----------------	------------------	-----------------------------

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営	評価担当課	部課名	総務政策部 地域創生課
基本目標	6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり	担当課長名		
主要施策	1項 市民参画と行政との協働の推進	関係課	北部事務所	生活環境課
施策名	2号 協働体制の充実			

2. 施策目的（目指すすがた）

まちづくりの主体である市民と行政が、お互いに対等な立場で意見交換を行いながら施策を推進する体制を充実するとともに、市民が主体となった活動が行えるように地域の人財育成や活動をコーディネートするなど人的支援を行います。

また、市民の自主的主体的な活動と行政が連携、連帯を強め、魅力ある地域づくりを実践し、各地域の今後の振興や課題の解決に向けた取組が行えるように財政的支援を行います。

地域社会の担い手として、自主的かつ自立的な活動を行う「コミュニティ」を守り育てていくとともに、まちづくり委員会をはじめとした組織が市民や他の市民活動団体、行政とのつながりを形成し、協働・連携のできるネットワーク体制づくりをすすめます。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
37		市民協働推進事業		513	250	357	645	2,884		やや低い	C
		2	1								
		事業の 取組内容		魚沼市まちづくり委員会の活動を支援する。							
48	○	うおぬま未来人財育成事業		610	454	86	738	－		低い	D
		2	1								
		事業の 取組内容		将来のまちづくりを担う人財の発掘、育成、定着を促進し、地域の活性化と活力の維持を図る。							
61	○	地域活動支援事業		51,757	61,467	51,462	46,347	88,345		やや高い	B
		2	1								
		事業の 取組内容		連合自治会長・嘱託員との連携を図るとともに、自治会活動の支援を行う。							
63	○	コミュニティ活動支援事業		13,754	15,348	14,738	15,745	17,830		やや高い	C
		2	1								
		事業の 取組内容		地域コミュニティ協議会の設立及び協議会活動への財政的支援及び集落支援員による運営サポートを行う。							
65	○	地域との「絆」推進事業		32,779	31,980	25,244	34,985	40,242		やや高い	B
		2	1								
		事業の 取組内容		集落支援員を設置し地域の維持活性化対策の促進を図るとともに、地域が取り組む共助事業等への支援を行う。							
67		交通安全対策事業		15,349	18,142	19,510	18,263	21,871		やや高い	A
		2	1								
		事業の 取組内容		交通事故防止啓発・広報活動等の交通安全教育、交通安全施設の維持管理、防犯灯設置や修繕の支援を実施する。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	市民と行政との協働推進の充実度 総合計画市民アンケートより（R5に実施）	17.4 (R1調査)	目標値 — 実績値 — 達成率 %	— — %	50 51.3 102.6%	— — %	— — %	50	%
2	市民参画と行政との協働を理解している人の割合 総合計画市民アンケートより（R5に実施）	49.1 (R1調査)	目標値 — 実績値 — 達成率 %	— — %	75 — %	— — %	— — %	75	%

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
37	まちづくり委員会の開催 の数	36	目標値	36	36	36	36	36	36	回
			実績値	53	48	56	13			
37	市民会議・総会等への参 加者数	31	目標値	80	110	140	170	200	200	人
			実績値	27	42	77	38			
48	若者会議メンバーが開催 した会議の回数	8	目標値	10	10	10	10	10	10	回
			実績値	11	10	2	0			
48	イベントの参加者数	0	目標値	20	30	40	50	60	60	人
			実績値	0	0	0	0			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

まちづくり委員会メンバーが各種審議会などへ参画することにより、市民と行政の協働によるまちづくりを進めることができました。

また、集落支援員による15コミュニティ協議会の運営支援のほか、過疎・高齢化地域の訪問や見守りを行うとともに、住民アンケート等を実施し、地域課題の解決に向けた住民主体の話し合いの土壌をつくることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや低い	まちづくり委員会への市民の参加者数が少なく、また、若者会議の活動が停滞するなど、行政との連携・協働の体制づくりが進んでいないことから「やや低い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	まちづくり委員会、自治会、コミュニティ協議会活動は、地域活性化につながる取組であり、継続して行う必要があることから、「やや高い」と評価します。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		将来の人口減少を見据えると、多様な地域課題の解決には、コミュニティ協議会や自治会などが協働・連携して取り組む体制づくりが必要であることから、住民主体の話し合いを促し意識の醸成を図り、協働・連携できる体制づくりを支援していきます。また、まちづくりに係わる地域の担い手は、高齢化や固定化、若者が参加しないなどの実態があり、新たな担い手の育成、確保が課題となっていることから、今後も継続した活動が行えるよう次代のまちづくりの担い手育成を進めていきます。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

1. 施策に対する計画（行政計画会議：三次計画）						
評価項目		評価の観点		評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや低い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。				改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 系	1 貧困をなくそう 5 ジェンダー平等も 8 働きがいも 10 人や国の公平 11 住み続けられ 17 パートナリ 2 質の高い教育を 3 健全な経済を 4 公正な社会と 6 清潔な水と 7 持続可能な 9 産業とイノベーション
-----------------------	---

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営	評価 担当課	部課名	総務政策部 地域創生課
基本目標	6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり	担当課長名		
主要施策	2項 市民参画による地域づくりの推進	関係課	北部事務所	生活環境課
施策名	1号 支え合う地域づくりの支援			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域内の若者や子育て世代と高齢者など、世代間を越えた市民の交流を推進し、人財の発掘と活用を図るとともに、次代を担う人財の育成や活力ある地域づくりを支援します。
また、少子高齢化に伴う社会情勢の変化に対応して、地域の事情に応じた支え合い、助け合う地域づくりを支援します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価 貢献度 達成度
		予算科目 担当課	決算	決算	決算	決算	予算		
37		市民協働推進事業	513	250	357	645	2,884		やや低い C
		2 1 6 地域創生課							
		事業の 取組内容	魚沼市まちづくり委員会の活動を支援する。						
48	○	うおぬま未来人財育成事業	610	454	86	738	—		やや低い D
		2 1 6 地域創生課							
		事業の 取組内容	将来のまちづくりを担う人財の発掘、育成、定着を促進し、地域の活性化と活力の維持を図る。						
52	○	農村文化創生事業	0	0	18	204	—		やや低い C
		2 1 6 地域創生課							
		事業の 取組内容	農村の持つ豊かさや力を価値として生かし発信することで交流人口の増加を図る。						
63	○	コミュニティ活動支援事業	13,754	15,348	14,738	15,745	17,830		やや高い C
		2 1 9 地域創生課・北部事務所							
		事業の 取組内容	地域コミュニティ協議会の設立及び協議会活動への財政的支援及び集落支援員による運営サポートを行う。						
65	○	地域との「絆」推進事業	32,779	31,980	25,244	34,985	40,242		やや高い B
		2 1 9 地域創生課・北部事務所							
		事業の 取組内容	集落支援員を設置し地域の維持活性化対策の促進を図るとともに、地域が取り組む共助事業等への支援を行う。						
67		交通安全対策事業	15,349	18,142	19,510	18,263	21,871		やや高い A
		2 1 10 生活環境課							
		事業の 取組内容	交通事故防止啓発・広報活動等の交通安全教育、交通安全施設の維持管理、防犯灯設置や修繕の支援を実施する。						
521		地域活動活性化事業	1,486	1,323	498	1,254	—		やや高い B
		2 1 6 地域創生課							
		事業の 取組内容	市民自ら企画立案し、地域の課題解決や地域活性化のための事業の立ち上げに要する経費に対して交付金を交付する。						

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	市民と行政との協働推進 の充実度 総合計画市民アンケート より（R5に実施）	17.4 (R1調査)	目標値	—	—	50	—	—	50	%
			実績値	—	—	51.3	—	—		
			達成率	%	%	102.6%	%	%		

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
2	市民参画と行政との協働を理解している人の割合 総合計画市民アンケートより（R5に実施）	49.1 (R1調査)	目標値	—	—	75	—	—	75	%
			実績値	—	—		—	—		
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
37	まちづくり委員会の開催 の数（専門委員会含む）	36	目標値	36	36	36	36	36	36	回
			実績値	53	48	56	13			
37	市民会議・総会等への参 加者数	31	目標値	80	110	140	170	200	200	人
			実績値	27	42	77	38			
48	若者会議メンバーが開催 した会議の回数	8	目標値	10	10	10	10	10	10	回
			実績値	11	10	2	0			
48	イベントの参加者数	0	目標値	20	30	40	50	60	60	人
			実績値	0	0	0	0			
521	市民提案型事業の件数	3	目標値	4	4	5	5	5	23 (R3～R7累計)	件
			実績値	4	3	1	3			
67	交通事故件数 (※少ないほど良い)	33	目標値	46	42	38	34	30	30	件
			実績値	40	38	32	30			
67	交通死亡事故件数 (※少ないほど良い)	1	目標値	0	0	0	0	0	0	件
			実績値	1	4	2	0			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

各地域に集落支援員を配置することにより、コミュニティ協議会の運営を支援することができ、地域課題の解決に向けた住民主体の話し合いを促進することができました。また、共助事業の高齢世帯の屋根雪除雪等の実施やコミュニティバスの運行により、助け合う地域づくりの推進と安全で安心して暮らせる生活環境を確保することができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し		
課 題 及び 今後の方向性		少子高齢化に伴い、地域づくりに関わる地域の担い手も固定化しているため、地域人財の掘り起こしができる活動等を組み入れていく必要があります。また、担い手不足により自治会活動に支障が生じている地域もあることから、広範囲な協力体制の構築と関係団体との連携強化を図っていく必要があります。			

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由		
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。				改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G 連 結	1 貧困をなくそう	5 ジェンダー平等を実現しよう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナリシップで目標を達成しよう
------	----	----	--------	-----------------------	-----------	-----------------	-----------------	------------------	----------------------

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営	評価 担当課	部課名	総務政策部 地域創生課
基本目標	6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり	担当課長名		
主要施策	2項 市民参画による地域づくりの推進	関係課	北部事務所	生活環境課
施策名	2号 地域づくりの活性化			

2. 施策目的（目指すすがた）

「地域の課題は地域で話し合い解決する」という本来の住民主体型の地域づくりを推進しながら、「地域づくりから始まるまちづくり」をめざし、地域づくりの活性化を図ります。
また、広範な地域課題への対応や活力ある地域活動をすすめるために設立されたコミュニティ協議会について、市民の関心を高め、参加する市民の輪が広がるように制度の周知と人的支援を行います。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
61	○	地域活動支援事業		51,757	61,467	51,462	46,347	88,345		やや高い	B
		2 1 9 地域創生課・北部事務所									
		事業の取組内容	連合自治会長・嘱託員との連携を図るとともに、自治会活動の支援を行う。								
63	○	コミュニティ活動支援事業		13,754	15,348	14,738	15,745	17,830		やや高い	C
		2 1 9 地域創生課・北部事務所									
		事業の取組内容	地域コミュニティ協議会の設立及び協議会活動への財政的支援及び集落支援員による運営サポートを行う。								
65	○	地域との「絆」推進事業		32,779	31,980	25,244	34,985	40,242		やや高い	B
		2 1 9 地域創生課・北部事務所									
		事業の取組内容	集落支援員を設置し地域の維持活性化対策の促進を図るとともに、地域が取り組む共助事業等への支援を行う。								
67		交通安全対策事業		15,349	18,142	19,510	18,263	21,871		やや高い	A
		2 1 10 生活環境課									
		事業の取組内容	交通事故防止啓発・広報活動等の交通安全教育、交通安全施設の維持管理、防犯灯設置や修繕の支援を実施する。								
521		地域活動活性化事業		1,486	1,323	498	1,254	—		やや高い	B
		2 1 6 地域創生課									
		事業の取組内容	市民自ら企画立案し、地域の課題解決や地域活性化のための事業の立ち上げに要する経費に対して交付金を交付する。								

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	地域活動への参加割合 総合計画市民アンケートより（R5に実施）	67.0 (R1調査)	目標値	—	—	75	—	—	75	%
			実績値	—	—	63.8	—	—		
			達成率	%	%	85.1%	%	%		
2	コミュニティ協議会数	15	目標値	15	15	16	17	18	18	団体
			実績値	15	15	15	15			
			達成率	100.0%	100.0%	93.8%	88.2%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
521	市民提案型事業の件数	3	目標値	4	4	5	5	5	23	件
			実績値	4	3	1	5		(R3～R7累計)	
61	集会施設建設費等補助金の申請件数	18	目標値	20	20	20	20	20	20	件
			実績値	23	19	25	23			
63	共助事業に取り組むコミ協等の数	5	目標値	6	9	11	13	15	15	団体
			実績値	4	4	4	4			
65	話し合い実施集落等への支援	5	目標値	9	9	9	9	9	9	集落等
			実績値	8	10	8	11			
65	地域づくりセミナー実施回数	1	目標値	2	2	2	2	2	2	回
			実績値	0	2	4	1			
67	交通事故件数 (※少ないほど良い)	33	目標値	46	42	38	34	30	30	件
			実績値	40	38	32	30			
67	交通死亡事故件数 (※少ないほど良い)	1	目標値	0	0	0	0	0	0	件
			実績値	1	4	2	0			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

集落支援員を配置することにより、コミュニティ協議会の運営を支援することができ、地域課題の解決に向けた住民主体の話し合いを促進することができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由		
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い	集落支援員が地域に入り、地域課題の把握など地域での話し合いを促進することができたものの、地域活動への参加割合が目標を下回っていることから「やや低い」と評価しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い	市民が主体となった活動を行うためには、地域の人財育成や活動をコーディネートする人的支援が必要であることから、「やや高い」と評価しました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。				改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		コミュニティ活動の更なる充実を図るため、各協議会での課題を洗い出し、外部人材を活用するなど幅広い解決方法を検討し取り組んでいくよう支援していく必要があります。また、コミュニティ協議会を設立していない地域は、活動の趣旨を伝えるとともに設立に向けた支援が必要です。 地域づくりに関わる地域の担い手も固定化しているため、地域人財の掘り起こしができる活動等を組み入れていく必要があります。また、少子高齢化により自治会役員の担い手不足が懸念されることから、地域活動のデジタル化も視野に入れながら、地域活動に参画しやすい環境づくりなどコミュニティ協議会等と協力して取り組んでいく必要があります。				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや低い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G 連 結	2 目標を ゼロに	8 働きがいも 経済成長も	10 人や国の不平等 をなくそう	11 気候変動に 適応する	17 パートナシップで 目標を達成しよう
------	----	----	--------	-----------------------	--------------	------------------	---------------------	------------------	-------------------------

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営	評価 担当 課	部課名	総務政策部 地域創生課
基本目標	6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり	担当課長名		
主要施策	2項 市民参画による地域づくりの推進	関係 課	北部事務所	都市整備課
施策名	3号 地域づくりに向けた移住・定住の促進			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域外との交流や地域おこし協力隊の拡充による豊かな地域資源の発掘、積極的な情報発信、雪国・田舎暮らし体験、空家の有効活用などを通じて、活力ある地域づくりに向けた移住者・定住者の増加を図るとともに、関係人口の拡大を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名	R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価 貢献度 達成度
		予算科目 担当課	決算	決算	決算	決算	予算		
34	○	地域交流推進事業	492	1,140	2,049	6,045	5,987		やや低い B
		2 1 6 地域創生課・北部事務所							
	事業の 取組内容	友好自治体や、魚沼特使、在京郷人会等各団体との交流を行う。							
42	○	田舎暮らし体験事業	9	68	—	—	—		
		2 1 6 北部事務所							
	事業の 取組内容	田舎暮らしの疑似体験の場、また移住定住を検討する際の素材提供を行う。							
43	○	地域おこし協力隊受入事業	17,145	19,244	13,654	15,897	40,973		やや高い C
		2 1 6 地域創生課・北部事務所							
	事業の 取組内容	地域おこし協力隊を受入れ、地域への定住・定着を図るとともに、地域の活性化を推進する。							
45	○	移住定住促進事業	1,588	6,079	16,196	23,298	22,711		やや高い C
		2 1 6 地域創生課・北部事務所							
	事業の 取組内容	移住者が新規住宅取得した場合、家賃補助等を行う。							
46	○	ふるさと結基金事業	1,439,761	1,521,384	1,557,042	1,721,423	1,693,315		やや高い S
		2 1 6 地域創生課							
	事業の 取組内容	ふるさと納税に係る事務を委託し、全国から広く寄附を募るとともに地元産品をPRする。							
52	○	農村文化創生事業	0	0	18	204	—		やや低い C
		2 1 6 地域創生課							
	事業の 取組内容	農村の持つ豊かさや力を価値として生かし発信することで交流人口の増加を図る。							
346	○	住宅リフォーム支援事業	62,958	68,080	61,471	52,433	60,229		やや高い A
		8 5 2 都市整備課							
	事業の 取組内容	個人住宅等の質の向上を図り、かつ空き家の有効活用により移住定住を促進する。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	地域おこし協力隊の受入 者数	13 (H28～R1累 計)	目標値 16	19	22	25	29	29 (H28～R7累 計)	人
			実績値 16	16	17	19			
			達成率 100.0%	84.2%	77.3%	76.0%	%		

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
2	空き家バンクの登録件数	21 (H28～R1累 計)	目標値	24	28	32	36	40	40 (H28～R7累 計)	件
			実績値	25	32	44	60			
			達成率	104.2%	114.3%	137.50%	166.7%	%		
3	転入時アンケート把握による移住者の数(転入者の内数)	265 (R1実績)	目標値	270	280	290	295	300	300	人／年
			実績値	221	201	281	194			
			達成率	81.9%	71.8%	96.8%	65.7%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
346	住宅リフォーム申請件数 (通常・世帯要件分)	401	目標値	397	458	470	320	320	320	件
			実績値	456	492	423	346			
346	住宅リフォーム申請件数 (空き家対策分)	3	目標値	3	4	5	5	5	5	件
			実績値	8	6	9	9			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

令和6年度空き家バンク登録件数：16件
 令和6年度空き家バンク成約数：10件 うち市外からの移住者5件

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

首都圏で毎月開催した市単独の出張相談会のほか、各種移住セミナー等において、積極的に移住希望者に対し情報提供を行うとともに、空き家バンクを介した空き家購入への支援などにより、移住者の確保につなげることができました。

また、友好都市との交流や都市部でのイベント出展により、本市の特産品等をPRしたほか、都市部の大学との連携による地域の魅力発見・発信の取組などにより、地域の活性化に向けた交流人口、関係人口の拡大を図ることができました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評 価	評 価 の 理 由
施策成果の達成度	・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い
貢献度	・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し
課 題 及び 今後の 方向性	関係人口の拡大に向けた取組や東京における出張移住相談会等の相談体制の充実を図ることができたものの、移住・定住になかなかつなげていけないことから、各種支援制度や運用面の細かな見直しを重ねながら、取組を継続していきます。 また、農作業シェアリングなど関係性を深める事業等により、二地域居住を始めとした多様な生活拠点の受入れ体制を構築し、関係人口の創出、拡大に向け取り組みます。 地域おこし協力隊の拡充は、受入れ希望団体のニーズに基づき、ターゲット層に届くような情報発信の工夫・強化、魅力的な条件提示、イベントの開催などを組み合わせ、地域おこし協力隊の確保に向けた取組を進めていきます。		

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評 価	評 価 の 理 由
施策成果の達成度	・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや低い
貢献度	・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し
課 題 及び 今後の 方向性	一次評価のとおり。		

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G 連 s	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナースHIPで 目標を達成しよう
------	----	----	--------	-----------------------	---------------------	---------------------------

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営	評価 担当 課	部課名	総務政策部 企画政策課
基本目標	6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり	関係 課	担当課長名	
主要施策	3項 市民に信頼される開かれた行政運営			
施策名	1号 効率的で効果的な行政運営			

2. 施策目的（目指すすがた）

持続可能な行政運営を確立するため、優先的、重点的に取り組むべき施策を中心に事業を展開し、効率的で効果的な行政運営をすすめます。そのために施策や事業について行政評価を行うとともに、その結果をわかりやすく公表します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
41		行政効率化推進事業		39	67	39	0	156		やや高い	B
		2 1 6	企画政策課								
		事業の 取組内容		効率的で効果的な行政運営の推進を図る。							
524		総合計画管理事業		118	139	1,657	322	10,973		やや高い	C
		2 1 6	企画政策課								
		事業の 取組内容		市政運営の方向性を示す最上位計画である総合計画の策定及び進捗管理を行う。							
		事業の 取組内容									
		事業の 取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名	現状値		R3	R4	R5	R6	R7	最終 目標値	単位
	指標の説明			実績	実績	実績	実績	実績		
1	効率的で効果的な行政運営の満足度	37.9 (R1調査)	目標値	—	—	75	—	—	75	%
			実績値	—	—	54.8	—	—		
			達成率	%	%	73.1%	%	%		
2			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
41	公共施設等総合管理計画 庁内推進委員会の開催	3	目標値	2	2	2	2	2	2	回
			実績値	2	1	1	1			
41	再編整備アクションプラ ンの年度毎達成状況	4	目標値	5	4	7	3	14	33	施設
			実績値	1	7	6	8			
524	総括評価における施策評 価の評価区分ABの割合	27.9	目標値	-	-	-	-	35	35	%
			実績値	-	-	-	-			
524	暮らしやすいまちと感じ ている市民の割合	58.1	目標値	-	-	75	-	-	75	%
			実績値	-	-	58.4	-	-		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

請求書や補助金の実績報告書等の押印を廃止したことにより、市民や事業者の利便性向上に貢献するとともに、生涯学習センターの建設においては、合併特例債を活用することで、将来負担の軽減に寄与しました。

また、行政評価の外部評価については、事業の見直しや改善に役立っています。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評 価		評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	再編整備アクションプランの達成状況は年度目標に到達しているものの、押印廃止の効果については限定的であるため、「やや高いと」しました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	やや高い	効率的な行政運営や将来負担の軽減については、人口減少が進む本市においては有効であるため、「やや高い」としました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。					改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		全体最適の考えの下、人口減少に対応可能な組織となるよう、効果が少ないと思われる事業の見直しと業務プロセスの改善を検討します。					

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課題及び今後の方向性		一次評価のとおり。			

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 結	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を 実現しよう	10 人や国の不平等 をなくそう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナシップで 目標を達成しよう
-----------------------	-------------------	---------------------	---------------------	---------------------	-------------------------

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営	評価 担当課	部課名	総務政策部 秘書広報課
基本目標	6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり	担当課長名		
主要施策	3項 市民に信頼される開かれた行政運営	関係 課	総務人事課	市民課
施策名	2号 わかりやすい行政情報の発信と職員の能力向上			

2. 施策目的（目指すすがた）

行政と市民との情報共有及び市民が参加しやすい行政運営のため、広報誌、ホームページのみならず、SNSやコミュニティFMなど様々な媒体を活用し、理解しやすい内容での情報提供に努めるとともに、「市民の想い」を行政に反映させる広聴活動を行います。

また、質の高い行政サービスを提供するには、市民が充実した生活をおくるためのニーズの把握に努め、今後も更なる職員の能力向上等を推進します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
9		職員研修事業		2,394	2,318	3,592	3,221	4,391		やや高い	B
		2	1								
		事業の 取組内容		職場内研修や、新潟県市町村総合事務組合等に委託して職場外研修を行う。							
12		広報広聴事業		29,517	48,125	34,320	38,760	43,305		やや高い	B
		2	1								
		事業の 取組内容		市報の発行、魚沼市ホームページ・SNS等による情報発信、「市長の手紙」等の広聴、出前講座等を実施する。							
13		人権啓発事業		1,657	871	798	2,023	2,090		高い	A
		2	1								
		事業の 取組内容		市職員の研修や市民向け人権講演会等の人権教育・啓発を推進する。							
58		ケーブルテレビ運営事業		31,179	32,245	29,621	67,635	65,821		やや低い	B
		2	1								
		事業の 取組内容		ケーブルテレビの運用、施設管理、利用料徴収、自主放送番組の制作委託による番組提供等を行う。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	情報・行政サービスの提供の満足度 総合計画市民アンケートより（R5に実施）	54.6 (R1調査)	目標値	—	—	75	—	—	75	%
			実績値	—	—	56.0	—	—		
			達成率	%	%	74.7%	%	%		
2	出前講座の参加者数	706 (R1実績)	目標値	860	1,020	1,180	1,340	1,500	1,500	人／年
			実績値	75	63	612	586			
			達成率	8.7%	6.1%	51.9%	43.7%	%		
3	ホームページ記事アンケートでの「わかりやすかった」の回答割合 HPの仕様変更によりR4年度は調査未実施	77.8 (R1実績)	目標値	78	79	81	83	85	85	%
			実績値	78.2	—	78.5	74.1			
			達成率	100.3%	%	96.9%	89.3%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

お知らせ版を含めた月2回の市報発行とともに、ホームページのほかSNSを併用することにより、市民に対して防災情報などの市民生活に必要な情報をスピーディーに伝達することができました。また、「市長への手紙」の用紙を各庁舎等に配置して、市民や来庁者の想いや考えを広く受け止められるようにしながら、頂戴した苦情については改善に向けた取組を検討するとともに投稿者に対して対応状況を速やかに回答することにより、市民から信頼される行政運営につなげました。

各種専門研修に参加することにより、職員の職務遂行能力の向上が図られ、庁内でメンタルヘルス、ハラスメント防止、コミュニケーション研修などを開催し多くの職員が参加することにより、風通しの良い健全な職場づくりに向けた意識啓発が図られました。また、庁内で3回の人権研修を行い、職員の人権意識の向上を推進しました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し
課題及び今後の方向性	以前から本市は情報発信力が弱いと指摘されており、近年、様々な媒体の活用や新たな試みに取り組んでおりますが、SNSの登録者数は微増にとどまっています。民間メディアとの違いや役割分担を明確化した上で、行政広報の責務として、市民に対して市政情報を速やかにわかりやすく伝えていくための工夫が求められているほか、UIターン者の増加に向けて民間メディアを通じた本市の魅力発信など、効果的・効率的な手法を検討する必要があります。 政策を推進するためには、「広報」と「広聴」の機能の充実が必要です。このため、LINEを始めとするSNSを活用しながら、スピーディーでわかりやすい情報の発信に努めるとともに、市民から信頼される行政を目指して、市民の声に耳を傾けるための広聴機会の拡大と併せて職員の研修なども行い、能力・資質の向上を図ることとします。		

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目	評価の観点	評価	評価の理由
施策成果の達成度	・施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	やや高い
貢献度	・当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。	大きな変化はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持
		新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。		改善・見直し
課題及び今後の方向性	一次評価のとおり。		

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）
------	----	----	--------

S D G 連 系	1 気候 変動 対策	3 持続可能な 開発目標	4 質の高い教育を みんなに	5 ジェンダー平等を すすめる	9 産業と雇用創出の 促進	10 人や国の不平等を なくす	11 気候変動に 適応する	16 平和と公正な 社会を	17 パートnership による開発
-----------------------	------------------	-----------------	-------------------	--------------------	------------------	--------------------	------------------	------------------	------------------------

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営	評価 担当課	部課名	総務政策部 企画政策課
基本目標	6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり	担当課長名		
主要施策	4項 選択と集中による財政運営	関係課	子ども課	都市整備課
施策名	1号 行政改革の継続とデジタル化の推進			

2. 施策目的（目指すすがた）

公共施設においては、複合的に施設を活用するなど、施設の再編を計画的にすすめ、維持管理経費の節約と将来負担の削減を図ります。
また、業務内容の見直しを続けていくとともに、行政のデジタル化の取組を積極的にすすめることにより、窓口業務等の効率性を向上させ、人員の削減と財政負担の軽減を図ります。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
41		行政効率化推進事業		39	67	39	0	156		やや高い	B
		2 1 6	企画政策課								
		事業の取組内容		効率的で効果的な行政運営の推進を図る。							
57		ICT推進事業		423	200	990	1,535	850		やや高い	C
		2 1 7	企画政策課								
		事業の取組内容		市内のあらゆる場所でICTを活用できる環境を整備する。							
142		児童福祉施設整備事業		9,735	88,928	121,093	108,899	115,599		高い	A
		3 2 3	子ども課								
		事業の取組内容		施設の老朽化及び少子化の進行等に対応するため、施設の再編を実施する。							
166		放課後児童クラブ再編事業		11,000	114,524	—	—	—			
		3 2 5	子ども課								
		事業の取組内容		施設の老朽化及び少子化の進行等に対応するため、施設の再編を実施する。							
342		公営住宅整備事業		6,733	14,383	3,783	75,792	131,883		やや高い	A
		8 5 1	都市整備課								
		事業の取組内容		建物が老朽化した住宅団地を集約し、住宅の建替えを行う。							
526		総合行政システム等管理事業		194,472	210,620	186,476	203,029	390,484		やや高い	B
		2 1 7	企画政策課								
		事業の取組内容		行政事務及び行政手続等のデジタル化とデジタル人材の育成及び情報セキュリティの徹底を図る。							

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	行政の組織機構や行政改革についての満足度 総合計画市民アンケートより（R5に実施）	36.2 (R1調査)	目標値	—	—	75	—	—	75	%
			実績値	—	—	56	—	—		
			達成率	%	%	74.7%	%	%		
2	行政手続のオンライン化 (国が定めた優先的にオンライン化を推進すべき手続)	16 (R2時点)	目標値	21	28	35	42	52	52 (累計)	種類
			実績値	16	19	20	23			
			達成率	76.1%	67.8%	57.1%	54.8%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
41	公共施設等総合管理計画 庁内推進委員会の開催	3	目標値	2	2	2	2	2	2	回
			実績値	2	1	1	1			
41	再編整備アクションプラ ンの年度毎達成状況	4	目標値	5	4	7	3	14	33	施設
			実績値	1	7	6	8			
57	メール配信登録者数	7,297	目標値	9,000	10,500	12,000	13,500	15,000	15,000	人
			実績値	9,480	9,505	9,706	-	-		
57	公衆無線LAN設置支援件数	11	目標値	14	17	20	23	26	26	箇所
			実績値	13	14	15	16			
142	長寿命化計画作成	1	目標値	1	0	0	0	0	1	計画
			実績値	1	0	0	0			
142	施設整備	0	目標値	0	1	1	1	1	4	施設
			実績値	0	1	1	1			
142	旧ひかり保育園解体	0	目標値	0	0	1/10	9/10	0	1	事業
			実績値	0	0	1/10	9/10			
342	設計実施棟数	—	目標値	0	0	1	3	4	4	棟
			実績値	0	0	0	3			
342	改修工事実施棟数	—	目標値	1	0	2	0	3	3	棟
			実績値	1	0	2	0			
342	解体棟数	—	目標値	3	6	6	8	10	10	棟
			実績値	3	6	6	8			
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

未使用になっている公共施設の解体を進めたことで、維持管理費を抑えるとともに、老朽化した施設の損壊など、近隣住民が抱く不安を取り除くことができました。

また、行政事務のデジタル化では、電子申請が行える手続の増加などにより、市民の利便性向上と事務の効率化に寄与しました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

評価項目		評価の観点		評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	目標値に近づいてはいるものの、指標の達成率が低いものがあるため、「やや高い」としました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	公共施設の再編や行政事務のデジタル化など、少しずつではありますが進んでいるため、「やや高い」としました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し		
課題及び今後の方向性		公共施設の再編については、予防保全の方針の下、施設の長寿命化対策等を行い、維持管理費の平準化を目指すとともに、未利用施設については、交付税措置の有利な地方債等を利用しながら、解体を進めます。 また、行政のデジタル化については、「書かない窓口」や公共施設予約システムの導入を進め、市民の利便性向上と職員の業務負担改善に取り組みます。				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点		評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い やや高い	一次評価のとおり。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。			大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
				新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し		
課題及び今後の方向性		一次評価のとおり。				

第二次総合計画 後期基本計画 令和6年度事業 施策評価シート

作成年度	R6	区分	事後（決算）	S D G 連 S	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナシップで 目標を達成しよう
------	----	----	--------	-----------------------	---------------------	-------------------------

1. 基本情報

施策分野	市民協働・自治体運営	評価 担当 課	部課名	総務政策部 企画政策課
基本目標	6節 市民の想いを活かした未来へつなぐまちづくり	担当課長名		
主要施策	4項 選択と集中による財政運営	関係 課	地域創生課	
施策名	2号 健全な財政運営			

2. 施策目的（目指すすがた）

地域資源を活かした産業の振興や企業誘致・企業支援などにより、地域経済の活性化をすすめ、ふるさと納税や市税など自主財源の確保を図ります。
また、行政評価による事務事業の見直しを常に行うとともに、人口減少問題や地域経済の活性化などの課題に対して積極的に投資することにより、限られた財源を有効に活用します。

3. 施策を構成する事業の事業費、取組内容及び評価

事業 No.	重点 事業	事業名		R3	R4	R5	R6	R7	事業費 累計	担当課評価	
		予算科目	担当課	決算	決算	決算	決算	予算		貢献度	達成度
41		行政効率化推進事業		39	67	39	0	156		やや高い	B
		2 1 6	企画政策課								
		事業の取組内容		効率的で効果的な行政運営の推進を図る。							
46	○	ふるさと結基金事業		1,439,761	1,521,384	1,557,042	1,721,423	1,693,315		高い	S
		2 1 6	地域創生課								
		事業の取組内容		ふるさと納税に係る事務を委託し、全国から広く寄附を募るとともに地元産品をPRする。							
524		総合計画管理事業		118	139	1,657	322	10,973		やや高い	C
		2 1 6	企画政策課								
		事業の取組内容		市政運営の方向性を示す最上位計画である総合計画の策定及び進捗管理を行う。							
		事業の取組内容									

4. 成果指標の達成状況（※成果を判断する客観的根拠）

No.	成果指標名 指標の説明	現状値		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
1	実質公債費比率	7.1 (R1実績)	目標値	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	15未満	%
			実績値	7.9	8.3	8.8				
			達成率	%	%	%	%	%		
2	将来負担比率	34.0 (R1実績)	目標値	150未満	150未満	150未満	150未満	150未満	150未満	%
			実績値	24.6	19.3	7.1				
			達成率	%	%	%	%	%		
3			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		
4			目標値							
			実績値							
			達成率	%	%	%	%	%		

5. その他事務事業に関する活動指標及び成果指標

事業 No.	成果指標名	現状値 (R2)		R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 実績	R7 実績	最終 目標値	単位
41	公共施設等総合管理計画 庁内推進委員会の開催	3	目標値	2	2	2	2	2	2	回
			実績値	2	1	1	1			
41	再編整備アクションプラ ンの年度毎達成状況	4	目標値	5	4	7	3	14	33	施設
			実績値	1	7	6	8			
46	寄附件数	126, 317	目標値	120, 000	123, 000	126, 000	130, 000	134, 000	134, 000	件
			実績値	137, 900	131, 884	122, 887	142, 259			
46	寄附金額	2, 465, 259	目標値	2, 100, 000	2, 200, 000	2, 300, 000	2, 400, 000	2, 500, 000	2, 500, 000	千円
			実績値	2, 806, 187	2, 822, 493	2, 804, 008	3, 543, 055			
524	総括評価における施策評 価の評価区分ABの割合	27. 9	目標値	-	-	-	-	35	35	%
			実績値	-	-	-	-			
524	暮らしやすいまちと感じ ている市民の割合	58. 1	目標値	-	-	75	-	-	75	%
			実績値	-	-	58. 4	-	-		
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							
			目標値							
			実績値							

6. その他特記事項

7. 施策目的に向かってどのような成果があったのか

生涯学習センターなど、合併特例債の充当が可能な事業については、工事を前倒しで実施することにより将来の財政負担軽減に寄与しました。また、ふるさと寄附金については、前年度から7億円の増額となり、地域資源を活用した地域経済の活性化に役立ちました。

8. 施策に対する評価（担当課の評価：一次評価）

施策に対する評価（各課の評価）						
評価項目		評価の観点		評価	評価の理由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	実質公債費比率、将来負担比率及びふるさと寄附金の寄附額などの主要指標において、目標を達成しているため、「高い」としました。	
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。		高い やや高い やや低い 低い	特定財源を有効に活用し、次の世代に負担を先送りしない取組を行っているため、「高い」としました。	
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。		現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。		拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。				改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		近年の物価高騰や公共施設等の老朽化対策工事等の増加により、予算総額は増加傾向にありますが、「収支均衡」の予算となるよう、改善や見直しも視野に入れた事業構築を進めます。				

9. 施策に対する評価（行政評価会議：二次評価）

評価項目		評価の観点	評 価	評 価 の 理 由	
施策成果の達成度		・ 施策及び成果指標について、どの程度達成できたか評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
貢献度		・ 当該施策の成果が「主要施策」へ貢献しているかという観点から評価を行います。 ・ 施策目標達成のための手段（事務事業）の構成は妥当かという観点から評価を行います。	高い やや高い やや低い 低い	高い	一次評価のとおり。
総合評価	目標に向かって進捗しているため、引き続き施策を推進する。		大きな変更はないが、細かな見直しを行いながら引き続き取組を進めていく。	現状維持	○
			新たな事務事業の追加や予算等の投入など取組を拡充する。	拡 充	
	目標を達成するためには、事務事業の見直しや改善をする必要がある。			改善・見直し	
課 題 及び 今後の方向性		一次評価のとおり。			